

# 米に関するマンスリーレポート (令和6年11月号)



うちの郷土料理 山梨県 さんまめし  
次世代に伝えたい大切な味

出典: 農林水産省「うちの郷土料理」  
詳細情報を裏面で紹介

「米に関するマンスリーレポート（マンレポ）」とは  
⇒ 米に関する価格や需給の動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表しています。需要に応じた生産・円滑な米取引に役立てていただくことを目的としています。

#### 【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬公表。公表日の2営業日前までに入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあり得ます。

データはどう読み解けばいいの？

そんなときは、「ここが分からない！マンレポ」をチェック！

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo\\_kaisetu.html](https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo_kaisetu.html)

# うちの郷土料理

次世代に伝えたい大切な味

## 山梨県

### さんまめし

#### 主な伝承地域

山梨県 中北地域

#### 主な使用食材

米、サンマ、生しょうが

#### 歴史・由来・関連行事

海のない山梨県でも秋になると質の良い新鮮なサンマが出回る。その旬のサンマと新米と一緒に炊きあげた料理が「さんまめし」である。農家では秋の収穫が無事に終わったときに、祝いの日のごちそうとして「さんまめし」は欠かせなかった。古い一説によると、稲刈りが終わった頃、「えびす講祭り」（昭和初期より始まった）では、業者が新潟から売りに来た塩サンマ（干したもの）2〜3尾と、一升の新米を炊きこんだものが、現在の「さんまめし」になったといわれる。サンマを並べてごはんを炊きあげるだけで、忙しいときでも美味しく仕上がる調理法のため、現在でも多くの家庭で作り続けられている。

#### 食習の機会や時季

稲刈りが終わり、サンマと新米が出回る秋に、特に祝いの日などにつくられた。現在でも、旬の時期になると各家庭でつくられ食される。

#### 飲食方法

米は炊く30分前に洗ってざるに取り、水気をきる。釜に米、サンマの切り身、水、酒、醤油を入れて炊く。炊きあがったらサンマの切り身を取り出し、身をほぐす。ほぐしたサンマをご飯にもどし、千切りした生しょうがを入れ混ぜる。レシピとしてはサンマを生そのまま炊き込む場合と、網などで焼いてから混ぜ込む場合がある。どちらも生しょうがのほか、しそや柚子などをあわせても青魚特有のくさみが抑えられて美味である。

#### 材料（3〜4人分）

・米	2カップ
・水	2カップ
・サンマ（切り身）	250g※生サンマの場合は大2尾
・酒	40g
・醤油	40g
・生しょうが	50g
・しそ	適量

#### 作り方

- 1 米は炊く30分前に洗ってざるにとり、水気を切る。
- 2 しょうがを2mm幅の千切りにする。
- 3 釜に1の米、サンマの切り身、水、酒、醤油を入れて炊く。
- 4 炊きあがったら、サンマの切り身を取りだし、身をほぐす。
- 5 4でほぐしたサンマを釜にもどし、2のしょうがを入れ混ぜる。
- 6 茶碗に盛り、好みでしそをのせ完成。

レシピ提供元名：「やまなしの食まるごと体験ハンドブック」

※レシピは地域・家庭によって違いがあります。

# 目次（令和6年11月号）

## 特集

- 1 米の基本指針（令和6年10月30日公表）の変更のポイント  
農林水産省（農産）HP [https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/beikoku\\_sisin/index.html](https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/beikoku_sisin/index.html) **特集-1**
- 2 今般の端境期の米の需要と供給の動向の背景・原因を踏まえた今後の対応について **特集-5**
- 3 令和6年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量  
農林水産省（統計情報）HP [https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakuyou\\_kome/#v4](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakuyou_kome/#v4) **特集-7**

## 1 米の民間在庫情報

各産地の米の民間在庫数量は、年間玄米仕入量500トン以上の出荷段階（全農、JA等の出荷業者）の在庫量と年間玄米仕入数量4,000トン以上の販売段階（米卸等の販売業者の在庫量）を対象に調査し、その合計（出荷段階＋販売段階）の数値も合わせて公表しています。

集荷数量が概ね確定する1月以降の在庫数量は、販売に伴って減少していくので、その変化を見ることにより、販売状況を読み取ることができます。

- 1 民間在庫の推移  
農林水産省（農産）HP <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

(1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）	在庫-1	Excel
(2) 産地別民間在庫の状況（速報）	在庫-5	Excel
(3) 令和5・6年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）	在庫-6	Excel

## 2 米の価格情報

### 相対（あいたい）取引価格

米については、全農等の出荷業者と卸売業者等との間で、年間を通じて「相対取引」が行われています。このため、農林水産省では、年間の玄米仕入量5,000トン以上の全国出荷団体等を対象に、指標となる各産地の上位2～3銘柄（令和6年産米：118産地品種銘柄）について、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格・数量を毎月調査し、米の取引価格の代表となる指標の一つとして公表しています。

- 1 相対取引価格・数量  
農林水産省（農産）HP <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

(1) 年産別の相対取引価格（速報）	価格-1	
(2) 相対取引価格・数量（令和6年産米、産地品種銘柄別、令和6年10月分）（速報）	価格-3	Excel
(3) 相対取引価格（月別・年産平均価格）（令和5・6年産米、産地品種銘柄別）（速報）	価格-5	Excel
- 2 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和6年10月分）  
米穀安定供給確保支援機構HP <https://www.komenet.jp/>

	価格-7	
--	------	--

## 3 米の契約・販売情報

産地別事前契約数量は、米の播種が始まる前に、契約書や確認書等によりあらかじめ取引されることが決定している数量で、年間玄米仕入量500トン以上の出荷段階（全農、JA等の出荷業者）からの報告を産地別に取りまとめたものです。例えば、仕入（集荷）計画数量に占める事前契約数量の比率が高い産地では、取引数量の多くを播種前に契約し、需要に応じた生産に向けた取組が進められていることがうかがえます。

- 1 事前契約（播種前契約）の取組状況

(1) 近年の事前契約（播種前契約）数量の推移	契約-1	
(2) 令和5・6年産米の産地別事前契約（播種前契約）の取組状況（速報）	契約-2	Excel
2 令和6年産米の産地別契約・販売状況 （累計、うるち米、令和6年9月末現在）（速報）	契約-3	Excel
3 令和6年産備蓄米の政府買入札結果 農林水産省（農産）HP <a href="https://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/kaiire/index.html">https://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/kaiire/index.html</a>	契約-6	
4 令和6年産の水田における作付状況（令和6年9月15日時点）	契約-7	
(1) 主食用米及び戦略作物等の作付状況	契約-7	
(2) 令和6年産の水田における都道府県別の作付状況	契約-8	

## 4 消費の動向

- |  |      |
|--|------|
| 1 米の消費動向(米穀機構による調査)<br>米穀安定供給確保支援機構HP <a href="https://www.komenet.jp/">https://www.komenet.jp/</a>                          | 消費-1 |
| 2 購入数量・支出金額の推移(家計調査)<br>総務省統計局HP <a href="https://www.stat.go.jp/data/index.html">https://www.stat.go.jp/data/index.html</a> | 消費-4 |
| 3 消費者物価指数の推移   | 消費-6 |
| 4 小売物価統計の推移  | 消費-7 |
| 5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向(速報)   | 消費-8 |
| 6 小売価格・販売数量等の推移(POSデータ)  | 消費-9 |

## 5 輸出入の動向

- |   |        |
|---|--------|
| 1 コメ・コメ加工品の輸出実績   |        |
| (1) コメ・コメ加工品の輸出実績の推移  | 輸出入-1  |
| (2) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移   | 輸出入-2  |
| (3) 2024年上半期のコメの輸出実績の主な増加要因   | 輸出入-3  |
| (4) 米菓の輸出数量及び金額の推移  | 輸出入-4  |
| (5) 日本酒(清酒)の輸出数量及び金額の推移   | 輸出入-5  |
| (6) 包装米飯(パックご飯)等の輸出数量及び金額の推移  | 輸出入-6  |
| (7) 米粉の輸出数量及び金額の推移  | 輸出入-7  |
| (8) 米粉麺等の輸出数量及び金額の推移  | 輸出入-8  |
| 2 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について  | 輸出入-9  |
| 3 MA米の輸入数量(輸入先国別及び輸入方式別)<br>農林水産省(農産)HP <a href="https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html">https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html</a> | 輸出入-11 |
| 4 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合せ結果(令和6年度)  | 輸出入-12 |
| 5 SBS輸入米の見積合せ結果(令和6年度)  | 輸出入-13 |
| 6 CPTPP・国別枠の見積合せ結果(令和6年度)   | 輸出入-14 |

## 6 主食用米以外の情報

- |                                  |       |
|----------------------------------|-------|
| 1 加工用米及び新規需要米等の生産状況              |       |
| (1) 加工用米の生産量                     | 主食外-1 |
| (2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移         | 主食外-1 |
| (3) 令和6年産 都道府県別の生産状況             | 主食外-2 |
| (4) 加工用米及び新規需要米における多収性品種         | 主食外-3 |
| (5) 新規需要米における米粉用向け専用品種           | 主食外-3 |
| 2 米加工品の状況                        |       |
| (1) 主な米加工品の生産状況                  | 主食外-4 |
| (2) 令和3米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況(推計) | 主食外-5 |
| (3) 加工原材料用米穀の使用状況(推計)の推移         | 主食外-6 |
| 3 酒造好適米の需給状況                     |       |
| (1) 日本酒の出荷状況                     | 主食外-7 |
| (2) 日本酒原料米の使用状況                  | 主食外-7 |
| (3) 酒造好適米の生産量                    | 主食外-8 |
| (4) 酒造好適米の需要量                    | 主食外-8 |

「米に関するマンスリーレポート」では、米に関する価格や需給の動向に係るデータ・情報をより多くの方に、かつ、より有効に活用していただけるよう、情報の整理方法、提供方法等を見直しました。また、当省ホームページでの公表に際しては、本編・資料編に加え、カテゴリ別にも整理して掲載するとともに一部データ資料については、エクセルによる提供も開始しましたので、ぜひご活用ください。



## 米の基本指針（令和6年10月30日公表）の変更のポイント

### （1）前回指針（7月30日）からの変更点

#### 今回（10月30日）

##### ○ 令和5/6年の主食用米等の需給実績（確定値）

（単位：万トン）

令和5年6月末民間在庫量	A	197
令和5年産主食用米等生産量	B	661
令和5/6年主食用米等供給量計	C=A+B	858
令和5/6年主食用米等需要量	D	705
令和6年6月末民間在庫量	E=C-D	153

②  
①

- ・在庫量の確定に伴う変更
- ・在庫量の確定

##### ○ 令和6/7年の主食用米等の需給見通し

（単位：万トン）

令和6年6月末民間在庫量	E	153
令和6年産主食用米等生産量	F	683
令和6/7年主食用米等供給量計	G=E+F	836
令和6/7年主食用米等需要量	H	674
令和7年6月末民間在庫量	I=G-H	162

③  
④  
⑤

- ・令和6年9月25日現在の予想収穫量に基づく変更
- ・1人当たり消費量に人口を乗じる手法により推計（最新値に更新）

##### ○ 令和7/8年の主食用米等の需給見通し

（単位：万トン）

令和7年6月末民間在庫量	I	162
令和7年産主食用米等生産量	J	683
令和7/8年主食用米等供給量計	K=I+J	846
令和7/8年主食用米等需要量	L	663
令和8年6月末民間在庫量	M=K-L	182

⑥  
⑦  
⑧

- ・令和6年産の生産実績（令和6年9月25日現在の予想収穫量）と同水準の生産量
- ・1人当たり消費量に人口を乗じる手法により推計

注1：上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、SBS方式による輸入米は含まれない。  
注2：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

- 今後、令和6年産米の収穫量の確定や精米歩留まり、在庫、消費の動向等を見極め、令和7年年明け以降に食料・農業・農村政策審議会食糧部会を開催し、令和7年から令和8年にかけての需給見通しの見直しについて、改めて諮問することとします。

#### （参考）前回（7月30日）

##### ○ 令和5/6年の主食用米等の需給実績（速報値）

（基本指針の図1「令和5/6年の需要実績（速報値）」に基づき作成）

（単位：万トン）

令和5年6月末民間在庫量	A	197
令和5年産主食用米等生産量	B	661
令和5/6年主食用米等供給量計	C=A+B	858
令和5/6年主食用米等需要量	D	702
令和6年6月末民間在庫量	E=C-D	156

##### ○ 令和6/7年の主食用米等の需給見通し

（単位：万トン）

令和6年6月末民間在庫量	E	156
令和6年産主食用米等生産量	F	669
令和6/7年主食用米等供給量計	G=E+F	825
令和6/7年主食用米等需要量	H	673
令和7年6月末民間在庫量	I=G-H	152

注1：上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、SBS方式による輸入米は含まれない。  
注2：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

## (2) 令和6/7年及び令和7/8年の需要見通し（推計値）

- 令和6/7年及び令和7/8年の需要見通しについて、平成30年11月の基本指針において採用した下記手法により算出すると、令和6/7年は674万トン、令和7/8年は663万トンとなります。

### 【需要見通しの算出方法】

- 平成8/9年から令和5/6年までの需要実績をそれぞれ当該年の人口で除し、各年の1人当たり消費量を算出
- ①で算出した値を用いたトレンド(回帰式)で、令和6/7年(令和6年7月から令和7年6月まで)及び令和7/8年(令和7年7月から令和8年6月まで)の1人当たり消費量(推計値)を算出
- ②で算出した値に令和6年及び令和7年の人口(推計値)を乗じて算出

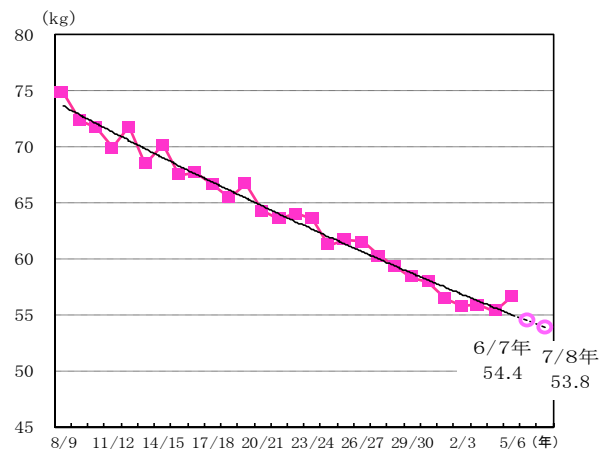
### ① 平成8/9年から令和5/6年までの1人当たり消費量を算出

年	需要実績 ①	人口 ②	1人当たり消費量 ①/②
	万トン	千人	kg
8/9	943.8	125,859	75.0
9/10	912.9	126,157	72.4
10/11	907.3	126,472	71.7
11/12	885.9	126,667	69.9
12/13	911.5	126,926	71.8
13/14	872.1	127,316	68.5
14/15	894.7	127,486	70.2
15/16	861.6	127,694	67.5
16/17	865.4	127,787	67.7
17/18	851.7	127,768	66.7
18/19	837.5	127,901	65.5
19/20	854.5	128,033	66.7
20/21	823.6	128,084	64.3
21/22	814.1	128,032	63.6
22/23	820.0	128,057	64.0
23/24	813.3	127,834	63.6
24/25	781.1	127,593	61.2
25/26	786.6	127,414	61.7
26/27	782.5	127,237	61.5
27/28	766.2	127,095	60.3
28/29	754.0	127,042	59.4
29/30	739.6	126,919	58.3
30/元	734.6	126,749	58.0
元/2	714.4	126,555	56.4
2/3	704.0	126,146	55.8
3/4	701.5	125,502	55.9
4/5	691.1	124,947	55.3
5/6	704.9	124,352	56.7

注：人口は、総務省「人口推計」の各年10月1日現在の値である。

### ② 令和6/7年及び令和7/8年の1人当たり消費量(推計値)を算出

年	x	1人当たり消費量(y)
8/9	1	75.0
9/10	2	72.4
10/11	3	71.7
11/12	4	69.9
12/13	5	71.8
13/14	6	68.5
14/15	7	70.2
15/16	8	67.5
16/17	9	67.7
17/18	10	66.7
18/19	11	65.5
19/20	12	66.7
20/21	13	64.3
21/22	14	63.6
22/23	15	64.0
23/24	16	63.6
24/25	17	61.2
25/26	18	61.7
26/27	19	61.5
27/28	20	60.3
28/29	21	59.4
29/30	22	58.3
30/元	23	58.0
元/2	24	56.4
2/3	25	55.8
3/4	26	55.9
4/5	27	55.3
5/6	28	56.7
6/7	29	54.4 (推計値)
7/8	30	53.8 (推計値)



※6/7年、7/8年の1人当たり消費量を5/6年の実績を踏まえ推計

<推計式>

$$y = 74.49197e^{-0.01084x}$$

$$R^2 = 0.9783$$

$$y = 74.46928e^{-0.01081x}$$

$$R^2 = 0.9774$$

### ③ 令和6/7年及び令和7/8年の1人当たり消費量(推計値)に令和6年及び令和7年の人口(推計値)を乗じて需要見通しを算出

【前回(7月30日)】

	6/7年
1人当たり消費量(推計値) ①	54.4kg
	6年
人口(推計値) ②	123,788千人
	6/7年
需要見通し ①×②	673.4万トン



【今回(10月30日)】

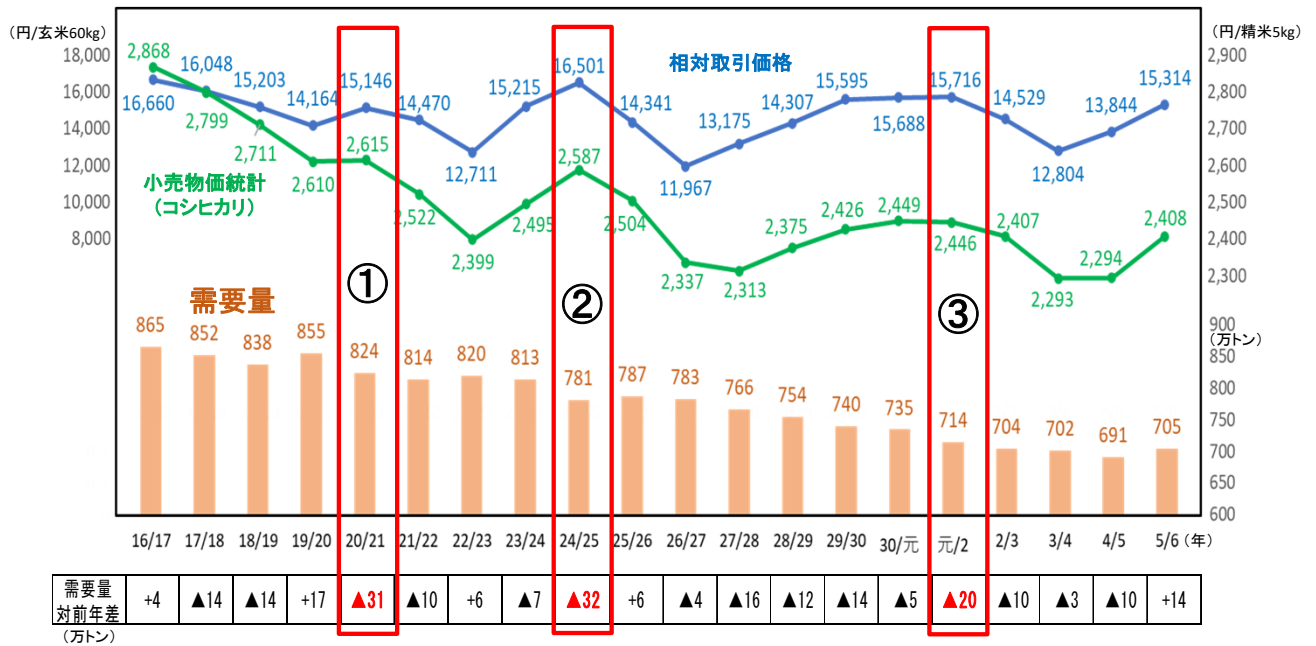
6/7年	7/8年
54.4kg	53.8kg
6年	7年
123,780千人	123,198千人
6/7年	7/8年
673.7万トン	663.4万トン

注1：人口(推計値)は、令和6年においては「人口推計(総務省、令和6年9月公表)」の総人口(令和6年9月1日現在(概算値)。以下「令和6年9月現在人口」という。)、令和7年においては令和6年9月現在人口に「日本の将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所、令和5年4月公表)」の令和6年10月1日から令和7年10月1日までの総人口(出生中位・死亡中位推計)の減少率を乗じて算出した値。

注2：図中の需要見通しは、1人当たり消費量(推計値)の実数に、人口(推計値)の実数を乗じて算出した値のため、図中の1人当たり消費量(推計値)(小数点第2位を四捨五入)に人口(推計値)(小数点第1位を四捨五入)を乗じて算出した値とは一致しない。

## (参考) 過去における米価と需要の関係

### 【主食用米の需要量と相対取引価格・小売物価統計の推移】



- ※1 相対取引価格は、当該年産の出回りから翌年10月まで(5年産は出回りから令和6年9月までの速報値)の通年平均価格であり、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。  
 なお、17年産以前は(財)全国米穀取引・価格形成センター入札結果に基づく取引価格である。
- ※2 小売物価統計(コシヒカリ)は、総務省「小売物価統計」動向編による東京都区部における精米価格(7日以内の特売分を除く)であり、包装代、消費税相当額が含まれている。
- ※3 需要量は、当年7月から翌年6月までの主食用米等の需要量である。

### 【需要減の背景】

①	<p>＜需要の状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成20/21年の需要実績は824万トンと、<b>前年実績差▲31万トン(▲3.6%)</b>。</li> </ul> <p>＜米価の状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食料の消費者物価指数が前年比+2.5%、うち、パンは前年比+10.1%、麺類は前年比+8.8%に対して、米は前年比+0.7%。</li> <li>平成20年産米の相対取引価格は15,146円/60kgで、<b>前年比+982円、+6.9%</b>。</li> <li>精米小売価格(コシヒカリ)は2,615円/5kgで、<b>前年比+5円、+0.2%</b>。</li> </ul>
②	<p>＜需要の状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成24/25年の需要実績は781万トンと、<b>前年実績差▲32万トン(▲4.0%)</b>。</li> </ul> <p>＜米価の状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食料の消費者物価指数が前年比▲1.1%、うち、パンは前年比▲2.7%、麺類は前年比▲1.8%に対して、米は前年比+7.5%。</li> <li>平成24年産米の相対取引価格は16,501円/60kgで、<b>前年比+1,286円、+8.5%</b>。</li> <li>精米小売価格(コシヒカリ)は2,587円/5kgで、<b>前年比+92円、+3.7%</b>。</li> </ul>
③	<p>＜需要の状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元/2年の需要実績は714万トンと、<b>前年実績差▲20万トン(▲2.7%)</b>。</li> </ul> <p>＜米価の状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食料の消費者物価指数が前年比+1.4%、うち、パンは前年比±0.0%、麺類は前年比+3.2%に対して、米は前年比+0.6%。</li> <li>令和元年産米の相対取引価格は15,716円/60kgで、<b>前年比+28円、+0.2%</b>。</li> <li>精米小売価格(コシヒカリ)は2,446円/5kgで、<b>前年比▲4円、▲0.1%</b>。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>コロナの影響</b></p>

注1 需要実績は、当年7月から翌年6月までの主食用米等の需要量。(資料:農林水産省「米穀の需給及び価格に関する基本指針」)  
 注2 消費者物価指数は、月次データの当年7月から翌年6月までの指数を単純平均により算出。(資料:総務省「消費者物価指数(2020年基準)」)  
 注3 精米小売価格は、月次データの当年7月から翌年6月までの価格(東京都区部におけるコシヒカリの価格)を単純平均により算出。(資料:総務省「小売物価統計 動向編」)

### (3) 変更点の概要

#### ① 令和6年6月末民間在庫量 【156万トン → 153万トン】

- ・ 「令和6年6月末民間在庫量」のうち、生産段階の在庫量について、改めて10月29日公表の「生産者の米穀在庫等調査結果」の「6月30日現在における在庫量」の確定値を基に推計（27.4万トン→24.8万トン）。
- ・ 出荷段階及び販売段階の在庫量について、速報値から確定値に更新（128.3万トン→127.9万トン）。
- ・ これらにより「令和6年6月末民間在庫量」を変更（確定）（「153万トン」）。

#### ② 令和5/6年主食用米等需要量 【702万トン → 705万トン】

- ・ 上記①に伴い、令和5/6年主食用米等需要量を変更（確定）（「705万トン」）。

#### ③ 令和6年産主食用米等生産量 【669万トン → 683万トン】

- ・ 令和6年9月25日現在の予想収穫量に基づき変更（「683万トン」）。

#### ④ 令和6/7年主食用米等需要量 【673万トン → 674万トン】

- ・ ②の令和5/6年主食用米等需要量の確定値等を用い、改めて平成30年11月基本指針以降に採用している手法（1人当たり消費量（推計値）に人口（推計値）を乗じる手法）により算出し変更（「674万トン」）。

#### ⑤ 令和7年6月末民間在庫量 【152万トン → 162万トン】

- ・ 上記①～④により、令和7年6月末民間在庫量を変更（「162万トン」）。

#### ⑥ 令和7年産主食用米等生産量 【683万トン】

- ・ 令和6年産の生産実績（令和6年9月25日現在の予想収穫量）と同水準の「683万トン」と設定。

#### ⑦ 令和7/8年主食用米等需要量 【663万トン】

- ・ ②の直近までの需要実績（確定値）を用い、④と同様、従来の算出方法（1人当たり消費量（推計値）に人口（推計値）を乗じる手法）により算出し、「663万トン」と設定。

#### ⑧ 令和8年6月末民間在庫量 【182万トン】

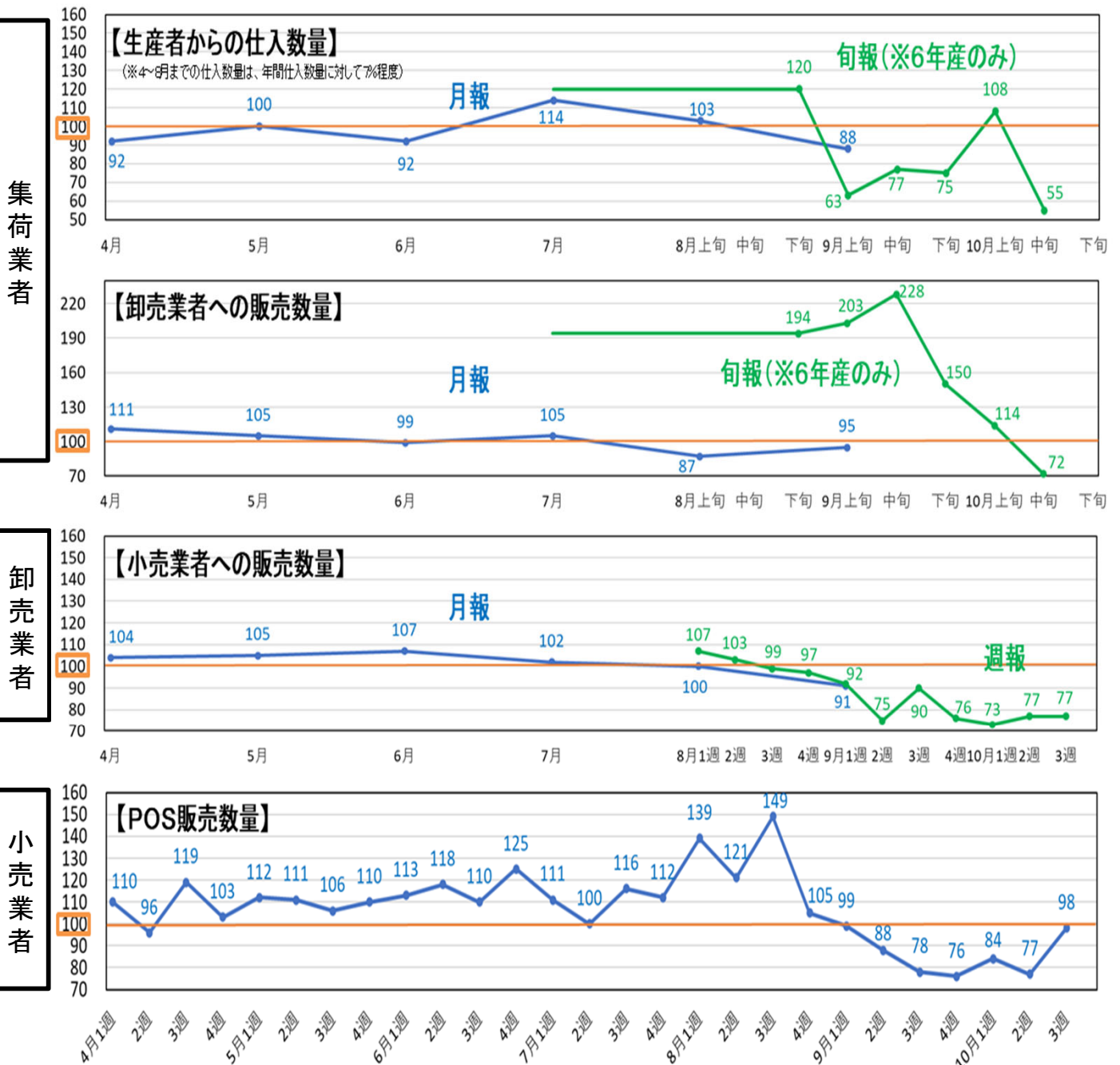
- ・ 上記⑤～⑦により、令和8年6月末民間在庫量を「182万トン」と設定。



## 今般の端境期の米の需要と供給の動向の背景・ 原因を踏まえた今後の対応について

### (1) それぞれの流通段階における供給状況（前年同期比）

- 一般的に、業務用向けへの米の供給は、古米から新米への切り替え時期が遅く（生産年翌年12月から翌々年3月頃までが多い）、他方、スーパー等の小売向けへの米の供給は、新米が出回るタイミングで古米から切り替わる。
- 各流通段階における供給状況は、集荷段階から小売段階までは、令和6年7月までは、前年同期比で昨年と同程度から昨年以上に供給が行われていた。
- そのような中で、8月の南海トラフ地震臨時情報等を受け、小売段階で消費者への販売（消費者の購入）が前年同期比で2割から4割を超えて増加したことから、各流通段階からの供給が追いつかない状況が発生した。



※1：生産者等→集荷業者等。月報は500トン以上の集荷業者からの在庫調査結果。旬報は全国集荷団体から聞き取りによる。  
 ※2：集荷業者等→卸売業者等。月報は500トン以上の集荷業者からの在庫調査結果。旬報は全国集荷団体から聞き取りによる。  
 ※3：卸売業者等→小売業者等。月報は5万トン以上の卸売業者(30社)からの販売動向調査結果。週報は大手卸売業者(10社)からの聞き取りによる。  
 ※4：小売業者等→消費者。POS販売数量は(株)KSP-SPが提供するPOSデータ(全国約1,000店舗が対象)による。

## (2) 米の円滑な流通に関する取組状況

	令和6年 3月	4~6月	7月	8月	9月
情報収集・発信	3月5日食糧部会 〔基本指針の見直し〕		7月30日食糧部会 〔基本指針の策定〕		
	「米に関するマンスリーレポート」による情報提供(毎月1回) 〔全国の需給見通しや在庫量等の他、産地・銘柄別の価格動向、都道府県別の民間在庫量、消費動向などのデータを掲載〕				
通常の取組 ～ 今般の特別な取組					卸売業者へ調査報告依頼 〔卸売業者へ令和6年7月下旬以降の米の仕入れや販売状況等について、週単位で調査報告を依頼〕
					農水省HPIにて情報提供 〔米の需給の現状についてデータを整理・公表〕
新米の 出回り				新米の出回り 新米が8月頃から徐々に出回り始め、9月から本格的に出回り(平年より1週間程度収穫が早い)	
関係団体との意見交換・働きかけ	5年産、6年産の流通の円滑化に関するヒアリング・働きかけ				
	◆ 集荷業者、卸売業者等に対して定期的にヒアリングを実施 (令和6年4月以降 生産者団体:21回、卸売業者等:58回、小売業者等:20回、加工用米関係者:15回)				
	生産者団体:10回 卸売業者等:9回 小売業者等:10回 加工用米関係者:10回	生産者団体:2回 卸売業者等:8回 小売業者等:4回 加工用米関係者:2回	生産者団体:1回 卸売業者等:17回 小売業者等:5回 加工用米関係者:3回	生産者団体:8回 卸売業者等:24回 小売業者等:1回	◆ 8月27日要請 生産者団体、卸売業者等に対して、主食用米の円滑な流通に関して要請
6年産の需要に応じた生産の働きかけ					◆ 9月6日要請 生産者団体、卸売業者等に対して、主食用米の集荷・販売等への一層の対応について改めて要請
◆ 全国会議(令和5年9月～計5回)					
◆ 生産者、県農業再生協議会、地域農業再生協議会等に対して、産地ごとの意見交換(キャラバン)を実施					
◆ 生産者団体や地方自治体とも連携し、県農業再生協議会やJA以外の幅広い集荷業者や農業法人等に対してもキャラバンを実施 (令和5年9月～令和6年8月:4,244回)					

## (3) 今後の対応

### ① 分析で明らかになったこと

- 各流通段階における供給状況は、昨年と同程度から昨年以上に供給が行われていたが、8月の南海トラフ地震臨時情報等を受けた買い込み需要に各流通段階からの供給が追いつかない状況が発生した。
- 今年の春以降から情報収集や働きかけは行っていたが、品薄に関しての特別な情報発信や流通関係者への働きかけは品薄状況が顕在化した8月下旬からの取組となった。
- 在庫量に占める業務用向けと小売向けとの比率は卸売業者によって大きく異なり、端境期において、必ずしも小売向けの比率が少なかった卸売業者だけではなく、業務用向けの契約分を取り崩して小売向けに販売を行った卸売業者も存在。

### ② 分析を受けた今後の対応

- 主要集荷業者・卸売業者に対する端境期前(6月以降)から端境期(9月中旬)までの集荷量、販売量、在庫量の週次調査の実施
- 卸売業者等やスーパー・米穀店等への流通実態に関する定期的なヒアリング
- 米の流通の現状のポイントをまとめて発信するなど消費者にもわかりやすい情報発信
- 米の需給に関する基本的な情報についての月例記者ブリーフィングの開催

## 作物統計調査

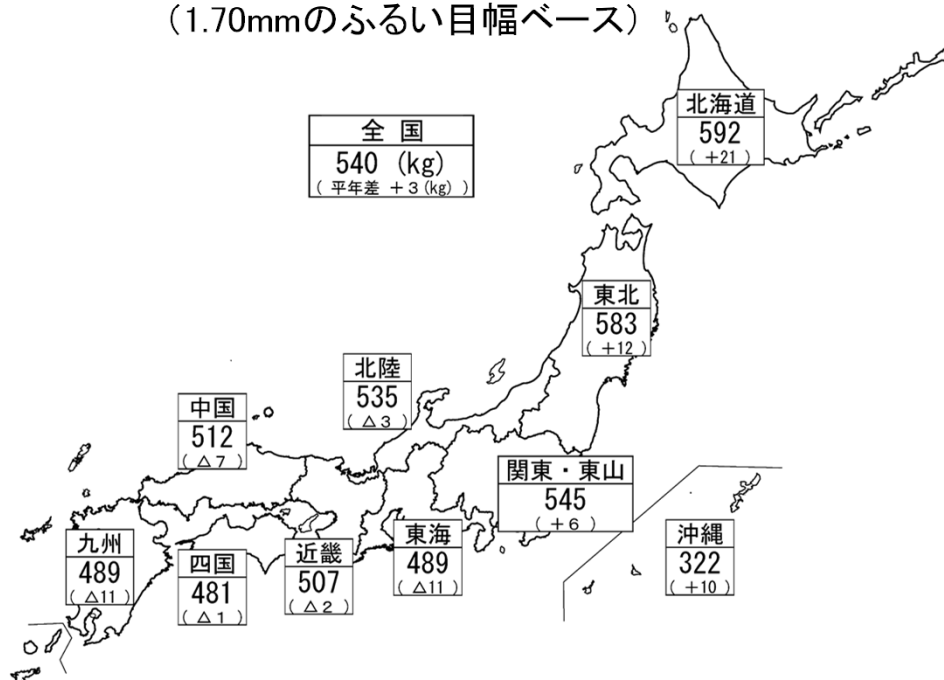
### 令和6年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量

— 全国の10a当たり予想収量は540kgの見込み —

#### 【調査結果の概要】

- 1 令和6年産水稻の作付面積（子実用）は135万9,000ha（前年産に比べ1万5,000ha増加）となった。うち主食用作付面積は125万9,000ha（前年産に比べ1万7,000ha増加）となった。
- 2 10月25日現在における全国の10a当たり予想収量は540kgと見込まれる。  
これは、全国的にはおおむね天候に恵まれたためである。なお、一部地域で5月下旬から6月上旬にかけての低温や6月下旬から7月中旬にかけての断続的な日照不足、8月以降の記録的な高温等の影響により収量が低下した。
- 3 以上の結果、予想収穫量（子実用）は734万5,000t（前年産に比べ18万t増加）と見込まれる。このうち、主食用の予想収穫量は679万2,000t（前年産に比べ18万2,000t増加）と見込まれる。
- 4 農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は101と見込まれる。

図1 全国農業地域別10a当たり予想収量(10月25日現在)  
(1.70mmのふるい目幅ベース)



- 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積であり、主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である（特集-13ページ【参考1】参照）。
- 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、収穫を終えた地域では刈取り実測による結果であるが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定した結果である。したがって、今後の気象条件等により変動することがある。

○ 本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。  
【 [https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_kome/#y4](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y4) 】

## 水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a当たり収量及び収穫量(子実用)

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mmで選別された玄米の重量（未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。）としている。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

表1 ふるい目幅別重量分布状況の推移（全国）

年 産	計	単位：%					
		1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
令和元年産	100.0	0.7	1.4	1.9	2.8	15.3	77.9
2	100.0	0.7	1.4	1.9	2.9	14.4	78.7
3	100.0	0.8	1.4	1.8	2.8	14.7	78.5
4	100.0	0.9	1.5	1.9	2.9	14.9	77.9
5	100.0	0.6	1.0	1.3	2.1	10.2	84.8
6（概数値）	100.0	0.7	1.2	1.5	2.6	11.9	82.1
平均値	100.0	0.7	1.3	1.8	2.7	13.9	79.6
対平均差(ポイント)	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.1	△ 2.0	2.5

注：1 ふるい目幅別重量分布とは、それぞれのふるい目幅で選別された玄米の重量の割合である（以下同じ。）。

2 平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

表2 ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）の推移（全国）

年 産	単位	1.70mm以上	1.75mm以上	1.80mm以上	1.85mm以上	1.90mm以上	2.00mm以上	
		令和元年産	10a 当たり収量	kg	528	524	517	507
	収穫量	t	7,762,000	7,708,000	7,599,000	7,452,000	7,234,000	6,047,000
2	10a 当たり収量	kg	531	527	520	510	494	418
	収穫量	t	7,763,000	7,709,000	7,600,000	7,452,000	7,227,000	6,109,000
3	10a 当たり収量	kg	539	535	527	517	502	423
	収穫量	t	7,563,000	7,502,000	7,397,000	7,260,000	7,049,000	5,937,000
4	10a 当たり収量	kg	536	531	523	513	497	418
	収穫量	t	7,269,000	7,204,000	7,095,000	6,956,000	6,746,000	5,663,000
5	10a 当たり収量	kg	533	530	524	518	506	452
	収穫量	t	7,165,000	7,122,000	7,050,000	6,957,000	6,807,000	6,076,000
6（概数値）	10a 当たり収量	kg	540	536	530	522	508	443
	収穫量	t	7,345,000	7,294,000	7,205,000	7,095,000	6,904,000	6,030,000
	対前年比	%	103	102	102	102	101	99

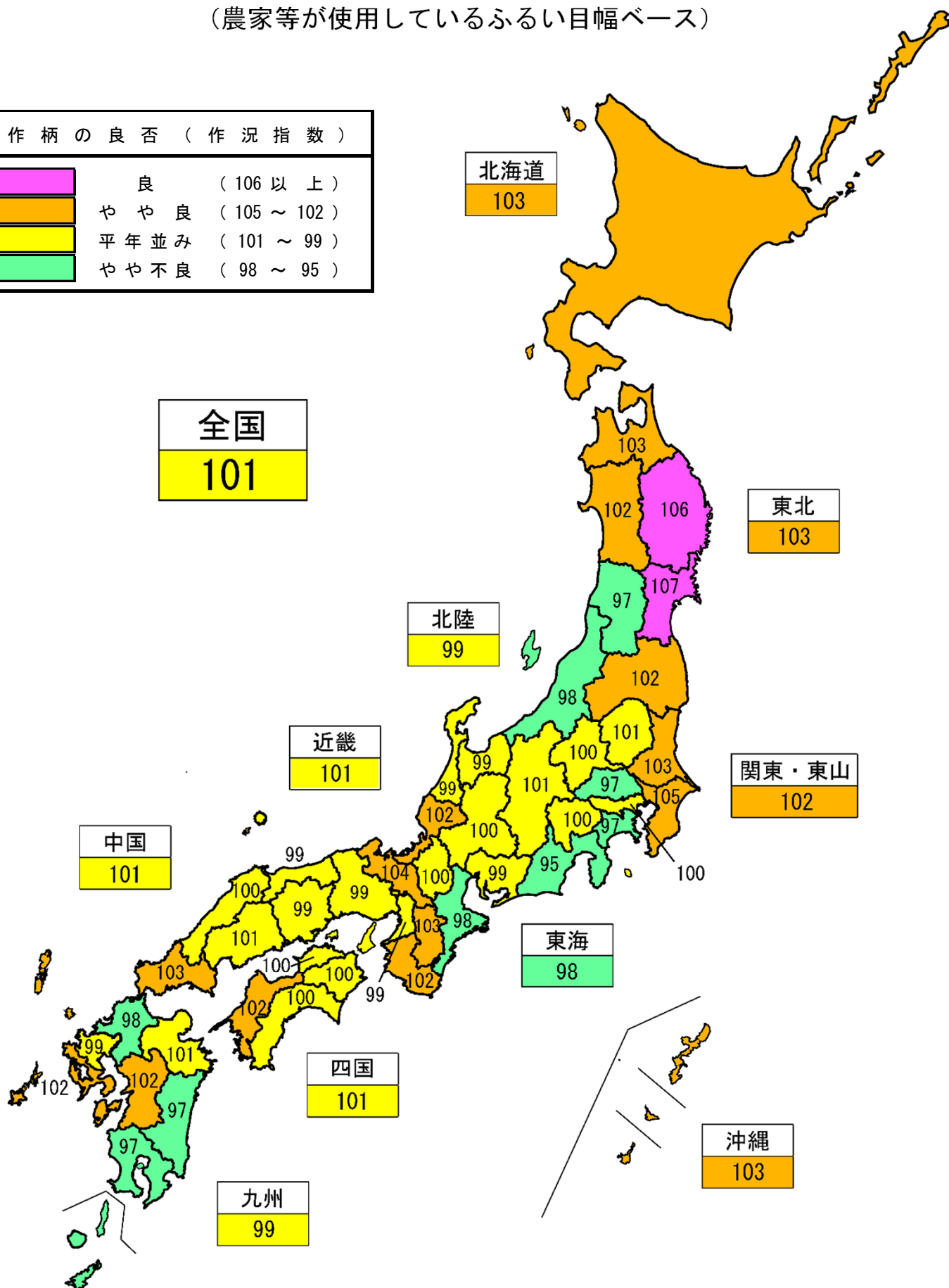
注：1 ふるい目幅別の10a当たり収量とは、全国の10a当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別の収穫量(子実用)とは、全国の収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。



図2 全国農業地域・都道府県別作況指数（10月25日現在）  
（農家等が使用しているふるい目幅ベース）

作柄の良否（作況指数）	
■	良（106以上）
■	やや良（105～102）
■	平年並み（101～99）
■	やや不良（98～95）



注：1 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。  
2 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通栽培を合算したものである。また、沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の作況指数の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

表3 令和6年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量  
(全国農業地域別)

全 国 農 業 地 域	作 付 面 積 ( 子 実 用 )			10 a 当 たり 予 想 収 量			予 想 収 穫 量 ( 子 実 用 )			主 食 用 作 付 面 積 ④	予 想 収 穫 量 ( 主 食 用 ) ⑤=④×②	作 況 指 数
	実 数 ①	前 年 産 と の 比 較		実 数 ②	平 年 と の 比 較	前 年 産 と の 比 較	実 数 ③=①×②	前 年 産 と の 比 較				
		対 差	対 比		対 差	対 差		対 比				
	ha	ha	%	kg	kg	kg	t	t	%	ha	t	
全 国	1,359,000	15,000	101	540	3	7	7,345,000	180,000	103	1,259,000	6,792,000	101
北 海 道	95,000	1,700	102	592	21	13	562,400	22,200	104	83,700	495,500	103
東 北	358,400	9,300	103	583	12	14	2,091,000	103,000	105	319,800	1,865,000	103
北 陸	197,000	△ 700	100	535	△ 3	22	1,053,000	38,000	104	175,800	938,800	99
関 東・東 山	248,000	8,500	104	545	6	1	1,352,000	50,000	104	235,000	1,282,000	102
東 海	86,600	△ 200	100	489	△ 11	△ 5	423,100	△ 5,600	99	83,400	407,500	98
近 畿	94,000	△ 700	99	507	△ 2	4	476,900	800	100	90,600	459,600	101
中 国	93,100	△ 900	99	512	△ 7	△ 2	476,900	△ 6,200	99	90,400	463,000	101
四 国	42,700	△ 400	99	481	△ 1	△ 1	205,200	△ 2,500	99	42,300	203,600	101
九 州	143,700	△ 1,600	99	489	△ 11	△ 8	703,000	△ 19,000	97	138,200	676,000	99
沖 縄	599	23	104	322	10	1	1,930	80	104	557	1,790	103

- 注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積である。
- 2 10 a 当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 3 10 a 当たり予想収量の平年との比較は、10 a 当たり平年収量との比較である。
- 4 予想収穫量については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
- 5 主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 6 作況指数は、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。
- 7 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の10 a 当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10 a 当たり収量と第二期稲の10 a 当たり平年収量の加重平均を用いた。

# 令和6年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量

全 国 都道府県	作付面積（子実用）			10a当たり 予想収量 ②	農家等が使用している ふるい目幅で選別			
	実 数 ①	前年産との比較			最も多い 使用割合 の 目 幅 ③	10a当たり 予想収量 ④	10a当たり 平年収量 ⑤	作況指数 ⑥=④/⑤
		対差	対比					
	ha	ha	%	kg	mm	kg	kg	
全 国 (1)	1,359,000	15,000	101	540	...	519	513	101
北 海 道 (2)	95,000	1,700	102	592	1.90	562	544	103
青 森 (3)	42,400	1,900	105	623	1.90	598	578	103
岩 手 (4)	45,500	300	101	569	1.90	546	517	106
宮 城 (5)	62,800	1,900	103	583	1.90	550	516	107
秋 田 (6)	84,200	1,200	101	582	1.90	552	542	102
山 形 (7)	60,800	△ 200	100	583	1.90	553	570	97
福 島 (8)	62,700	4,300	107	569	1.85	546	534	102
茨 城 (9)	62,500	2,800	105	542	1.85	523	506	103
栃 木 (10)	53,000	1,600	103	540	1.85	521	515	101
群 馬 (11)	14,300	400	103	500	1.80	484	482	100
埼 玉 (12)	29,600	1,200	104	476	1.80	463	479	97
千 葉 (13)	50,600	2,900	106	569	1.80	559	533	105
東 京 (14)	107	△ 4	96	414	1.80	405	404	100
神 奈 川 (15)	2,840	△ 10	100	481	1.80	463	475	97
新 潟 (16)	116,200	400	100	536	1.85	515	524	98
富 山 (17)	35,000	△ 200	99	540	1.90	515	519	99
石 川 (18)	22,300	△ 1,100	95	521	1.90	495	498	99
福 井 (19)	23,500	200	101	531	1.90	494	483	102
山 梨 (20)	4,680	△ 70	99	534	1.85	518	516	100
長 野 (21)	30,300	△ 300	99	620	1.85	604	599	101
岐 阜 (22)	21,100	400	102	483	1.80	474	475	100
静 岡 (23)	14,500	△ 600	96	484	1.85	472	499	95
愛 知 (24)	26,200	400	102	497	1.85	480	484	99
三 重 (25)	24,900	△ 300	99	485	1.85	468	478	98
滋 賀 (26)	28,400	100	100	517	1.90	484	483	100
京 都 (27)	13,600	△ 200	99	527	1.85	512	492	104
大 阪 (28)	4,290	△ 150	97	483	1.80	472	478	99
兵 庫 (29)	34,000	△ 200	99	491	1.85	475	478	99
奈 良 (30)	8,000	△ 250	97	526	1.80	517	500	103
和 歌 山 (31)	5,680	△ 100	98	506	1.80	500	491	102
鳥 取 (32)	11,800	△ 100	99	502	1.85	491	495	99
島 根 (33)	15,900	△ 200	99	505	1.90	485	484	100
岡 山 (34)	28,000	200	101	510	1.85	496	499	99
広 島 (35)	20,600	△ 500	98	526	1.85	515	508	101
山 口 (36)	16,800	△ 300	98	513	1.85	497	481	103
徳 島 (37)	9,890	140	101	470	1.80	462	462	100
早期栽培 (38)	3,810	60	102	454	1.80	447	453	99
普通栽培 (39)	6,070	60	101	480	1.80	472	467	101
香 川 (40)	9,820	△ 380	96	491	1.80	481	479	100
愛 媛 (41)	12,700	△ 100	99	502	1.80	491	482	102
高 知 (42)	10,300	0	100	453	1.80	444	445	100
早期栽培 (43)	5,790	20	100	487	1.80	479	470	102
普通栽培 (44)	4,480	△ 70	98	409	1.80	400	413	97
福 岡 (45)	32,600	△ 200	99	467	1.85	442	452	98
佐 賀 (46)	22,400	200	101	505	1.85	482	487	99
長 崎 (47)	9,420	△ 580	94	487	1.80	472	465	102
熊 本 (48)	29,700	△ 300	99	516	1.85	487	479	102
大 分 (49)	18,000	△ 300	98	491	1.85	459	454	101
宮 崎 (50)	14,500	△ 200	99	481	1.80	467	482	97
早期栽培 (51)	5,410	△ 140	97	470	1.80	461	471	98
普通栽培 (52)	9,100	△ 70	99	487	1.80	470	489	96
鹿 児 島 (53)	17,100	△ 100	99	470	1.80	454	470	97
早期栽培 (54)	3,860	△ 70	98	446	1.80	437	452	97
普通栽培 (55)	13,200	△ 100	99	477	1.80	458	476	96
沖 縄 (56)	599	23	104	322	1.80	314	305	103
第一期稲 (57)	445	4	101	366	1.80	360	343	105
第二期稲 (58)	154	19	114	...	1.80	...	182	...

- 注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積である。
- 2 10a当たり予想収量(②)、予想収穫量(子実用)(⑦)及び予想収穫量(主食用)(⑨)は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 3 10a当たり予想収量(④)、10a当たり平年収量(⑤)及び作況指数(⑥)については、都道府県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。
- 4 予想収穫量については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

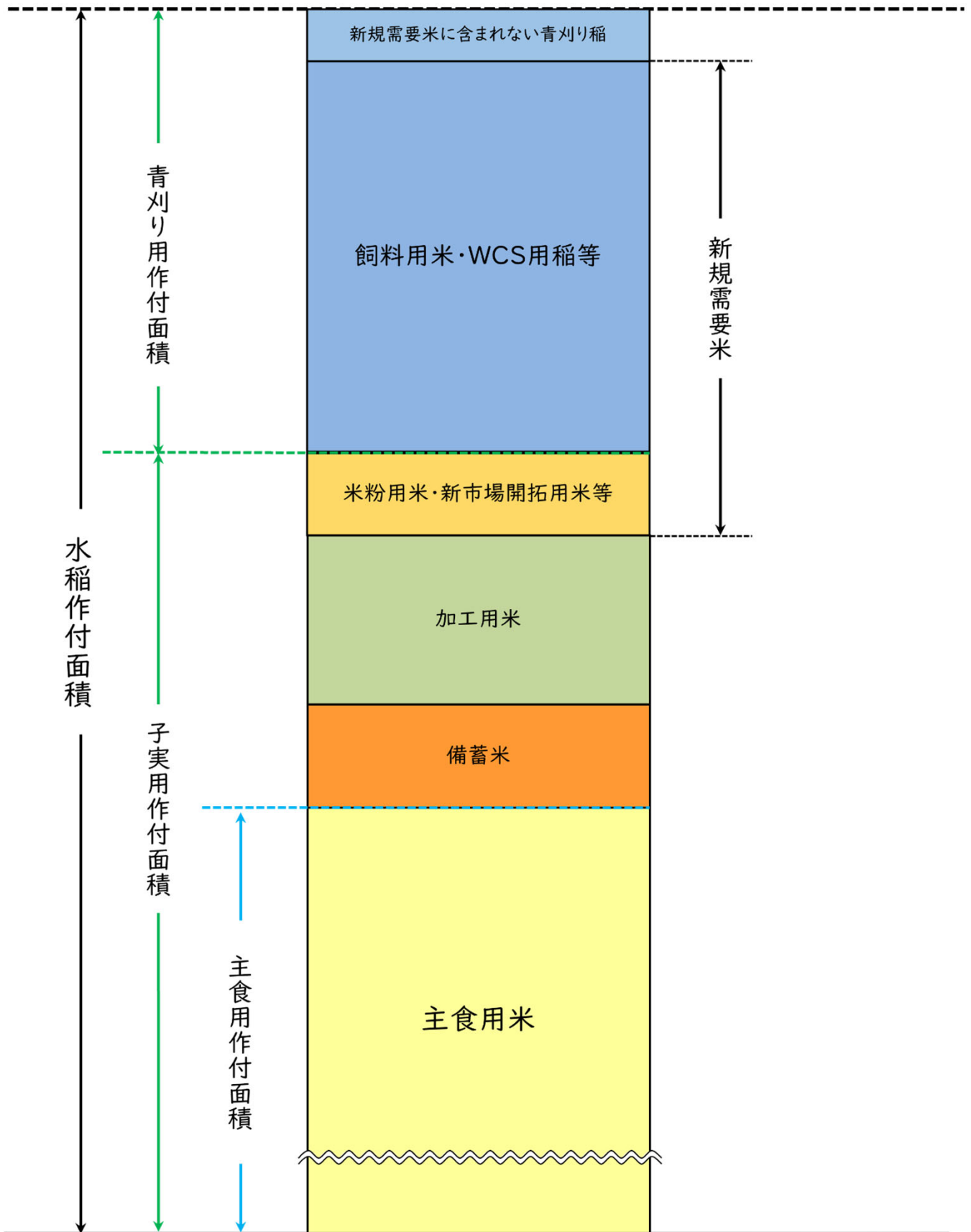
全 国 都道府県	予想収穫量（子実用）			主食用 作付面積 ⑧	予 想 収 穫 量 （ 主 食 用 ） ⑨=⑧×②
	実 数 ⑦=①×②	前年産との比較			
		対差	対比		
	t	t	%	ha	t
全 国 (1)	7,345,000	180,000	103	1,259,000	6,792,000
北 海 道 (2)	562,400	22,200	104	83,700	495,500
青 森 (3)	264,200	15,500	106	37,200	231,800
岩 手 (4)	258,900	9,800	104	43,100	245,200
宮 城 (5)	366,100	21,400	106	58,400	340,500
秋 田 (6)	490,000	31,800	107	72,200	420,200
山 形 (7)	354,500	△ 4,800	99	52,400	305,500
福 島 (8)	356,800	29,200	109	56,500	321,500
茨 城 (9)	338,800	22,400	107	59,900	324,700
栃 木 (10)	286,200	2,000	101	49,000	264,600
群 馬 (11)	71,500	1,400	102	12,800	64,000
埼 玉 (12)	140,900	3,400	102	28,400	135,200
千 葉 (13)	287,900	22,200	108	48,300	274,800
東 京 (14)	443	△ 22	95	107	443
神 奈 川 (15)	13,700	△ 500	96	2,840	13,700
新 潟 (16)	622,800	31,100	105	101,400	543,500
富 山 (17)	189,000	3,100	102	31,200	168,500
石 川 (18)	116,200	△ 5,000	96	21,200	110,500
福 井 (19)	124,800	8,300	107	21,900	116,300
山 梨 (20)	25,000	△ 700	97	4,590	24,500
長 野 (21)	187,900	0	100	29,000	179,800
岐 阜 (22)	101,900	1,700	102	19,600	94,700
静 岡 (23)	70,200	△ 8,200	90	14,400	69,700
愛 知 (24)	130,200	6,400	105	25,000	124,300
三 重 (25)	120,800	△ 5,500	96	24,500	118,800
滋 賀 (26)	146,800	4,200	103	27,400	141,700
京 都 (27)	71,700	2,400	103	13,000	68,500
大 阪 (28)	20,700	△ 1,600	93	4,290	20,700
兵 庫 (29)	166,900	△ 3,100	98	32,200	158,100
奈 良 (30)	42,100	△ 600	99	7,960	41,900
和 歌 山 (31)	28,700	△ 500	98	5,680	28,700
鳥 取 (32)	59,200	2,000	103	11,600	58,200
島 根 (33)	80,300	△ 2,600	97	15,700	79,300
岡 山 (34)	142,800	△ 100	100	27,200	138,700
広 島 (35)	108,400	△ 4,500	96	20,100	105,700
山 口 (36)	86,200	△ 1,000	99	15,800	81,100
徳 島 (37)	46,500	800	102	9,790	46,000
早期栽培 (38)	17,300	400	102	...	...
普通栽培 (39)	29,100	200	101	...	...
香 川 (40)	48,200	△ 2,400	95	9,770	48,000
愛 媛 (41)	63,800	△ 800	99	12,700	63,800
高 知 (42)	46,700	△ 100	100	10,100	45,800
早期栽培 (43)	28,200	200	101	...	...
普通栽培 (44)	18,300	△ 600	97	...	...
福 岡 (45)	152,200	△ 5,200	97	32,200	150,400
佐 賀 (46)	113,100	△ 2,600	98	22,000	111,100
長 崎 (47)	45,900	△ 2,900	94	9,360	45,600
熊 本 (48)	153,300	△ 2,100	99	28,800	148,600
大 分 (49)	88,400	△ 1,500	98	17,800	87,400
宮 崎 (50)	69,700	△ 1,700	98	12,400	59,600
早期栽培 (51)	25,400	△ 1,600	94	...	...
普通栽培 (52)	44,300	△ 200	100	...	...
鹿 児 島 (53)	80,400	△ 3,000	96	15,600	73,300
早期栽培 (54)	17,200	△ 1,200	93	...	...
普通栽培 (55)	63,000	△ 2,200	97	...	...
沖 縄 (56)	1,930	80	104	557	1,790
第一期稲 (57)	1,630	90	106	...	...
第二期稲 (58)	...	...	...	...	...

- 5 主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 6 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、作期別の備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。
- 7 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「…」で示しており、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平均収量の加重平均を用いた。



【参考1】

# 水稻作付面積の概念図



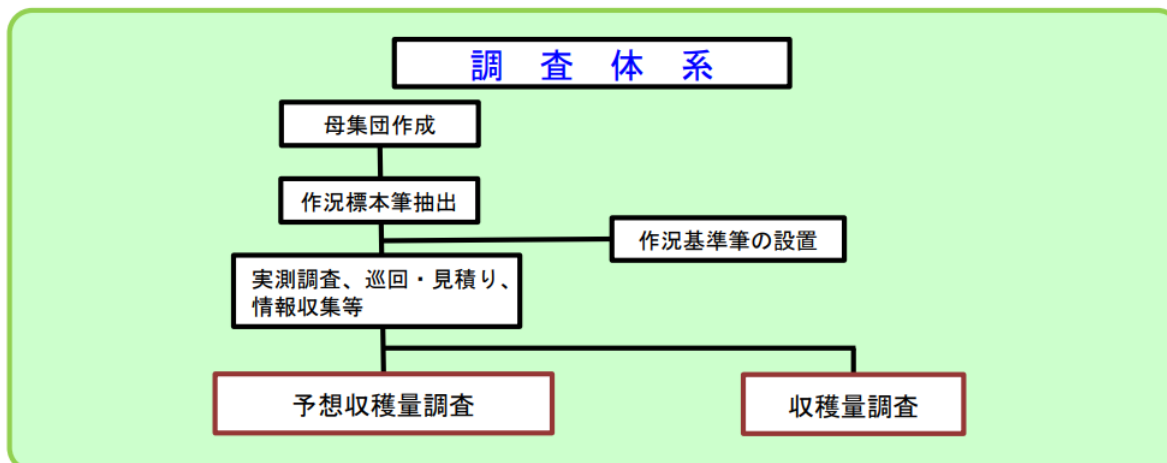
## 【参考2】水稲収穫量調査のしくみ

### I 調査の概要

#### 1 調査の目的及び体系

水稲収穫量調査は、国民の主食である米の需給対策や生産対策等の農政推進のための資料を作成することを目的として実施しています。

調査は、国の職員や専門調査員（非常勤の国家公務員）により行われます。



#### 2 調査項目及び公表内容

7月及び8月に作柄概況を、10月及び11月に予想収穫量を、12月に収穫量を公表しています。

予想収穫量調査及び収穫量調査では、作況標本筆の実測調査結果を基本とし、併せて巡回・見積り及び情報収集を行い、下表に示す項目を把握します。

	公表時期	調査項目	主な公表内容
作柄概況 (7月15日現在)	7月下旬		・人工衛星データ等を利用した作柄予測手法による作柄文字情報（西南暖地の早期栽培等 <sup>※</sup> ）
作柄概況 (8月15日現在)	8月下旬		・人工衛星データ等を利用した作柄予測手法による作柄文字情報（西南暖地の早期栽培等を除く）
予想収穫量 (9月25日現在)	10月中旬	水稲の作付面積、穂数・もみ数等の生育状況、登熟状況等	・作況指数(全国・都道府県別) ・10a当たり予想収量(子実用)、予想収穫量(主食用) ・作付面積(青刈りを含む面積、主食用)
予想収穫量 (10月25日現在)	11月中旬	水稲の作付面積、穂数・もみ数等の生育状況、登熟状況等	・作況指数(全国・都道府県・作柄表示地帯別) ・10a当たり予想収量(子実用)、予想収穫量(子実用、主食用) ・作付面積(子実用、主食用)
収穫量	12月上旬	穂数・もみ数等の生育状況、登熟状況、10a当たり収量等	・作況指数(全国・都道府県・作柄表示地帯別) ・10a当たり収量(子実用)、収穫量(子実用、主食用) ・作付面積(子実用、主食用)

注：1 調査項目は、地域ごとに生育ステージが異なるため代表的なものを記載しています。

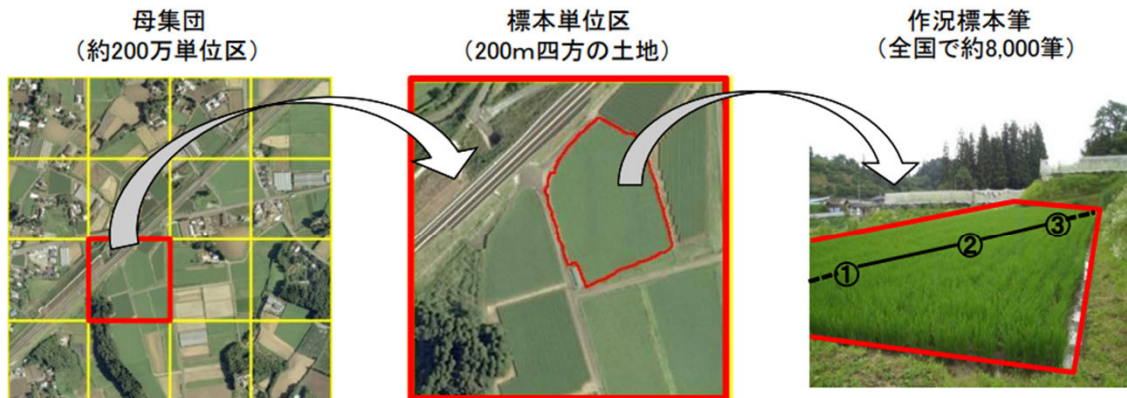
2 沖縄県については、12月上旬公表時点で一部収穫を終えていない地域があり、その後作柄が変動する可能性があるため、翌年2月に公表する確定値を御確認ください。

※：西南暖地の早期栽培等：8月中旬までに刈取りがおおむね終了する早期栽培の面積がおおむね3割以上占める県及び二期作のうちの第一期稲が栽培される沖縄県

## II 調査の内容

### 1 調査箇所の抽出

①全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を母集団とします。②この母集団の中から全国で約8,000単位区を標本単位区として無作為に抽出します。③抽出された標本単位区ごとに水稲が作付けされている水田の中から無作為に抽出された1枚の水田を作況標本筆（調査対象ほ場）として抽出（注）します。④抽出された作況標本筆について、ほ場の対角線上から無作為に選択した3か所を調査箇所とします。



注：水稲収穫量調査は、飯用に供し得る玄米全量の把握を目的としており、作付けされた水稲が飼料用米など、食用以外の用途に供される水田については調査対象ほ場に選定しません。

### 2 収穫前段階の10a当たり収量の推定方法

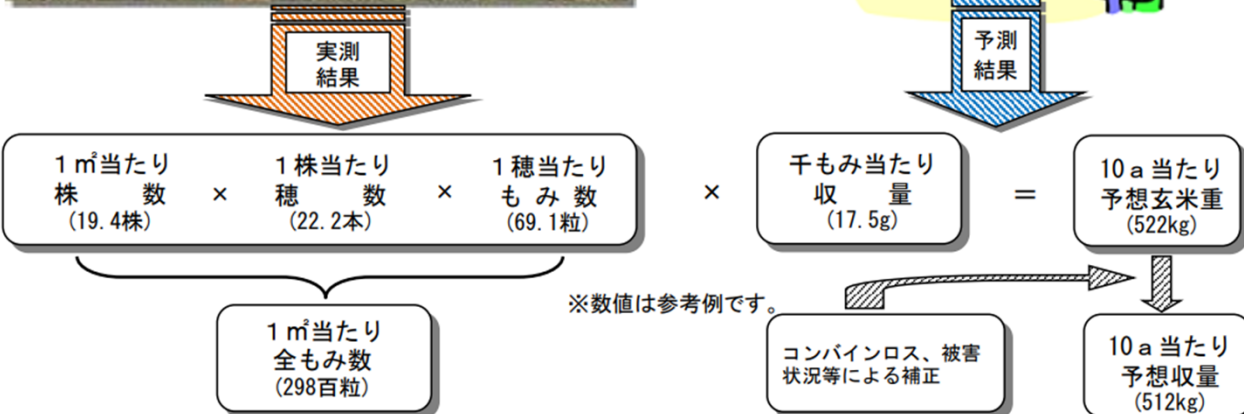
収穫期前に実施する予想収穫量調査では、穂数、もみ数、千もみ当たり収量などのうち実測可能な項目については作況標本筆で調査した実測値を用い、実測が不可能な項目については、過去の気象データ及び実測データを基に作成した予測式により推定した数値を用いて、10a当たり収量を予測しています。

なお、7月15日現在及び8月15日現在については、実測調査を行わず、気象データ及び人工衛星データに基づき10a当たり収量を予測しています。

#### 作況標本筆における実測項目



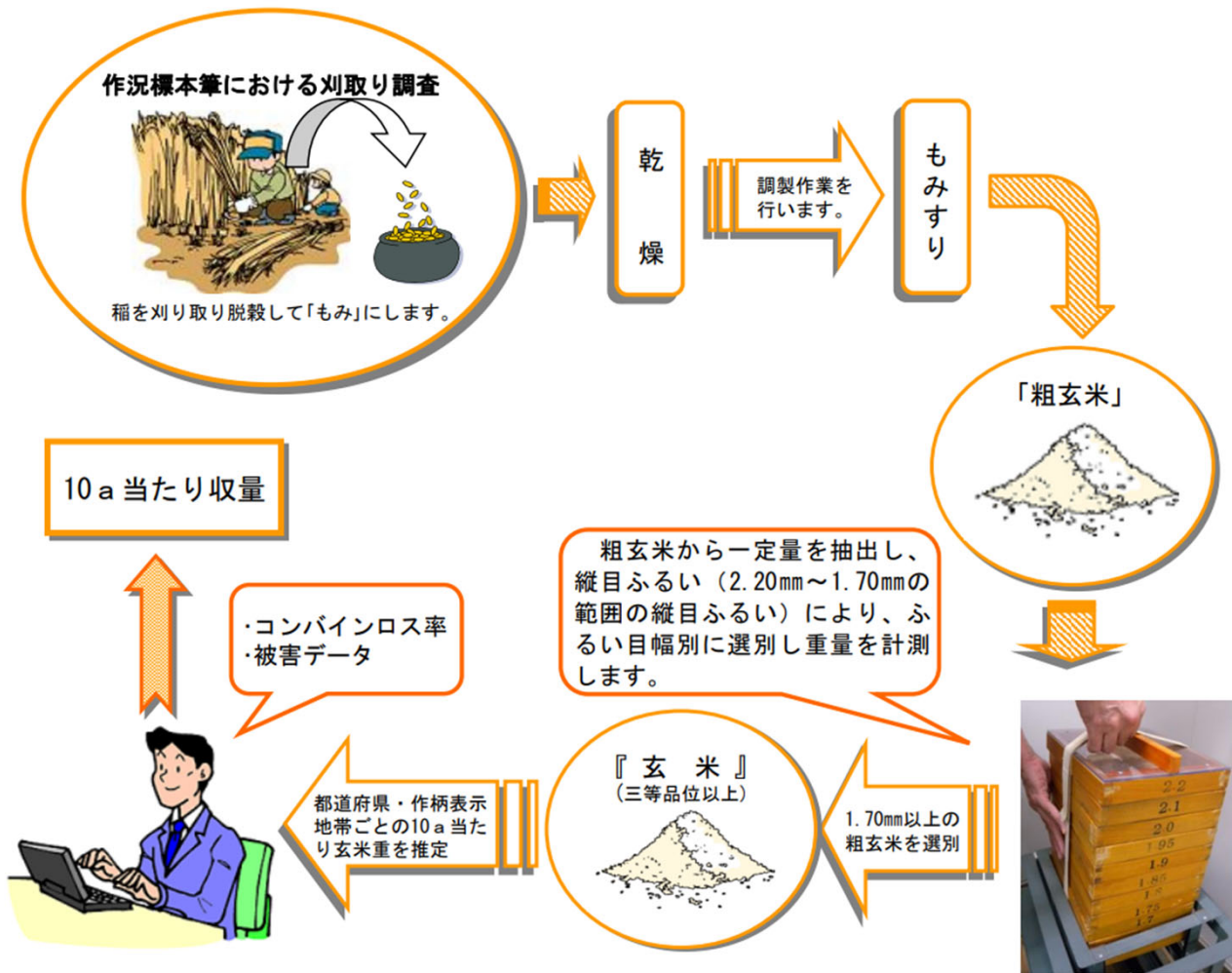
- ・過去の気象データ
- ・当年の気象データ
- ・過去の実測データ
- ・当年の実測データ（実測が完了したもの）





### 3 収穫期の調査方法

収穫期に実施する収穫量調査は、各作況標本筆について3か所の調査箇所ごとに1㎡分の稲を刈り取り、脱穀・乾燥・もみすりを行った後に、一定量を抽出し、飯用に供し得る玄米（農産物規格規程に定める三等の品位に相当する1.70mm以上のふるい目を基準とした玄米）となるように選別を行い、その重さを計測し、都道府県及び作柄表示地帯ごとの10a当たり玄米重を推定します。この玄米重データに収穫時のコンバインのロス率や被害データ等を加味して全国、各都道府県及び作柄表示地帯の「10a当たり収量」を決定しています。





## 4 作況指数の求め方

作況指数は、作柄の良否を表す指標で、その年の「10 a 当たり平年収量」に対する「10 a 当たり（予想）収量」の比率で表します。  
作況指数の公表は、10月中旬、11月中旬及び12月上旬に行っています。

$$\text{作況指数} = \frac{\text{10a当たり(予想)収量}}{\text{10a当たり平年収量}} \times 100$$

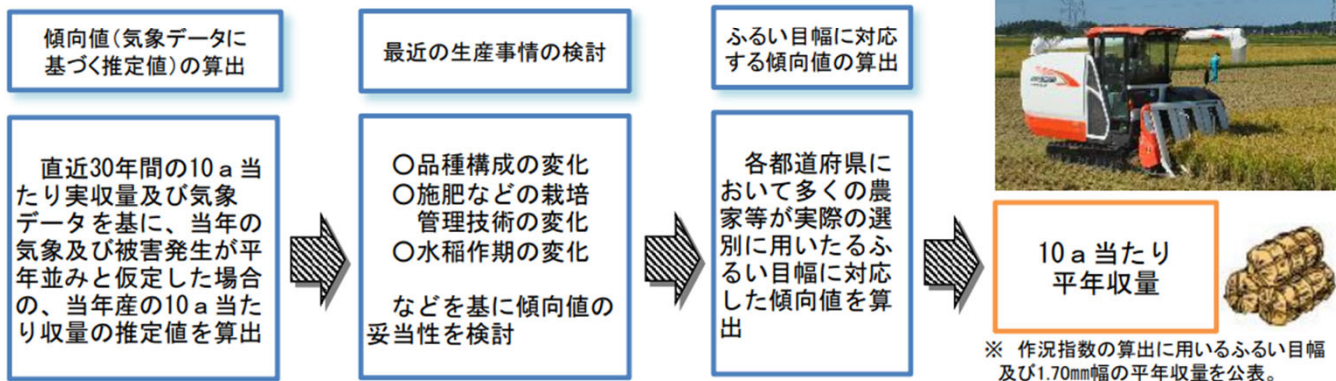
※ 作況指数の算定に用いるふるい目幅は、都道府県ごとに「農家等が使用したふるい目幅の分布（水稲作況標本（基準）筆農家からの聞き取り結果）の過去5か年平均において、最も多い使用割合を占めるふるいの目幅」としています。

### 令和6年産の作況指数の算出に用いるふるい目幅

都道府県	ふるい目幅	都道府県	ふるい目幅	都道府県	ふるい目幅	都道府県	ふるい目幅
北海道	1.90mm	東京	1.80mm	滋賀	1.90mm	香川	1.80mm
青森	1.90mm	神奈川	1.80mm	京都	1.85mm	愛媛	1.80mm
岩手	1.90mm	新潟	1.85mm	大阪	1.80mm	高知	1.80mm
宮城	1.90mm	富山	1.90mm	兵庫	1.85mm	福岡	1.85mm
秋田	1.90mm	石川	1.90mm	奈良	1.80mm	佐賀	1.85mm
山形	1.90mm	福井	1.90mm	和歌山	1.80mm	長崎	1.80mm
福島	1.85mm	山梨	1.85mm	鳥取	1.85mm	熊本	1.85mm
茨城	1.85mm	長野	1.85mm	島根	1.90mm	大分	1.85mm
栃木	1.85mm	岐阜	1.80mm	岡山	1.85mm	宮崎	1.80mm
群馬	1.80mm	静岡	1.85mm	広島	1.85mm	鹿児島	1.80mm
埼玉	1.80mm	愛知	1.85mm	山口	1.85mm	沖縄	1.80mm
千葉	1.80mm	三重	1.85mm	徳島	1.80mm		

### Ⅲ 10a当たり平年収量の算出方法

10a当たり平年収量とは、水稻を作付けする前に、その年の気象推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢を基に作成されたその年の10a当たり予想収量であり、有識者の意見も聴いて決定されるものです。



具体的には

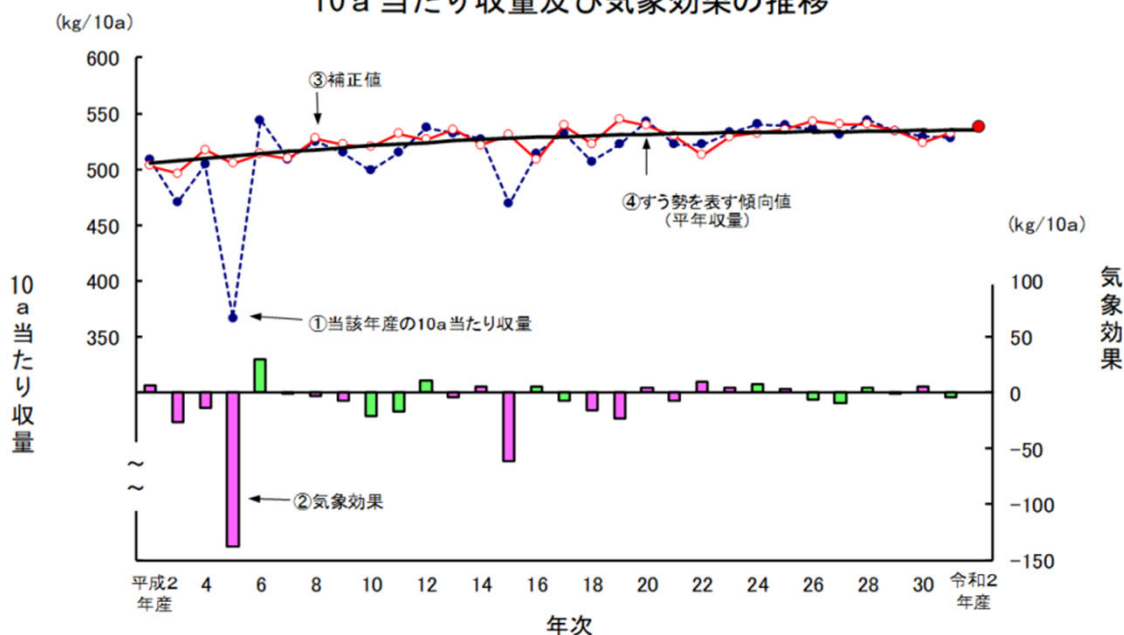
傾向値の算出方法

- ① 10a 当たり収量
- ② 気象効果 (気象要因による変動のことで「気象指数」により表す)

気象指数とは、アメダス気象データ (日平均気温、日最高気温、日最低気温、日降水量、推定日射量、日最大風速) を基に算出した総合的な気象の指標です。

- ③ 補正值 (10a 当たり収量から気象効果部分を除いたもの)
- ④ 平年収量 (補正值を基に一定の推計式により計算したすう勢を表す傾向値)

10a 当たり収量及び気象効果の推移



# IV 調査結果について

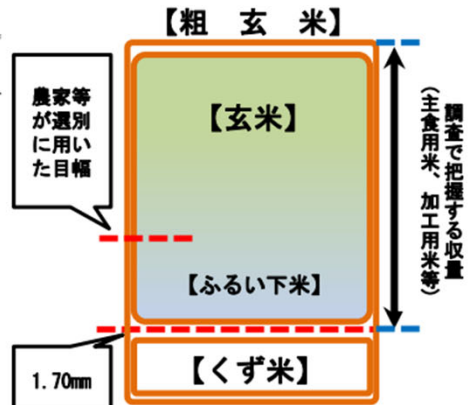
## 1 選別ふるい目幅について

農家等が販売するために使用している選別ふるい目幅は、地域により1.70mm~2.00mm以上と様々ですが、農家等のふるい下米は、更に選別され、その一部も飯用に使用されています。

このため、水稻収穫量調査では、加工用米等を含めた飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的として農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量を収量としています。

農家等が使用しているふるい目幅の分布状況（例）

区分		単位：%						
全国農業地域		合計	1.70mm	1.75mm	1.80mm	1.85mm	1.90mm	2.00mm以上
全	国	100.0	0.3	3.0	24.9	38.1	32.8	0.9
北	海	100.0	-	-	0.3	16.8	77.4	5.5
東	北	100.0	0.0	0.0	0.2	18.2	81.6	0.0
北	陸	100.0	-	0.2	1.4	39.5	57.4	1.5
関	東・東山	100.0	0.9	6.4	44.1	45.9	2.6	0.1
東	海	100.0	0.1	2.6	32.8	51.8	12.2	0.5
近	畿	100.0	0.6	6.1	42.7	33.5	14.2	2.9
中	国	100.0	-	0.7	12.9	75.5	10.2	0.7
四	国	100.0	-	11.3	66.9	21.6	0.2	-
九	州	100.0	0.3	3.4	45.0	43.7	7.5	0.1



※ 沖縄は表章されていませんが、全国の値に含まれます。

調査結果の公表に当たっては、実際にその地域の農家等が用いているふるい目幅でどのくらいの収量になるか分かるように「ふるい目幅別重量分布状況、収穫量及び10a当たり収量」を作成し、公表資料に掲載しています。

水稻玄米のふるい目幅別10a当たり収量（例）

単位：kg

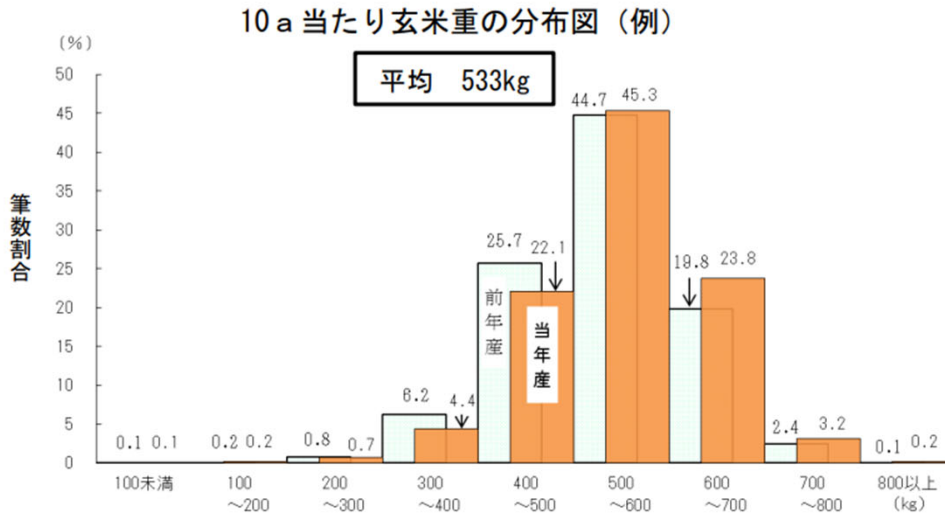
全 国 都道府県	1.70mm 選 別	1.75mm 選 別	1.80mm 選 別	1.85mm 選 別	1.90mm 選 別	2.00mm 選 別
全 国	544	540	534	524	511	435
北 海 道	551	548	542	536	525	463
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
沖 縄	289	287	284	280	275	253

注：ふるい目幅別の10a当たり収量とは、都道府県の10a当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。



## 2 10a当たり玄米重の分布と平均値について

作況標本筆の実測結果から求める10a当たり収量や作況指数は、各都道府県内の平均値を表しているため、個々の農家から見ると高く感じられたり、逆に低く感じられたりすることがあります。このため、平成27年産より作況標本筆の10a当たり玄米重の分布を参考情報として提供しています。



## V 水稲収穫量調査結果の主な利活用

- ☆ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ☆ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況の検証のための資料
- ☆ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ☆ 農業保険法に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料



# 1 米の民間在庫情報

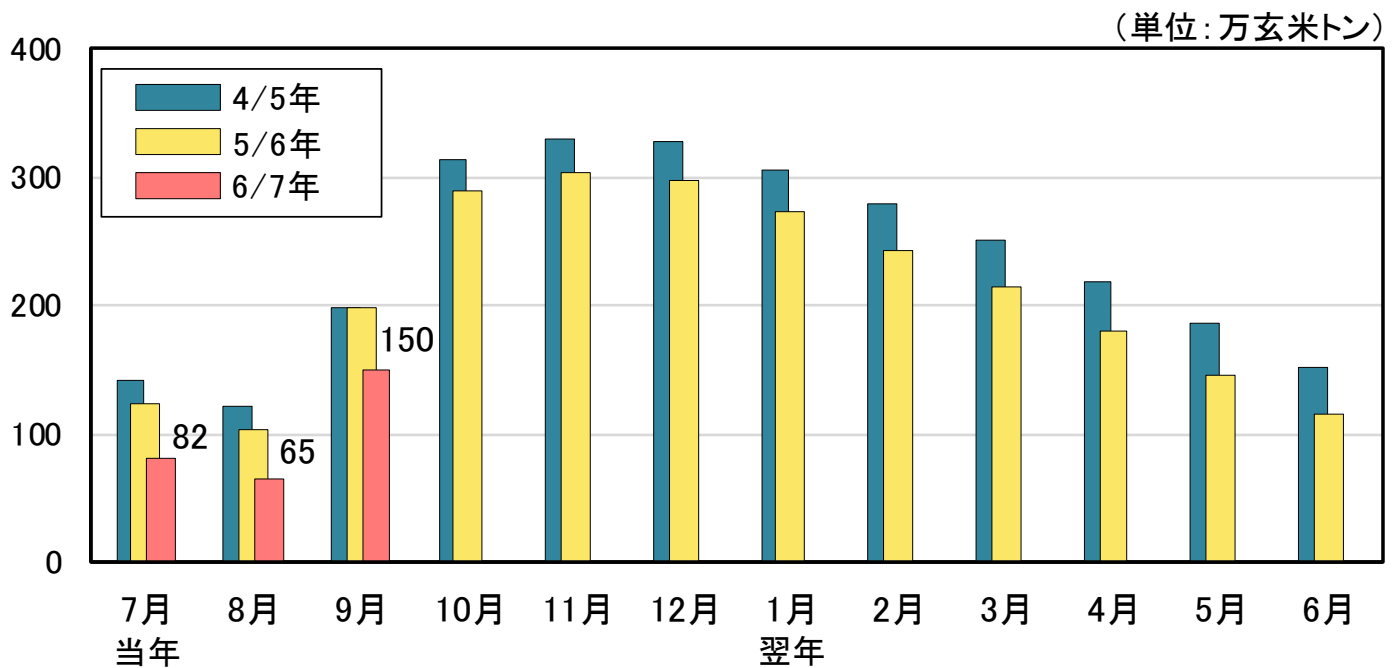
## 1 民間在庫の推移

### (1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）

民間在庫の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。  
【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

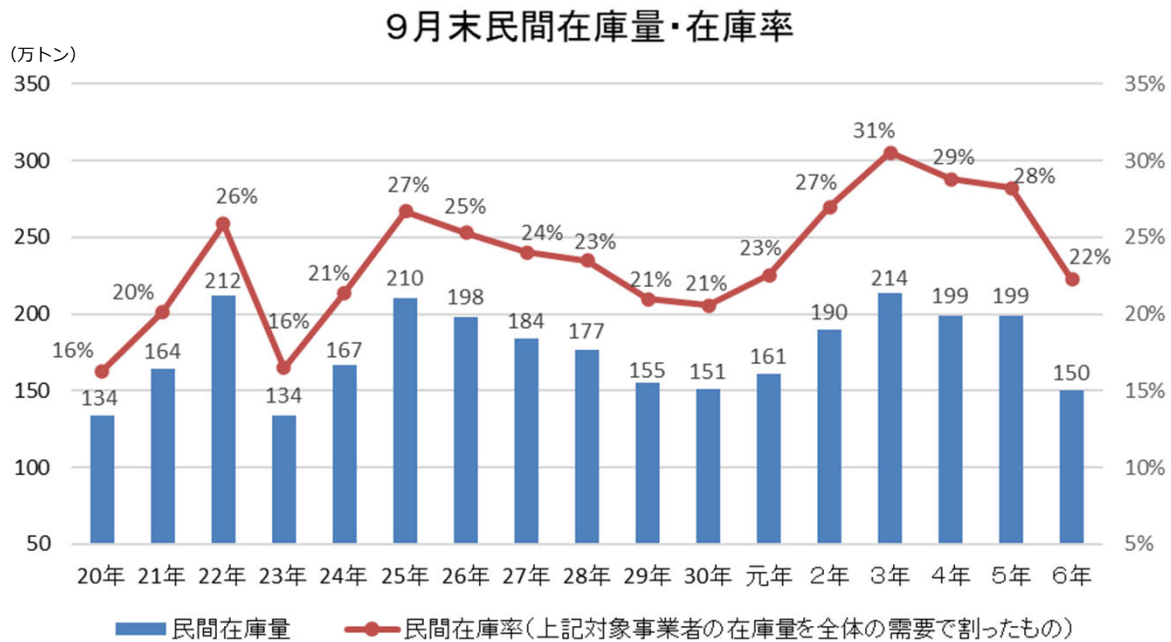
- 令和6年9月末の出荷及び販売段階における民間在庫は、対前年同月差▲49万トンの150万トンとなっている。また、流通段階別でみると出荷段階で対前年同月差▲47万トンの114万トン、販売段階で▲2万トンの36万トンとなっている。

※ 出荷・販売段階別の在庫量は、「在庫-3、4」を参照。



## 【令和6年9月末民間在庫量のポイント】

- 毎月公表している民間在庫量は、①500トン以上の集荷業者、②4,000トン以上の卸売業者が対象。およそ民間の流通在庫全体の75%をカバー(下記参考参照)。
  - 令和6年9月末の民間在庫量は150万トンとなり、平成23年9月末(134万トン)を上回り、平成30年9月末(151万トン)とほぼ同水準。
  - 在庫率としては、令和6年9月末は22%であり、平成23年9月末(16%)を上回り、平成29年から令和元年9月末(21~23%)とほぼ同水準。
- ※ 在庫率は上記対象事業者の在庫量を全体の需要で割ったもの。



※22年以前は、政府備蓄米の運営を回転備蓄方式で実施していたため、政府備蓄米がこの他に主食用米として販売されている。

## (参考) 毎月公表している民間在庫量の調査対象の範囲

	出荷段階	販売段階		生産段階
	年間取扱 500トン以上	年間取扱 4,000トン以上	年間取扱 500~ 4,000トン	
うるち米	<b>【毎月調査ベース】</b> 6月末在庫 115万トン ↓ 9月末在庫 150万トン			
もち米				

【米の基本指針ベース】  
153万トン  
(※6月末のみ調査)

# 【全国段階の民間在庫の推移(うるち米)】

## 【出荷+販売段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
30/元年	102	87	151	288	305	301	282	258	227	192	161	131
対前年差	▲6	▲1	▲4	+5	▲10	▲10	▲6	▲5	▲7	▲9	▲5	▲3
30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126
1年古米(29年産)	97	67	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4
元/2年	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
対前年差	▲3	▲9	+10	+6	+10	+17	+13	+7	+6	+11	+16	+23
元年産米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
1年古米(30年産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3
2/3年	119	101	190	324	344	342	321	293	265	230	199	173
対前年差	+20	+21	+29	+30	+29	+24	+26	+27	+31	+27	+21	+19
2年産米	0	12	124	266	297	304	291	269	245	214	185	162
1年古米(元年産)	112	84	61	51	40	31	23	17	13	11	9	7
3/4年	138	118	214	330	351	349	326	299	270	238	204	172
対前年差	+19	+17	+24	+6	+6	+7	+5	+6	+6	+7	+5	▲1
3年産米	0	11	129	253	285	293	278	258	236	208	179	149
1年古米(2年産)	129	99	77	68	57	47	39	33	28	23	19	17
4/5年	142	122	199	313	330	328	306	280	251	219	186	153
対前年差	+4	+4	▲15	▲18	▲21	▲21	▲20	▲19	▲20	▲18	▲19	▲18
4年産米	1	12	112	236	263	273	259	240	217	191	163	134
1年古米(3年産)	124	94	71	59	49	40	33	26	21	17	14	11
5/6年	123	104	199	289	303	298	274	244	214	180	145	115
対前年差	▲20	▲18	±0	▲23	▲26	▲31	▲32	▲36	▲37	▲39	▲40	▲38
5年産米	1	14	131	232	254	260	245	221	195	165	133	105
1年古米(4年産)	106	78	56	46	36	27	21	15	13	10	7	5
6/7年	82	65	150									
対前年差	▲40	▲39	▲49									
6年産米	1	13	113									
1年古米(5年産)	74	47	31									

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。  
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。  
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。  
 4 期間については、6/7年であれば、令和6年7月～6年6月である。  
 5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。

## 【出荷段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
30/元年	76	63	120	236	252	249	235	215	183	150	127	101
対前年差	▲8	▲3	▲4	+5	▲10	▲8	▲5	▲3	▲4	▲7	▲4	▲2
30年産米	1	14	90	219	240	240	228	211	180	148	125	100
1年古米(29年産)	74	48	30	15	11	7	5	4	3	2	2	1
元/2年	74	55	128	238	257	261	244	219	184	157	138	109
対前年差	▲2	▲8	+8	+2	+5	+13	+9	+4	+1	+7	+11	+8
元年産米	0	7	99	222	246	254	238	214	181	155	136	108
1年古米(30年産)	73	47	28	14	9	6	4	3	2	2	1	1
2/3年	84	70	151	265	285	284	269	245	217	186	162	132
対前年差	+10	+15	+23	+27	+27	+22	+26	+27	+33	+29	+24	+23
2年産米	0	9	108	236	263	268	258	237	211	182	158	129
1年古米(元年産)	82	60	42	28	20	14	10	7	5	4	3	3
3/4年	106	90	178	277	298	296	279	256	226	196	169	139
対前年差	+22	+20	+27	+12	+13	+12	+10	+11	+9	+10	+7	+7
3年産米	0	8	115	227	255	261	249	231	206	179	154	126
1年古米(2年産)	103	80	61	47	40	33	28	24	19	16	14	13
4/5年	116	98	166	262	277	276	259	236	204	176	149	121
対前年差	+10	+8	▲12	▲15	▲21	▲20	▲20	▲20	▲22	▲20	▲20	▲18
4年産米	0	9	97	208	231	239	228	210	185	160	136	110
1年古米(3年産)	103	78	58	44	36	29	24	19	14	11	9	7
5/6年	95	78	161	235	249	246	228	202	171	139	112	84
対前年差	▲21	▲20	▲5	▲27	▲28	▲31	▲31	▲34	▲33	▲36	▲38	▲37
5年産米	0	10	113	200	220	225	212	190	163	134	108	81
1年古米(4年産)	86	61	42	30	24	17	13	10	6	4	3	2
6/7年	58	44	114									
対前年差	▲38	▲34	▲47									
6年産米	0	9	90									
1年古米(5年産)	55	33	22									

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

## 【販売段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
30/元年	26	25	31	53	53	53	47	43	44	42	35	30
対前年差	+3	+2	±0	±0	±0	▲1	▲1	▲2	▲4	▲2	▲2	▲1
30年産米	0	4	13	29	33	37	34	33	36	36	30	27
1年古米(29年産)	23	19	16	21	17	13	10	8	6	5	4	3
元/2年	26	24	33	56	58	57	51	47	49	46	40	45
対前年差	±0	▲1	+2	+3	+4	+4	+4	+4	+5	+4	+5	+14
元年産米	0	3	16	32	37	40	38	36	40	38	33	38
1年古米(30年産)	22	18	15	20	15	10	8	6	5	4	3	2
2/3年	35	31	39	59	60	58	52	48	48	44	37	41
対前年差	+10	+7	+6	+3	+2	+1	+1	+1	▲2	▲2	▲3	▲4
2年産米	0	3	15	30	34	36	33	32	34	33	27	33
1年古米(元年産)	30	24	19	23	20	16	13	10	9	7	6	4
3/4年	32	28	36	53	53	53	46	43	44	42	35	32
対前年差	▲3	▲2	▲3	▲5	▲7	▲5	▲6	▲4	▲3	▲2	▲2	▲8
3年産米	0	3	14	26	30	32	29	28	30	30	25	24
1年古米(2年産)	25	20	16	20	16	14	11	9	9	7	5	4
4/5年	26	25	33	50	52	52	47	44	46	43	36	33
対前年差	▲6	▲4	▲3	▲3	▲1	▲1	+1	+1	+2	+2	+1	±0
4年産米	0	3	15	28	32	34	31	31	32	31	26	24
1年古米(3年産)	20	17	13	15	13	11	8	7	8	7	5	4
5/6年	27	26	38	54	54	52	46	42	43	41	34	31
対前年差	+1	+2	+5	+3	+2	±0	±0	▲3	▲3	▲3	▲3	▲2
5年産米	0	4	18	32	34	35	32	31	32	31	26	24
1年古米(4年産)	20	17	14	16	12	10	8	6	6	6	4	3
6/7年	25	21	36									
対前年差	▲3	▲5	▲2									
6年産米	0	4	22									
1年古米(5年産)	19	13	9									

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照



## (2) 産地別民間在庫の状況（速報）

	5年	5年	6年	対前年	対前年	6年	対前月差	対前年	対前年
	8月	9月	8月	同月差	同月比	9月	⑦=⑥-③	同月差	同月比
	①	②	③	④=③-①	⑤=③/①	⑥	⑦=⑥-③	⑧=⑥-②	⑨=⑥/②
	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(%)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(%)
北海道	91.0	180.6	49.2	▲ 41.8	▲ 46.0%	171.6	122.4	▲ 9.0	▲ 5.0%
青森	46.6	101.2	23.5	▲ 23.1	▲ 49.5%	68.0	44.5	▲ 33.2	▲ 32.8%
岩手	46.2	52.4	29.2	▲ 17.0	▲ 36.7%	38.2	8.9	▲ 14.2	▲ 27.1%
宮城	69.7	116.5	37.9	▲ 31.7	▲ 45.5%	67.0	29.0	▲ 49.5	▲ 42.5%
秋田	48.8	113.4	21.8	▲ 27.0	▲ 55.4%	104.0	82.2	▲ 9.5	▲ 8.3%
山形	61.0	102.7	39.3	▲ 21.8	▲ 35.7%	73.3	34.1	▲ 29.4	▲ 28.6%
福島	55.9	69.4	40.9	▲ 15.0	▲ 26.9%	53.9	13.0	▲ 15.6	▲ 22.4%
茨城	54.9	125.7	36.7	▲ 18.2	▲ 33.2%	100.2	63.5	▲ 25.5	▲ 20.3%
栃木	58.2	122.5	36.8	▲ 21.3	▲ 36.7%	90.7	53.9	▲ 31.8	▲ 26.0%
群馬	9.0	6.7	4.6	▲ 4.4	▲ 48.9%	3.0	▲ 1.6	▲ 3.8	▲ 55.9%
埼玉	13.2	20.7	5.3	▲ 7.9	▲ 60.1%	9.1	3.9	▲ 11.6	▲ 55.9%
千葉	51.7	83.1	52.5	+ 0.8	+ 1.6%	72.3	19.8	▲ 10.8	▲ 13.0%
東京	0.0	0.0	0.0	+ 0.0	-	0.0	0.0	+ 0.0	-
神奈川	0.5	0.8	0.4	▲ 0.1	▲ 13.2%	0.5	0.1	▲ 0.3	▲ 39.0%
山梨	1.6	2.8	1.5	▲ 0.1	▲ 5.2%	2.4	0.9	▲ 0.4	▲ 13.6%
長野	27.0	38.1	18.2	▲ 8.8	▲ 32.6%	29.5	11.4	▲ 8.6	▲ 22.6%
静岡	6.3	16.7	5.0	▲ 1.3	▲ 20.9%	13.8	8.8	▲ 2.9	▲ 17.2%
新潟	65.0	238.9	42.4	▲ 22.5	▲ 34.7%	165.9	123.4	▲ 73.1	▲ 30.6%
富山	28.6	76.8	17.1	▲ 11.4	▲ 40.1%	59.7	42.6	▲ 17.1	▲ 22.2%
石川	25.3	69.6	19.7	▲ 5.7	▲ 22.4%	58.4	38.7	▲ 11.2	▲ 16.1%
福井	20.4	45.2	13.2	▲ 7.2	▲ 35.3%	48.7	35.5	+ 3.5	+ 7.7%
岐阜	15.4	15.9	6.9	▲ 8.5	▲ 55.1%	7.5	0.6	▲ 8.4	▲ 52.8%
愛知	11.3	18.0	8.3	▲ 3.0	▲ 26.9%	11.2	2.9	▲ 6.8	▲ 37.8%
三重	15.8	38.6	11.9	▲ 3.9	▲ 24.9%	25.6	13.8	▲ 13.0	▲ 33.6%
滋賀	16.8	53.9	9.0	▲ 7.8	▲ 46.6%	37.2	28.2	▲ 16.8	▲ 31.1%
京都	2.4	8.2	1.1	▲ 1.3	▲ 54.3%	6.2	5.1	▲ 2.0	▲ 24.7%
大阪	0.6	0.7	0.2	▲ 0.5	▲ 75.9%	0.2	0.0	▲ 0.5	▲ 70.4%
兵庫	14.2	26.1	11.9	▲ 2.4	▲ 16.6%	18.6	6.7	▲ 7.5	▲ 28.6%
奈良	4.7	4.7	1.8	▲ 3.0	▲ 63.1%	1.8	0.0	▲ 2.9	▲ 62.1%
和歌山	1.1	1.4	0.3	▲ 0.7	▲ 68.9%	0.4	0.1	▲ 1.0	▲ 69.1%
鳥取	6.7	11.5	3.9	▲ 2.9	▲ 42.7%	8.6	4.7	▲ 2.9	▲ 25.3%
島根	9.1	18.3	3.9	▲ 5.2	▲ 57.2%	13.4	9.5	▲ 4.9	▲ 26.9%
岡山	13.1	15.1	9.5	▲ 3.6	▲ 27.6%	11.2	1.7	▲ 3.9	▲ 25.7%
広島	10.2	26.8	5.1	▲ 5.1	▲ 49.7%	19.1	14.0	▲ 7.7	▲ 28.6%
山口	14.5	22.7	5.6	▲ 8.9	▲ 61.2%	12.6	7.0	▲ 10.1	▲ 44.3%
徳島	7.8	11.8	5.1	▲ 2.7	▲ 34.8%	7.5	2.4	▲ 4.3	▲ 36.3%
香川	4.1	5.3	1.6	▲ 2.6	▲ 62.3%	2.5	0.9	▲ 2.8	▲ 53.5%
愛媛	7.4	9.7	3.3	▲ 4.1	▲ 55.8%	4.3	1.0	▲ 5.4	▲ 55.4%
高知	9.6	8.6	6.8	▲ 2.7	▲ 28.7%	5.6	▲ 1.2	▲ 3.0	▲ 34.5%
福岡	17.2	27.7	9.2	▲ 8.0	▲ 46.3%	15.8	6.6	▲ 11.9	▲ 43.1%
佐賀	12.2	11.7	6.7	▲ 5.5	▲ 44.9%	6.8	0.0	▲ 4.9	▲ 42.1%
長崎	3.0	2.7	1.9	▲ 1.1	▲ 36.1%	1.9	0.0	▲ 0.8	▲ 30.2%
熊本	12.5	12.3	7.3	▲ 5.2	▲ 41.7%	7.7	0.4	▲ 4.6	▲ 37.5%
大分	6.0	5.7	3.0	▲ 3.0	▲ 49.5%	3.6	0.5	▲ 2.1	▲ 36.9%
宮崎	7.4	4.1	3.9	▲ 3.5	▲ 47.6%	2.3	▲ 1.6	▲ 1.8	▲ 44.9%
鹿児島	12.0	9.4	4.0	▲ 8.0	▲ 66.9%	2.6	▲ 1.4	▲ 6.8	▲ 72.7%
沖縄	0.4	0.3	0.2	▲ 0.2	▲ 44.0%	0.2	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 49.2%
全国	104万ト	199万ト	65万ト	▲ 39万ト	▲ 37.7%	150万ト	+ 85万ト	▲ 49万ト	▲ 24.7%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。  
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。  
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。  
 4 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

### (3) 令和5・6年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

（北海道から秋田）

（単位：千玄米トン）

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	出荷＋販売段階	80.4	49.2	171.6									
	6年産米			133.4									
	1年古米(5年産)	76.1	46.8	36.6									
	出荷段階	60.2	35.5	131.1									
	6年産米			102.6									
	1年古米(5年産)	58.6	34.8	28.1									
	販売段階	20.1	13.6	40.4									
	6年産米			30.9									
	1年古米(5年産)	17.5	12.0	8.5									
青森	出荷＋販売段階	38.2	23.5	68.0									
	6年産米			52.8									
	1年古米(5年産)	37.5	23.1	15.0									
	出荷段階	26.0	15.5	55.8									
	6年産米			46.0									
	1年古米(5年産)	25.8	15.4	9.8									
	販売段階	12.2	8.0	12.2									
	6年産米			6.8									
	1年古米(5年産)	11.6	7.7	5.2									
岩手	出荷＋販売段階	47.0	29.2	38.2									
	6年産米			21.1									
	1年古米(5年産)	44.3	27.9	16.4									
	出荷段階	36.2	22.6	31.0									
	6年産米			18.0									
	1年古米(5年産)	35.1	22.1	12.7									
	販売段階	10.8	6.6	7.2									
	6年産米			3.1									
	1年古米(5年産)	9.2	5.8	3.6									
宮城	出荷＋販売段階	56.1	37.9	67.0									
	6年産米			42.5									
	1年古米(5年産)	54.4	36.8	23.7									
	出荷段階	44.1	28.7	53.9									
	6年産米			36.4									
	1年古米(5年産)	43.3	28.3	17.3									
	販売段階	12.1	9.2	13.0									
	6年産米			6.1									
	1年古米(5年産)	11.1	8.5	6.4									
秋田	出荷＋販売段階	44.0	21.8	104.0									
	6年産米			91.9									
	1年古米(5年産)	41.6	20.2	10.8									
	出荷段階	31.7	13.7	90.9									
	6年産米			84.0									
	1年古米(5年産)	30.7	13.0	6.4									
	販売段階	12.3	8.0	13.1									
	6年産米			7.9									
	1年古米(5年産)	10.9	7.1	4.4									

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

(山形から埼玉)

(単位:千玄米トン)

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
山形	出荷+販売段階	57.2	39.3	73.3									
	6年産米		0.0	41.0									
	1年古米(5年産)	52.5	35.3	29.0									
	出荷段階	44.7	28.3	61.9									
	6年産米			38.6									
	1年古米(5年産)	43.3	27.1	22.2									
	販売段階	12.6	11.0	11.5									
	6年産米		0.0	2.5									
	1年古米(5年産)	9.1	8.2	6.8									
福島	出荷+販売段階	58.9	40.9	53.9									
	6年産米		0.0	26.1									
	1年古米(5年産)	56.7	39.4	27.0									
	出荷段階	41.5	25.4	40.1									
	6年産米			22.9									
	1年古米(5年産)	40.7	25.0	17.2									
	販売段階	17.5	15.5	13.8									
	6年産米		0.0	3.2									
	1年古米(5年産)	16.0	14.4	9.8									
茨城	出荷+販売段階	27.0	36.7	100.2									
	6年産米		21.2	90.0									
	1年古米(5年産)	19.7	9.7	5.8									
	出荷段階	12.5	19.8	60.5									
	6年産米		13.4	56.9									
	1年古米(5年産)	9.4	4.0	1.8									
	販売段階	14.5	16.9	39.7									
	6年産米		7.8	33.2									
	1年古米(5年産)	10.4	5.8	4.0									
栃木	出荷+販売段階	55.6	36.8	90.7									
	6年産米		0.3	65.9									
	1年古米(5年産)	52.9	35.3	24.0									
	出荷段階	42.1	29.4	68.8									
	6年産米		0.2	49.3									
	1年古米(5年産)	41.0	28.7	19.0									
	販売段階	13.5	7.4	21.9									
	6年産米		0.1	16.6									
	1年古米(5年産)	11.9	6.6	4.9									
群馬	出荷+販売段階	6.6	4.6	3.0									
	6年産米			0.0									
	1年古米(5年産)	6.5	4.5	2.9									
	出荷段階	4.9	3.5	2.3									
	6年産米			0.0									
	1年古米(5年産)	4.9	3.5	2.3									
	販売段階	1.7	1.1	0.7									
	6年産米			0.0									
	1年古米(5年産)	1.6	1.0	0.6									
埼玉	出荷+販売段階	7.2	5.3	9.1									
	6年産米		0.9	6.8									
	1年古米(5年産)	6.1	3.9	2.2									
	出荷段階	4.3	2.4	5.2									
	6年産米		0.3	4.4									
	1年古米(5年産)	3.7	1.9	0.7									
	販売段階	2.9	2.8	4.0									
	6年産米		0.6	2.4									
	1年古米(5年産)	2.4	2.0	1.5									

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

在庫-7

(千葉から静岡)

(単位:千玄米トン)

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉	出荷+販売段階	8.4	52.5	72.3									
	6年産米	0.0	48.0	69.6									
	1年古米(5年産)	7.9	4.1	2.4									
	出荷段階	2.4	40.4	52.4									
	6年産米	0.0	39.7	52.1									
	1年古米(5年産)	2.4	0.7	0.3									
	販売段階	6.0	12.1	20.0									
	6年産米	0.0	8.3	17.5									
	1年古米(5年産)	5.6	3.4	2.1									
東京	出荷+販売段階	0.0	0.0	0.0									
	6年産米												
	1年古米(5年産)	0.0	0.0	0.0									
	出荷段階												
	6年産米												
	1年古米(5年産)												
	販売段階	0.0	0.0	0.0									
	6年産米												
	1年古米(5年産)	0.0	0.0	0.0									
神奈川	出荷+販売段階	0.7	0.4	0.5									
	6年産米			0.4									
	1年古米(5年産)	0.7	0.4	0.1									
	出荷段階	0.6	0.4	0.4									
	6年産米			0.4									
	1年古米(5年産)	0.6	0.4	0.1									
	販売段階	0.0	0.0	0.0									
	6年産米			0.0									
	1年古米(5年産)	0.0	0.0	0.0									
山梨	出荷+販売段階	1.9	1.5	2.4									
	6年産米			1.2									
	1年古米(5年産)	1.9	1.5	1.2									
	出荷段階	1.5	1.2	2.1									
	6年産米			1.2									
	1年古米(5年産)	1.5	1.2	1.0									
	販売段階	0.3	0.3	0.3									
	6年産米			0.0									
	1年古米(5年産)	0.3	0.3	0.2									
長野	出荷+販売段階	25.3	18.2	29.5									
	6年産米		0.0	16.4									
	1年古米(5年産)	25.1	18.1	13.1									
	出荷段階	21.3	15.7	25.5									
	6年産米			14.5									
	1年古米(5年産)	21.3	15.7	11.1									
	販売段階	3.9	2.5	4.0									
	6年産米		0.0	1.9									
	1年古米(5年産)	3.8	2.4	2.0									
静岡	出荷+販売段階	3.1	5.0	13.8									
	6年産米		3.1	12.7									
	1年古米(5年産)	3.1	1.8	1.1									
	出荷段階	0.6	1.7	7.5									
	6年産米		1.4	7.4									
	1年古米(5年産)	0.6	0.3	0.1									
	販売段階	2.5	3.3	6.3									
	6年産米		1.8	5.3									
	1年古米(5年産)	2.5	1.6	1.0									

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。



(新潟から愛知)

(単位:千玄米トン)

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟	出荷+販売段階	68.8	42.4	165.9									
	6年産米		0.8	137.1									
	1年古米(5年産)	62.8	36.8	25.2									
	出荷段階	52.9	32.1	144.2									
	6年産米		0.6	121.2									
	1年古米(5年産)	47.9	27.4	19.9									
	販売段階	16.0	10.4	21.7									
	6年産米		0.2	15.9									
	1年古米(5年産)	14.9	9.4	5.4									
富山	出荷+販売段階	22.9	17.1	59.7									
	6年産米		2.4	48.8									
	1年古米(5年産)	22.7	14.6	10.8									
	出荷段階	17.9	12.3	50.4									
	6年産米		1.4	43.2									
	1年古米(5年産)	17.9	10.9	7.2									
	販売段階	5.0	4.8	9.3									
	6年産米		1.0	5.6									
	1年古米(5年産)	4.8	3.7	3.6									
石川	出荷+販売段階	18.2	19.7	58.4									
	6年産米		7.7	49.3									
	1年古米(5年産)	15.6	10.1	7.6									
	出荷段階	12.3	14.1	39.5									
	6年産米		5.3	32.4									
	1年古米(5年産)	11.0	7.9	6.3									
	販売段階	5.9	5.5	18.9									
	6年産米		2.4	16.9									
	1年古米(5年産)	4.6	2.2	1.3									
福井	出荷+販売段階	10.3	13.2	48.7									
	6年産米		7.3	44.7									
	1年古米(5年産)	10.2	5.9	4.0									
	出荷段階	6.4	4.8	30.9									
	6年産米		1.2	28.5									
	1年古米(5年産)	6.4	3.6	2.4									
	販売段階	3.9	8.3	17.8									
	6年産米		6.0	16.2									
	1年古米(5年産)	3.8	2.2	1.6									
岐阜	出荷+販売段階	8.0	6.9	7.5									
	6年産米		0.7	3.1									
	1年古米(5年産)	7.5	5.7	4.0									
	出荷段階	5.2	4.5	5.2									
	6年産米		0.5	2.4									
	1年古米(5年産)	5.0	3.8	2.6									
	販売段階	2.8	2.5	2.3									
	6年産米		0.2	0.7									
	1年古米(5年産)	2.5	1.9	1.4									
愛知	出荷+販売段階	8.8	8.3	11.2									
	6年産米		2.3	7.7									
	1年古米(5年産)	8.5	5.7	3.2									
	出荷段階	7.1	6.5	8.6									
	6年産米		1.8	6.1									
	1年古米(5年産)	7.1	4.7	2.5									
	販売段階	1.7	1.8	2.6									
	6年産米		0.5	1.6									
	1年古米(5年産)	1.4	0.9	0.8									

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
三重	出荷+販売段階	5.3	11.9	25.6									
	6年産米		9.0	23.9									
	1年古米(5年産)	5.1	2.8	1.7									
	出荷段階	2.5	8.3	20.5									
	6年産米		7.2	19.8									
	1年古米(5年産)	2.5	1.1	0.7									
	販売段階	2.8	3.6	5.2									
	6年産米		1.8	4.1									
	1年古米(5年産)	2.5	1.7	1.1									
滋賀	出荷+販売段階	9.5	9.0	37.2									
	6年産米		3.9	32.6									
	1年古米(5年産)	7.5	3.6	3.6									
	出荷段階	5.8	6.1	31.4									
	6年産米		3.3	29.4									
	1年古米(5年産)	4.9	2.2	1.6									
	販売段階	3.7	2.8	5.8									
	6年産米		0.6	3.2									
	1年古米(5年産)	2.6	1.4	2.1									
京都	出荷+販売段階	1.9	1.1	6.2									
	6年産米		0.1	5.6									
	1年古米(5年産)	1.9	1.0	0.6									
	出荷段階	1.3	0.8	5.5									
	6年産米		0.1	5.1									
	1年古米(5年産)	1.3	0.7	0.4									
	販売段階	0.5	0.3	0.7									
	6年産米		0.0	0.5									
	1年古米(5年産)	0.5	0.3	0.2									
大阪	出荷+販売段階	0.3	0.2	0.2									
	6年産米			0.2									
	1年古米(5年産)	0.3	0.2	0.0									
	出荷段階	0.3	0.1	0.2									
	6年産米			0.2									
	1年古米(5年産)	0.3	0.1	0.0									
	販売段階	0.1	0.1	0.0									
	6年産米			0.0									
	1年古米(5年産)	0.1	0.1	0.0									
兵庫	出荷+販売段階	15.9	11.9	18.6									
	6年産米		0.3	11.4									
	1年古米(5年産)	15.5	11.5	7.1									
	出荷段階	13.3	10.3	16.7									
	6年産米		0.3	10.5									
	1年古米(5年産)	13.1	10.0	6.1									
	販売段階	2.6	1.6	1.9									
	6年産米		0.0	0.9									
	1年古米(5年産)	2.4	1.5	1.0									
奈良	出荷+販売段階	2.7	1.8	1.8									
	6年産米			0.7									
	1年古米(5年産)	2.5	1.6	1.0									
	出荷段階	1.9	1.1	1.0									
	6年産米			0.6									
	1年古米(5年産)	1.9	1.1	0.5									
	販売段階	0.8	0.7	0.8									
	6年産米			0.1									
	1年古米(5年産)	0.6	0.5	0.6									

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

(和歌山から山口)

(単位:千玄米トン)

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷+販売段階	0.5	0.3	0.4									
	6年産米			0.2									
	1年古米(5年産)	0.5	0.3	0.2									
	出荷段階	0.3	0.2	0.3									
	6年産米			0.1									
	1年古米(5年産)	0.3	0.2	0.1									
	販売段階	0.2	0.1	0.1									
	6年産米			0.1									
	1年古米(5年産)	0.2	0.1	0.1									
鳥取	出荷+販売段階	6.5	3.8	8.6									
	6年産米		0.0	6.5									
	1年古米(5年産)	6.3	3.7	2.0									
	出荷段階	4.6	2.6	6.9									
	6年産米		0.0	5.7									
	1年古米(5年産)	4.5	2.6	1.2									
	販売段階	1.9	1.2	1.7									
	6年産米		0.0	0.8									
	1年古米(5年産)	1.9	1.2	0.8									
島根	出荷+販売段階	5.9	3.9	13.4									
	6年産米		0.5	11.3									
	1年古米(5年産)	5.5	3.1	1.9									
	出荷段階	4.2	2.8	11.4									
	6年産米		0.4	9.9									
	1年古米(5年産)	4.2	2.4	1.5									
	販売段階	1.7	1.1	2.0									
	6年産米		0.1	1.4									
	1年古米(5年産)	1.3	0.7	0.4									
岡山	出荷+販売段階	14.0	9.5	11.2									
	6年産米		0.0	5.7									
	1年古米(5年産)	13.4	8.9	5.2									
	出荷段階	10.3	6.8	7.2									
	6年産米		0.0	4.3									
	1年古米(5年産)	10.2	6.7	2.9									
	販売段階	3.7	2.7	4.0									
	6年産米		0.0	1.4									
	1年古米(5年産)	3.1	2.2	2.4									
広島	出荷+販売段階	8.2	5.1	19.1									
	6年産米		0.0	16.2									
	1年古米(5年産)	7.7	4.9	2.7									
	出荷段階	5.2	2.8	16.2									
	6年産米			14.6									
	1年古米(5年産)	5.2	2.8	1.5									
	販売段階	3.0	2.3	2.9									
	6年産米		0.0	1.6									
	1年古米(5年産)	2.5	2.0	1.2									
山口	出荷+販売段階	8.4	5.6	12.6									
	6年産米		0.6	9.6									
	1年古米(5年産)	7.9	4.8	3.0									
	出荷段階	6.8	4.5	11.3									
	6年産米		0.4	8.8									
	1年古米(5年産)	6.6	4.0	2.4									
	販売段階	1.6	1.1	1.4									
	6年産米		0.2	0.8									
	1年古米(5年産)	1.4	0.8	0.5									

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

(徳島から佐賀)

(単位:千玄米トン)

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
徳島	出荷+販売段階	0.8	5.1	7.5									
	6年産米		4.6	7.2									
	1年古米(5年産)	0.8	0.4	0.3									
	出荷段階	0.0	3.6	5.4									
	6年産米		3.6	5.4									
	1年古米(5年産)	0.0											
	販売段階	0.8	1.4	2.1									
	6年産米		1.0	1.7									
	1年古米(5年産)	0.8	0.4	0.3									
香川	出荷+販売段階	2.7	1.6	2.5									
	6年産米		0.2	1.7									
	1年古米(5年産)	2.7	1.3	0.7									
	出荷段階	1.7	0.7	1.5									
	6年産米			1.3									
	1年古米(5年産)	1.7	0.7	0.2									
	販売段階	1.1	0.9	1.0									
	6年産米		0.2	0.5									
	1年古米(5年産)	1.0	0.6	0.5									
愛媛	出荷+販売段階	3.8	3.3	4.3									
	6年産米		1.4	3.2									
	1年古米(5年産)	3.6	1.8	1.1									
	出荷段階	3.3	3.0	3.8									
	6年産米		1.3	2.8									
	1年古米(5年産)	3.2	1.7	1.0									
	販売段階	0.5	0.3	0.5									
	6年産米		0.1	0.3									
	1年古米(5年産)	0.4	0.2	0.2									
高知	出荷+販売段階	2.5	6.8	5.6									
	6年産米	0.4	5.3	4.4									
	1年古米(5年産)	1.7	1.2	1.0									
	出荷段階	0.2	2.2	2.0									
	6年産米	0.2	2.2	2.0									
	1年古米(5年産)	0.1	0.0	0.0									
	販売段階	2.3	4.6	3.6									
	6年産米	0.3	3.1	2.5									
	1年古米(5年産)	1.7	1.2	0.9									
福岡	出荷+販売段階	15.4	9.2	15.8									
	6年産米		0.9	11.0									
	1年古米(5年産)	15.1	8.1	4.6									
	出荷段階	11.6	6.5	9.6									
	6年産米		0.4	6.2									
	1年古米(5年産)	11.5	6.1	3.4									
	販売段階	3.8	2.7	6.2									
	6年産米		0.5	4.8									
	1年古米(5年産)	3.6	2.0	1.2									
佐賀	出荷+販売段階	10.2	6.7	6.8									
	6年産米		0.4	3.6									
	1年古米(5年産)	9.7	6.1	3.0									
	出荷段階	7.8	5.4	5.6									
	6年産米		0.3	3.2									
	1年古米(5年産)	7.8	5.1	2.4									
	販売段階	2.3	1.3	1.1									
	6年産米		0.1	0.4									
	1年古米(5年産)	1.9	0.9	0.6									

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

(長崎から沖縄)

(単位:千玄米トン)

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
長崎	出荷+販売段階	2.4	1.9	1.9									
	6年産米		0.4	1.0									
	1年古米(5年産)	2.4	1.5	0.9									
	出荷段階	2.1	1.7	1.6									
	6年産米		0.4	0.9									
	1年古米(5年産)	2.1	1.3	0.8									
	販売段階	0.3	0.2	0.2									
	6年産米		0.0	0.1									
	1年古米(5年産)	0.3	0.2	0.1									
熊本	出荷+販売段階	10.2	7.3	7.7									
	6年産米		1.4	4.2									
	1年古米(5年産)	9.8	5.6	3.2									
	出荷段階	6.1	3.4	3.9									
	6年産米		0.5	2.4									
	1年古米(5年産)	6.1	3.0	1.5									
	販売段階	4.1	3.8	3.8									
	6年産米		0.9	1.8									
	1年古米(5年産)	3.8	2.6	1.8									
大分	出荷+販売段階	4.1	3.0	3.6									
	6年産米		0.4	2.1									
	1年古米(5年産)	4.0	2.5	1.4									
	出荷段階	2.4	1.6	1.8									
	6年産米		0.2	1.2									
	1年古米(5年産)	2.4	1.3	0.6									
	販売段階	1.7	1.5	1.8									
	6年産米		0.2	0.9									
	1年古米(5年産)	1.6	1.2	0.8									
宮崎	出荷+販売段階	4.8	3.9	2.3									
	6年産米	3.9	3.2	1.9									
	1年古米(5年産)	0.9	0.6	0.3									
	出荷段階	2.3	0.8	0.2									
	6年産米	2.0	0.7	0.2									
	1年古米(5年産)	0.3	0.2	0.0									
	販売段階	2.5	3.0	2.1									
	6年産米	1.9	2.6	1.8									
	1年古米(5年産)	0.6	0.5	0.3									
鹿児島	出荷+販売段階	5.0	4.0	2.6									
	6年産米	0.6	1.5	1.0									
	1年古米(5年産)	3.6	1.9	1.1									
	出荷段階	3.7	2.5	1.4									
	6年産米	0.2	0.5	0.3									
	1年古米(5年産)	3.0	1.5	0.6									
	販売段階	1.4	1.5	1.2									
	6年産米	0.4	0.9	0.7									
	1年古米(5年産)	0.6	0.4	0.4									
沖縄	出荷+販売段階	0.5	0.2	0.2									
	6年産米	0.5	0.2	0.2									
	1年古米(5年産)												
	出荷段階	0.2	0.2	0.1									
	6年産米	0.2	0.2	0.1									
	1年古米(5年産)												
	販売段階	0.2	0.1	0.0									
	6年産米	0.2	0.1	0.0									
	1年古米(5年産)												

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。



## 2 米の価格情報

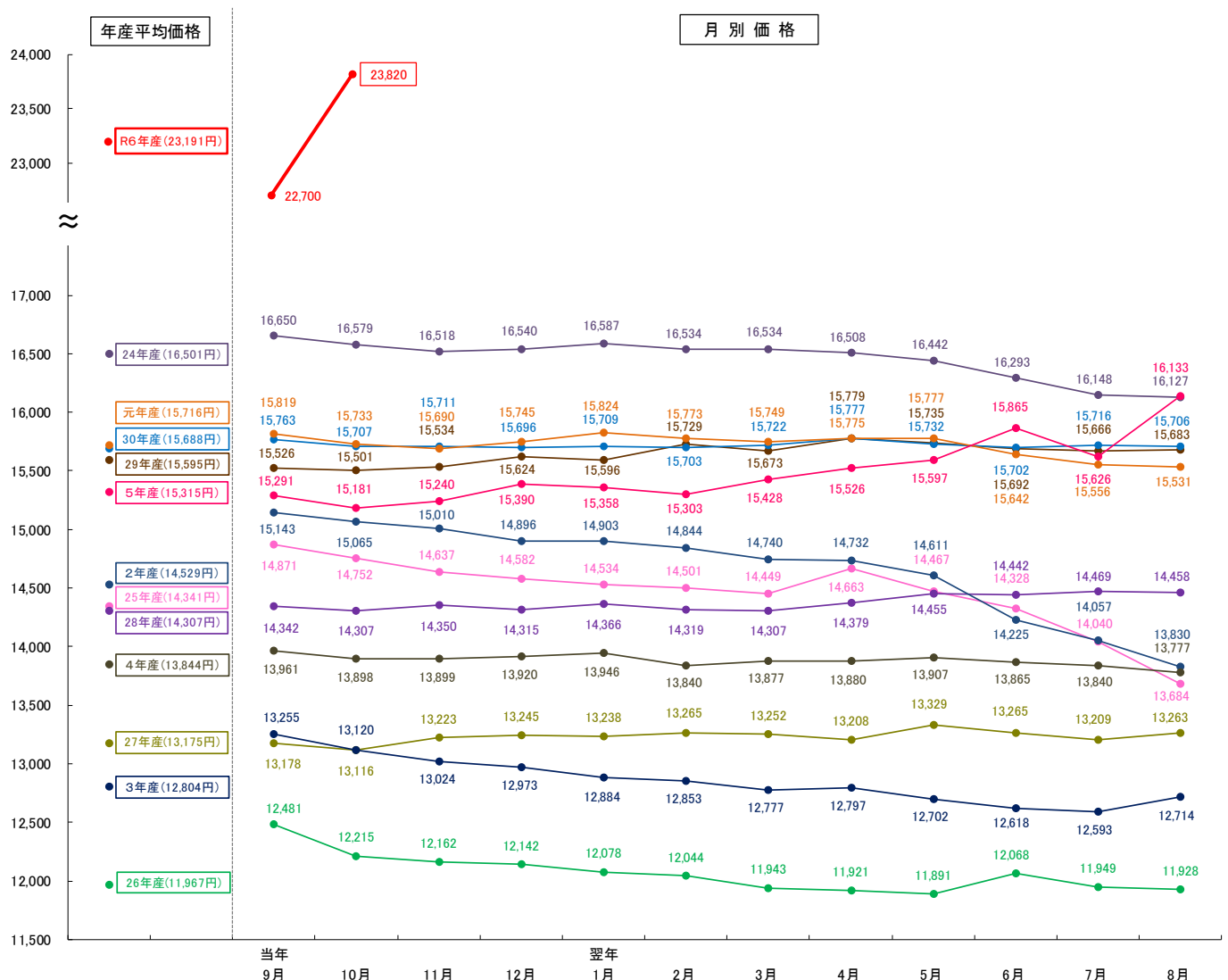
### 1 相対取引価格・数量

相対取引価格の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

#### (1) 年産別の相対取引価格（速報）

- 令和6年産米の令和6年10月の相対取引価格は、全銘柄平均で23,820円/60kgとなり、前年同月比+8,639円（+57%）、前月比+1,120円（+5%）、取扱数量は、前年同月比+60%となったところ。
- 令和6年10月までの年産平均価格23,191円/60kgは、出荷業者と卸売業者等の間の取引価格としては、平成5年産の23,607円/60kgに次ぐ価格である。

相対取引価格の推移（税込）（全銘柄平均価格）



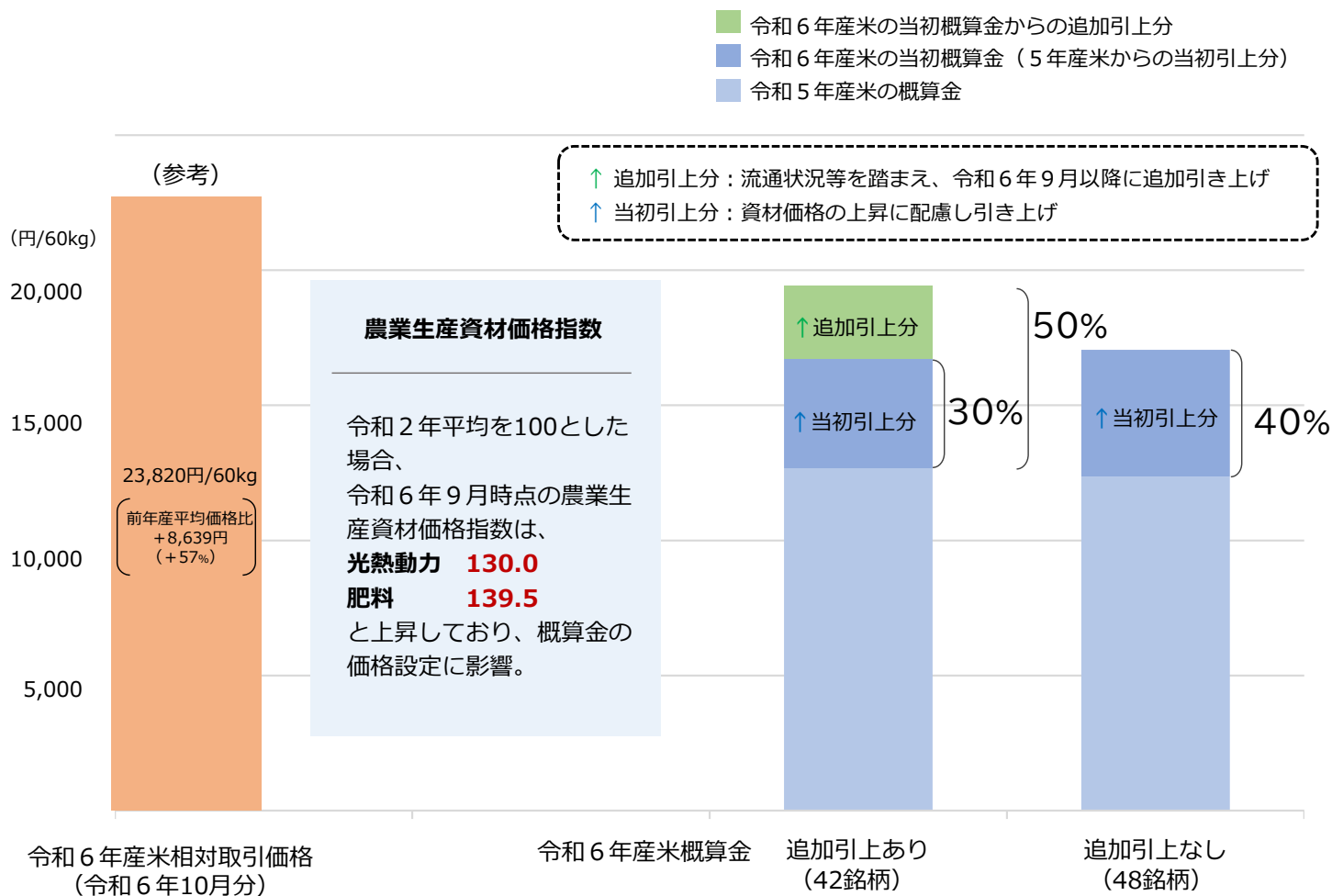
資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 価格には、運賃、包装代、消費税が含まれている。なお、消費税は、平成26年3月以前は5%、令和元年9月以前は8%、10月以降は軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。

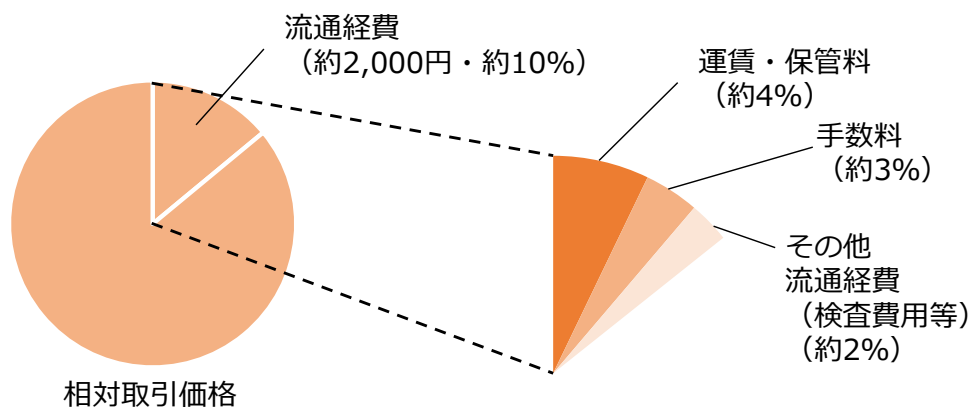
3 グラフ左側の年産平均価格は、当該年産の出回りから翌年10月まで（6年産は出回りから令和6年10月までの速報値）の通年平均価格、右側は月別の価格である。

## (参考) 6年産米の概算金の設定と相対取引価格の状況



※概算金は、業界紙情報及び集荷業者等からの聞き取りによるもの（令和6年10月29日現在）。

### 米の集荷・流通に関する経費



- 集荷団体が行う米の集荷・流通等に要するコストは、各県・銘柄によって異なるものの、概ね約2,000円/60kg（約10%）と推定される。
- 内訳は、通年供給にかかる保管料、産地から消費地への運賃等が4%、手数料が3%、その他（安全安心にかかるサンプル検査費用、広告宣伝費用他）が2%程度と推定される。

※流通経費は、集荷業者等からの聞き取りにより算出。

(2) 相対取引価格・数量 (令和6年産米、産地品種銘柄別、令和6年10月分) (速報)

相対取引価格・数量 (北海道から三重まで)

(単位:円/玄米60kg税込、玄米トン)

産地	品種銘柄	6年産米 令和6年10月		月別価格						年産平均価格			取引数量				取引数量 累計		
		価格 ①	数量 ②	6年産米 (6年9月)	対前月比 ①/③	対前年 同月比 ①/④	5年産米 (5年10月)	6年産米 出回り~ 6年10月	5年産米 出回り~ 6年10月	対前年比 ⑤/⑥	6年産米 (6年9月)	対前月比 ②/⑦	対前年 同月比 ②/⑧	5年産米 (5年10月)	6年産米 出回り~ 6年10月	5年産米 出回り~ 5年10月	対前年 同月比 ⑨/⑩		
				③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩								
北海道	ななつほし	25,241	20,396	25,198	100%	163%	15,520	24,063	15,655	154%	11,463	178%	129%	15,860	36,472	21,413	170%		
北海道	ゆめびりか	27,283	9,328	25,971	105%	162%	16,873	25,877	16,452	157%	7,430	126%	126%	7,401	18,339	10,296	178%		
北海道	きらら397	25,832	1,778	24,068	107%	173%	14,933	23,320	15,102	154%	247	720%	125%	1,427	2,658	1,489	179%		
青森	まっしぐら	26,352	9,039	25,311	104%	185%	14,241	26,189	15,220	172%	1,683	537%	206%	4,397	10,721	6,586	163%		
青森	つがのロマン	-	-	-	-	-	15,042	-	15,421	-	-	-	-	332	-	875	-		
岩手	ひとめぼれ	21,631	15,346	20,775	104%	143%	15,137	21,575	15,140	143%	1,091	1407%	194%	7,924	16,437	9,428	174%		
岩手	鏡河のしずく	21,873	4,397	20,894	105%	142%	15,366	21,707	15,459	140%	892	493%	192%	2,288	5,289	3,435	154%		
岩手	あきたこまち	23,711	1,644	-	-	156%	15,177	23,737	15,119	157%	-	-	131%	1,253	1,698	1,327	128%		
宮城	ひとめぼれ	24,331	9,462	22,968	106%	174%	13,989	23,208	15,007	155%	44,294	21%	79%	11,966	53,756	15,100	356%		
宮城	つや姫	24,458	1,484	23,646	103%	155%	15,752	23,792	15,556	153%	6,796	22%	110%	1,346	8,281	2,868	289%		
宮城	ササニシキ	25,414	1,416	23,389	109%	162%	15,651	23,954	15,592	154%	3,660	39%	143%	988	5,076	1,491	341%		
秋田	あきたこまち	23,708	48,282	22,284	106%	155%	15,261	23,490	15,317	153%	8,755	551%	291%	16,592	57,037	20,036	285%		
秋田	ひとめぼれ	23,033	5,823	20,181	114%	161%	14,329	22,821	14,375	159%	468	1244%	506%	1,151	6,291	1,291	487%		
秋田	めんこいな	20,742	644	-	-	148%	14,034	20,722	14,213	146%	-	-	127%	508	657	508	129%		
山形	はえぬき	23,578	3,884	21,741	108%	162%	14,541	23,090	14,779	156%	1,405	276%	119%	3,261	5,288	3,921	135%		
山形	つや姫	25,403	5,374	23,096	110%	135%	18,784	25,151	18,745	134%	659	815%	119%	4,526	6,033	7,457	81%		
山形	雪若丸	24,092	1,715	22,428	107%	153%	15,773	23,655	15,497	153%	610	281%	112%	1,538	2,325	2,045	114%		
福島	コシヒカリ(中通り)	24,857	2,479	24,148	103%	171%	14,575	24,826	14,959	166%	115	2156%	128%	1,935	2,594	1,797	144%		
福島	コシヒカリ(会津)	26,873	1,781	-	-	173%	15,524	26,885	15,494	174%	-	-	154%	1,155	1,833	1,261	145%		
福島	コシヒカリ(浜通り)	24,803	210	-	-	170%	14,614	24,590	15,131	163%	-	-	174%	121	234	-	-		
福島	ひとめぼれ	25,576	1,141	23,896	107%	179%	14,263	25,228	14,537	174%	299	382%	106%	1,078	1,440	1,303	111%		
福島	天のつぶ	24,895	675	-	-	190%	13,077	24,820	14,296	174%	-	-	70%	963	694	933	74%		
茨城	コシヒカリ	26,946	4,471	27,646	97%	182%	14,775	26,704	15,235	175%	6,600	68%	67%	6,675	15,714	10,430	151%		
茨城	あきたこまち	28,209	149	26,992	105%	195%	14,500	25,453	14,726	173%	1,807	8%	85%	176	5,891	5,027	117%		
茨城	にじのきらめき	26,327	468	-	-	-	-	26,392	-	-	-	-	-	495	-	-	-		
栃木	コシヒカリ	23,463	5,499	23,492	100%	152%	15,388	23,487	15,152	155%	23,743	23%	264%	2,082	29,243	3,650	801%		
栃木	とちぎの星	22,851	1,099	23,009	99%	159%	14,389	22,969	14,476	159%	3,251	34%	70%	1,576	4,350	1,235	352%		
栃木	あさひの夢	22,663	480	22,908	99%	162%	13,973	22,836	14,145	161%	1,140	42%	180%	267	1,620	267	607%		
群馬	あさひの夢	-	-	-	-	-	-	-	15,219	-	-	-	-	-	-	-	-		
群馬	ゆめまつり	-	-	-	-	-	-	-	14,976	-	-	-	-	-	-	-	-		
埼玉	彩のきずな	20,965	490	-	-	147%	14,239	20,279	14,489	140%	-	-	73%	669	553	748	74%		
埼玉	彩のかがやき	-	-	-	-	-	14,158	-	14,333	-	-	-	-	1,220	-	533	-		
埼玉	コシヒカリ	22,189	117	-	-	151%	14,738	21,619	15,055	144%	-	-	23%	507	200	563	35%		
千葉	コシヒカリ	24,667	1,396	24,556	100%	172%	14,375	24,071	14,611	165%	6,247	22%	29%	4,807	16,222	15,500	105%		
千葉	ふさこがね	24,495	500	23,697	103%	181%	13,542	23,107	13,742	168%	2,682	19%	33%	1,523	6,914	4,316	160%		
千葉	ふさおとめ	22,877	589	23,211	99%	169%	13,500	22,994	13,985	164%	1,321	45%	72%	819	5,773	5,371	107%		
山梨	コシヒカリ	19,793	374	19,871	100%	112%	17,662	19,812	17,535	113%	116	322%	163%	230	490	235	209%		
長野	コシヒカリ	21,759	5,542	20,615	106%	135%	16,163	21,051	15,895	132%	9,012	61%	513%	1,081	14,554	8,522	171%		
長野	あきたこまち	21,948	106	19,760	111%	146%	15,068	19,880	15,127	131%	1,844	6%	19%	547	1,950	1,716	114%		
静岡	コシヒカリ	18,077	111	21,789	83%	117%	15,483	21,313	15,560	137%	212	52%	64%	173	847	598	142%		
静岡	きぬむすめ	-	-	-	-	-	-	-	14,438	-	-	-	-	-	-	-	-		
静岡	にこまる	-	-	-	-	-	-	-	14,407	-	-	-	-	-	-	-	-		
新潟	コシヒカリ(一般)	23,487	39,815	20,858	113%	136%	17,208	22,608	16,927	134%	18,221	219%	4630%	860	59,621	7,823	762%		
新潟	コシヒカリ(魚沼)	25,505	8,022	24,263	105%	122%	20,851	25,039	20,758	121%	3,722	216%	1053%	762	12,280	1,677	732%		
新潟	コシヒカリ(佐渡)	24,119	5,828	21,316	113%	138%	17,507	22,869	17,441	131%	3,970	147%	2408%	242	10,506	1,047	1004%		
新潟	コシヒカリ(岩船)	24,311	5,412	21,134	115%	139%	17,432	22,862	17,325	132%	4,295	126%	2042%	265	9,940	1,634	608%		
新潟	こしいぶき	22,199	3,418	19,075	116%	150%	14,771	20,345	14,596	139%	4,357	78%	299%	1,142	8,935	3,874	231%		
富山	コシヒカリ	25,583	8,545	20,444	125%	164%	15,576	22,868	15,915	144%	9,573	89%	51%	16,837	18,118	17,839	102%		
富山	てんたく	19,919	452	20,183	99%	132%	15,079	20,269	14,920	136%	1,671	27%	108%	418	2,360	2,020	117%		
石川	コシヒカリ	21,206	657	21,621	98%	134%	15,806	21,579	15,678	138%	5,907	11%	93%	707	6,564	1,888	348%		
石川	ゆめみづほ	-	-	20,164	-	-	14,497	20,183	14,415	140%	1,721	-	-	266	1,978	595	332%		
福井	コシヒカリ	23,128	1,042	20,395	113%	151%	15,358	20,788	15,380	135%	6,203	17%	956%	109	7,245	3,050	238%		
福井	ハナエチゼン	22,252	856	19,343	115%	170%	13,102	19,668	13,881	142%	1,043	82%	394%	217	7,651	5,732	133%		
福井	あきさかり	20,445	277	19,322	106%	140%	14,572	19,510	14,185	138%	1,373	20%	48%	573	1,650	951	174%		
岐阜	ハツシモ	20,950	291	-	-	139%	15,041	20,950	15,087	139%	-	-	53%	547	291	547	53%		
岐阜	コシヒカリ	21,586	331	21,100	102%	135%	15,986	21,308	16,144	132%	444	75%	39%	850	775	1,540	50%		
岐阜	ほしじるし	23,092	121	-	-	167%	13,843	23,092	13,929	166%	-	-	47%	258	121	258	47%		
愛知	あいちのかおり	19,703	202	-	-	136%	14,534	19,703	14,479	136%	-	-	100%	202	202	202	100%		
愛知	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
愛知	大地の風	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
三重	コシヒカリ(一般)	22,825	200	21,736	105%	155%	14,754	21,243	14,716	144%	1,129	18%	15%	1,299	3,038	3,570	85%		
三重	コシヒカリ(伊賀)	-	-	22,010	-	-	15,018	21,498	15,085	143%	583	-	-	842	1,231	1,683	73%		
三重	キヌヒカリ	-	-	20,732	-	-	13,496	20,675	13,563	152%	207	-	-	272	220	513	43%		

注:本表の注意点は次頁の脚注を参照

相対取引価格・数量（滋賀から鹿児島まで）

(単位:円/玄米60kg税込、玄米トン)

産地	品種銘柄	6年産米 令和6年10月		月別価格						年産平均価格			取引数量					
		価格 ①	数量 ②	6年産米 (6年9月)		5年産米 (5年10月)		6年産米 出回り～ 6年10月		5年産米 出回り～ 6年10月		6年産米 (6年9月)	対前月比 ②/⑦	対前年 同月比 ②/⑧	5年産米 (5年10月)	6年産米 出回り～ 6年10月	5年産米 出回り～ 5年10月	対前年 同期比 ⑨/⑩
				③	対前月比 ①/③	対前年 同月比 ①/④	④	⑤	⑥	⑤/⑥	⑦							
滋賀	コシヒカリ	22,546	966	20,856	108%	149%	15,162	21,202	15,271	139%	3,141	31%	76%	1,269	4,455	4,842	92%	
滋賀	キヌヒカリ	21,315	780	19,930	107%	153%	13,952	20,757	13,965	149%	440	173%	100%	763	1,254	1,710	73%	
滋賀	みずかがみ	22,502	844	20,912	108%	143%	15,705	21,083	14,915	141%	1,002	84%	247%	342	3,811	3,389	112%	
京都	コシヒカリ	21,739	146	22,101	98%	143%	15,215	21,841	15,502	141%	1,742	8%	57%	257	2,316	2,608	89%	
京都	キヌヒカリ	-	-	19,408	-	-	13,838	19,335	14,057	138%	423	-	-	481	639	719	89%	
京都	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	15,970	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫	コシヒカリ	22,712	447	20,629	110%	144%	15,739	20,994	15,492	136%	2,014	22%	43%	1,034	2,601	2,089	125%	
兵庫	ヒノヒカリ	21,184	196	-	-	154%	13,785	21,184	14,074	151%	-	-	86%	229	196	209	94%	
兵庫	キヌヒカリ	20,668	398	19,311	107%	150%	13,755	20,289	13,986	145%	155	257%	116%	343	553	489	113%	
奈良	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	14,180	-	14,389	-	-	-	-	182	-	182	-	
鳥取	きぬむすめ	21,046	463	20,156	104%	147%	14,337	20,728	14,404	144%	258	179%	119%	389	721	750	96%	
鳥取	コシヒカリ	21,022	724	20,548	102%	140%	15,000	20,912	15,005	139%	219	331%	483%	150	943	584	162%	
鳥取	ひとめぼれ	20,740	156	20,011	104%	147%	14,127	20,165	14,243	142%	587	27%	40%	393	744	1,160	64%	
鳥根	きぬむすめ	19,830	1,622	19,416	102%	140%	14,183	19,513	14,117	138%	7,093	23%	50%	3,275	9,075	6,090	149%	
鳥根	コシヒカリ	21,055	1,069	20,366	103%	140%	15,016	20,457	14,978	137%	5,424	20%	53%	2,015	7,049	6,171	114%	
鳥根	つや姫	20,295	1,293	20,193	101%	137%	14,817	20,230	14,743	137%	2,592	50%	81%	1,605	4,204	2,097	201%	
岡山	アケボノ	23,393	1,080	-	-	182%	12,887	23,393	13,208	177%	-	-	132%	819	1,080	207	522%	
岡山	きぬむすめ	22,775	1,396	21,776	105%	168%	13,538	22,111	13,793	160%	1,733	81%	73%	1,906	4,122	798	516%	
岡山	コシヒカリ	23,668	848	22,641	105%	162%	14,595	22,919	14,533	158%	1,390	61%	391%	217	3,235	1,255	258%	
広島	コシヒカリ	20,673	1,540	20,950	99%	143%	14,504	20,799	14,550	143%	1,281	120%	136%	1,136	2,821	1,326	213%	
広島	あきさかり	19,571	1,063	20,219	97%	143%	13,685	19,661	13,857	142%	171	622%	213%	500	1,234	552	224%	
広島	あきらまん	19,873	684	20,240	98%	148%	13,400	19,936	13,956	143%	141	485%	214%	319	825	350	236%	
山口	コシヒカリ	21,100	803	22,371	94%	142%	14,871	21,748	14,918	146%	700	115%	231%	348	1,621	1,327	122%	
山口	ひとめぼれ	20,435	373	21,371	96%	147%	13,889	20,858	14,071	148%	299	125%	111%	335	689	737	93%	
山口	きぬむすめ	20,673	337	-	-	147%	14,086	20,673	14,000	148%	-	-	104%	324	337	426	79%	
徳島	コシヒカリ	-	-	23,218	-	-	14,137	23,211	14,137	164%	290	-	-	240	4,876	1,104	442%	
徳島	あきさかり	-	-	22,231	-	-	-	22,236	14,426	166%	256	-	-	-	499	480	104%	
香川	コシヒカリ	21,049	411	21,049	100%	137%	15,325	21,049	15,325	137%	756	54%	139%	295	1,167	745	157%	
香川	ヒノヒカリ	20,509	116	-	-	141%	14,569	20,509	14,569	141%	-	-	85%	136	116	136	85%	
香川	あきさかり	20,293	115	20,293	100%	-	-	20,293	14,245	142%	108	106%	-	-	223	-	-	
愛媛	コシヒカリ	24,095	376	20,113	120%	170%	14,179	20,666	14,310	144%	1,278	29%	71%	527	2,172	2,165	100%	
愛媛	ヒノヒカリ	23,663	349	-	-	-	-	23,663	13,878	171%	-	-	-	-	349	590	59%	
愛媛	あきたこまち	-	-	19,222	-	-	-	20,226	13,596	149%	185	-	-	-	256	675	38%	
高知	コシヒカリ	-	-	22,339	-	-	-	22,339	14,922	150%	3,261	-	-	-	6,600	3,642	181%	
高知	ヒノヒカリ	21,367	193	-	-	157%	13,634	21,367	13,634	157%	-	-	91%	212	193	212	91%	
福岡	夢つくし	21,562	1,384	20,271	106%	139%	15,480	20,911	15,458	135%	2,001	69%	226%	612	4,226	3,051	139%	
福岡	ヒノヒカリ	21,100	2,548	-	-	145%	14,524	21,100	14,139	149%	-	-	236%	1,079	2,548	1,493	171%	
福岡	元気つくし	21,769	1,515	21,278	102%	140%	15,523	21,696	15,434	141%	264	574%	52%	2,921	1,779	3,210	55%	
佐賀	さがびより	22,005	191	-	-	146%	15,093	22,005	14,873	148%	-	-	140%	136	191	136	140%	
佐賀	夢しずく	20,857	738	-	-	143%	14,596	20,761	14,377	144%	-	-	99%	745	885	821	108%	
佐賀	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	14,121	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎	にこまる	-	-	-	-	-	13,867	-	14,584	-	-	-	-	330	-	330	-	
長崎	なつほのか	22,424	113	-	-	164%	13,698	22,424	14,209	158%	-	-	27%	416	113	423	27%	
長崎	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	13,704	-	14,331	-	-	-	-	147	-	147	-	
熊本	ヒノヒカリ	24,890	128	-	-	173%	14,421	24,890	14,821	168%	-	-	60%	214	128	214	60%	
熊本	森のくまさん	-	-	-	-	-	-	-	14,442	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本	コシヒカリ	23,857	391	23,311	102%	157%	15,154	23,306	15,242	153%	331	118%	149%	263	867	554	157%	
大分	ヒノヒカリ	23,588	322	-	-	163%	14,430	23,578	14,454	163%	-	-	36%	892	354	851	42%	
大分	なつほのか	23,789	154	-	-	-	-	23,787	-	-	-	-	-	-	154	-	-	
大分	ひとめぼれ	-	-	-	-	-	14,286	22,902	14,574	157%	-	-	-	1,001	119	1,068	11%	
宮崎	コシヒカリ	22,600	4,405	-	-	155%	14,582	22,600	14,582	155%	-	-	96%	4,610	4,405	4,610	96%	
宮崎	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	15,219	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	14,763	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島	あきほなみ	-	-	-	-	-	-	-	15,115	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島	コシヒカリ	-	-	21,499	-	-	14,552	21,140	14,670	144%	112	-	-	216	771	1,765	44%	
全銘柄平均価格、合計数量		23,820	274,490	22,700	105%	157%	15,181	23,191	15,315	151%	252,373	109%	160%	171,630	588,623	300,176	196%	

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
- 2 産地品種銘柄ごとの価格（①）は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加重平均したものであり、数量（②）は、同契約の数量の合計である。
- 3 価格に含む消費税は、軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。
- 4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡、静岡以東（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。
- 5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の取引状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。また、算定に当たっては、契約価格に運賃を含めない産地在産の取引分も対象としている。
- 6 報告対象産地品種銘柄ごとの年産平均価格は、当該報告対象産地品種銘柄の出回りから当該月までの相対取引数量ウェイトで加重平均により算定している（6年産は速報値）。
- 7 全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定している。
- 8 「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。また、各年産米の年産平均価格について、令和6年産米は、当該月までの相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。令和5年産米は、当該年産において報告対象としない産地品種銘柄であり、価格の公表を行わないものである。
- 9 全銘柄平均価格、合計数量欄には公表していない産地品種銘柄分を含んでいるため、産地の合計と一致しない。







## 2 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和6年10月分）

調査結果は、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。

【 <https://www.komenet.jp/> 】

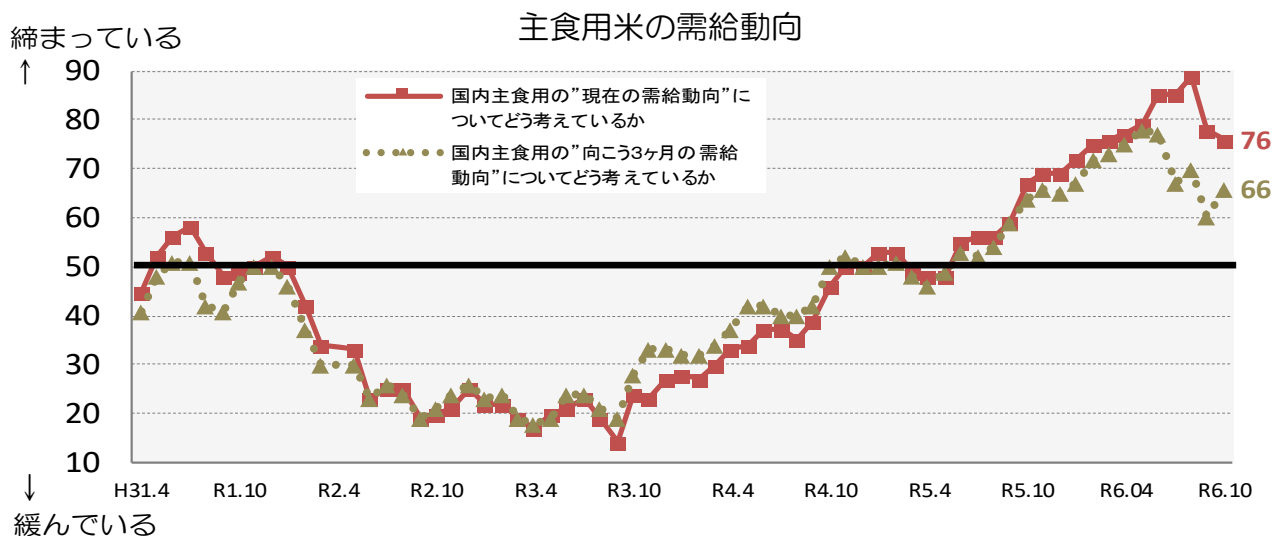
- 米穀機構の米取引関係者の判断に関する調査(令和6年10月分)によると、主食用米の需給動向の現状判断は前回調査と比べて▲2ポイントの「やや減少」、見通し(向こう3ヶ月)判断は+6ポイントの「増加」。
- 米価水準の現状判断は前回調査と比べて±0ポイントの「横ばい」、見通し(向こう3ヶ月)判断は+2ポイントの「やや増加」。

### 1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断（全体）

#### ① 主食用米の需給動向

(ア) 現状判断DI 前回からの増減 ▲2（今月の数値 76）

(イ) 見通し判断DI（向こう3ヶ月） 前回からの増減 +6（今月の数値 66）

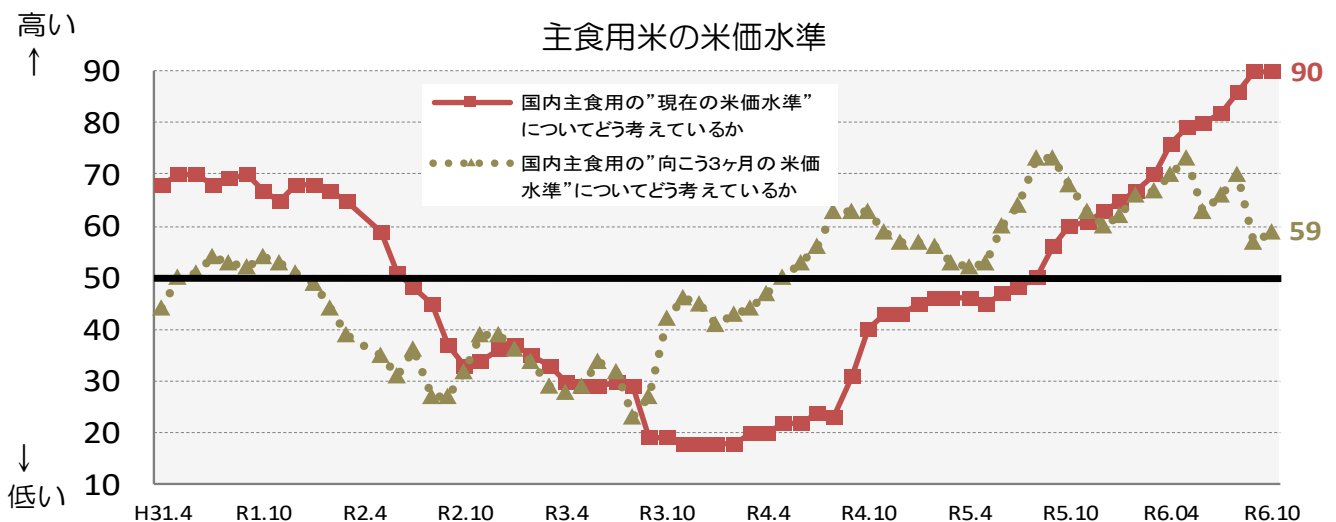


※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「縮まっている」/「(将来)縮まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

#### ② 主食用米の米価水準

(ア) 現状判断DI 前回からの増減 ±0（今月の数値 90）

(イ) 見通し判断DI（向こう3ヶ月） 前回からの増減 +2（今月の数値 59）



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

## 2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

### ①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

#### (ア) 今月の販売数量に関する現状判断 D I

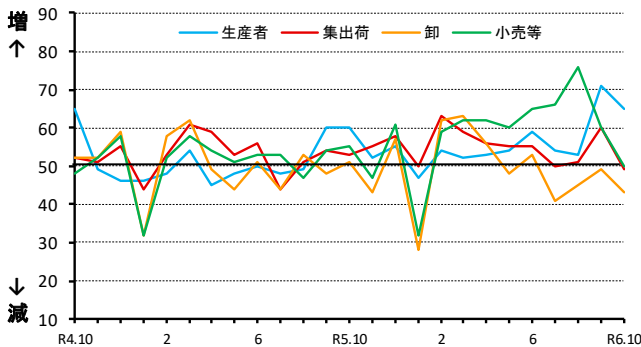
##### a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	▲6	(今月の数値	65)
集出荷：前回からの増減	▲11	(今月の数値	49)
卸：前回からの増減	▲6	(今月の数値	43)
小売等：前回からの増減	▲10	(今月の数値	50)

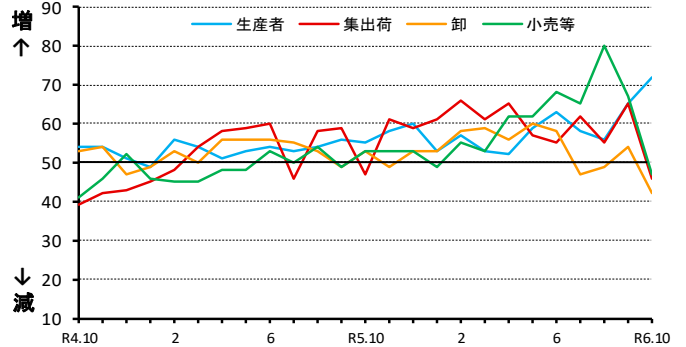
##### b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+7	(今月の数値	72)
集出荷：前回からの増減	▲19	(今月の数値	46)
卸：前回からの増減	▲12	(今月の数値	42)
小売等：前回からの増減	▲20	(今月の数値	47)

①-ア-a 貴社の“今月”の主食用米の“販売数量”について、“先月と比較”するといかがですか。



①-ア-b 貴社の“今月”の主食用米の“販売数量”について、“前年同月と比較”するといかがですか。



#### (イ) 来月の販売数量に関する見通し D I

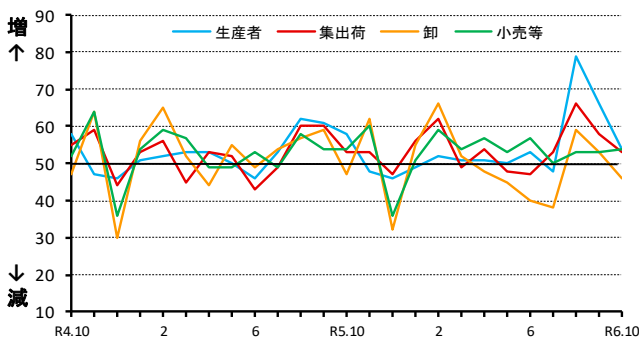
##### a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	▲12	(今月の数値	54)
集出荷：前回からの増減	▲5	(今月の数値	53)
卸：前回からの増減	▲7	(今月の数値	46)
小売等：前回からの増減	+1	(今月の数値	54)

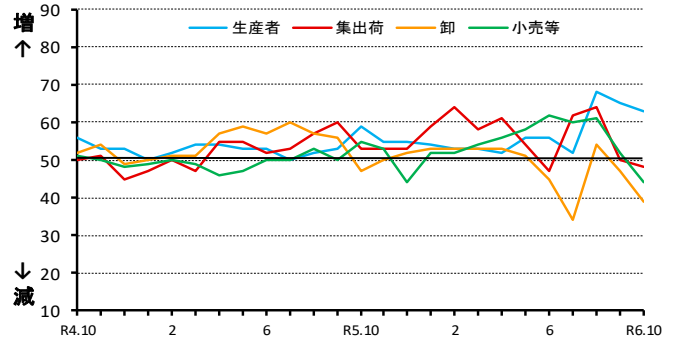
##### b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲2	(今月の数値	63)
集出荷：前回からの増減	▲2	(今月の数値	48)
卸：前回からの増減	▲8	(今月の数値	39)
小売等：前回からの増減	▲8	(今月の数値	44)

①-イ-a 貴社の“来月”の主食用米の“販売数量”について、“今月と比較”してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の“来月”の主食用米の“販売数量”について、“前年同月と比較”してどうなると考えていますか。





## ②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

### (ア) 今月の価格に関する現状判断 D I

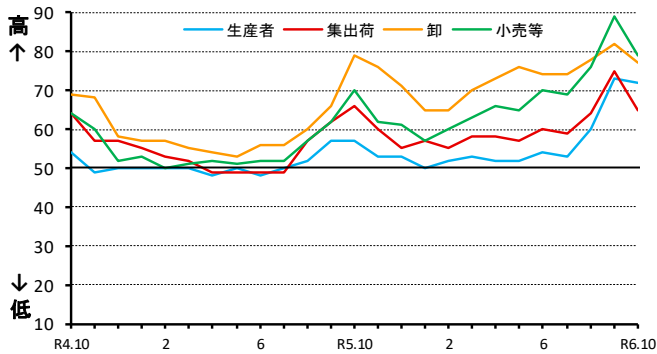
#### a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	▲ 1	(今月の数値	7 2)
集出荷：前回からの増減	▲ 10	(今月の数値	6 5)
卸：前回からの増減	▲ 5	(今月の数値	7 7)
小売等：前回からの増減	▲ 10	(今月の数値	7 9)

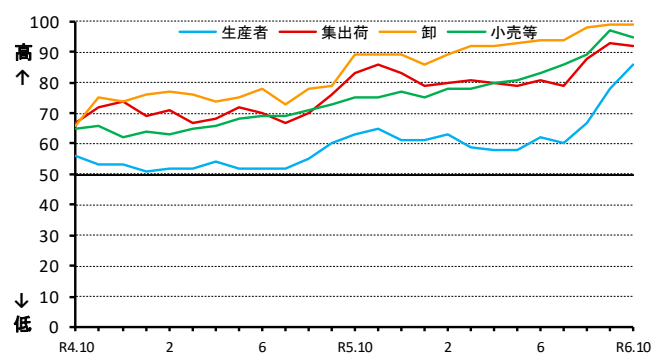
#### b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+ 8	(今月の数値	8 6)
集出荷：前回からの増減	▲ 1	(今月の数値	9 2)
卸：前回からの増減	± 0	(今月の数値	9 9)
小売等：前回からの増減	▲ 2	(今月の数値	9 5)

②-ア-a 貴社の”今月”の主食用米の”価格”について、”先月と比較”するといかがですか。



②-ア-b 貴社の”今月”の主食用米の”価格”について、”前年同月と比較”するといかがですか。



### (イ) 来月の価格に関する見通し D I

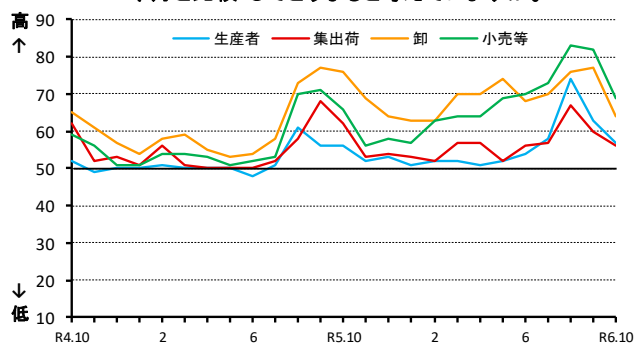
#### a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	▲ 6	(今月の数値	5 7)
集出荷：前回からの増減	▲ 4	(今月の数値	5 6)
卸：前回からの増減	▲ 13	(今月の数値	6 4)
小売等：前回からの増減	▲ 13	(今月の数値	6 9)

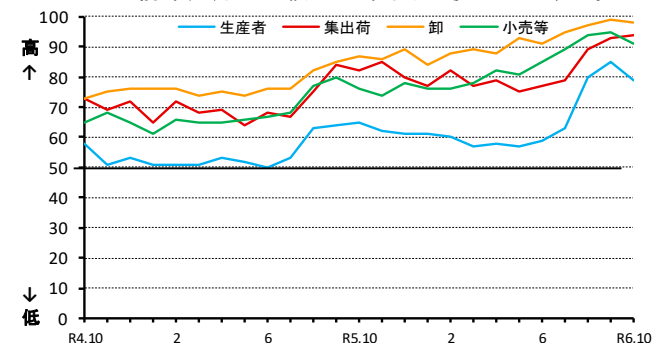
#### b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲ 6	(今月の数値	7 9)
集出荷：前回からの増減	+ 1	(今月の数値	9 4)
卸：前回からの増減	▲ 1	(今月の数値	9 8)
小売等：前回からの増減	▲ 4	(今月の数値	9 1)

②-イ-a 貴社の”来月”の主食用米の”価格”について、”今月と比較”してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の”来月”の主食用米の”価格”について、”前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



### ③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来)多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来)少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

#### (ア) 今月の在庫量に関する現状判断 D I

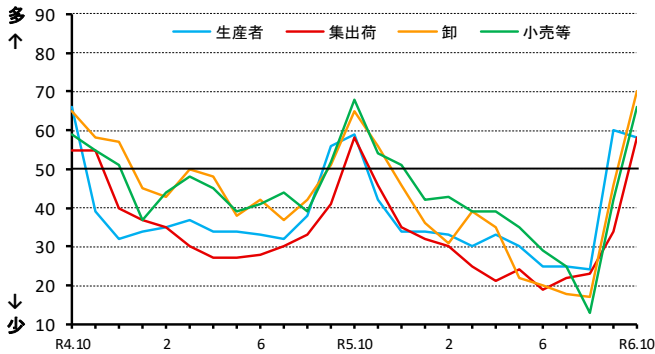
##### a. 先月との比較

生産者：前回からの増減 ▲2 (今月の数値 58)  
 集出荷：前回からの増減 +24 (今月の数値 58)  
 卸：前回からの増減 +24 (今月の数値 70)  
 小売等：前回からの増減 +24 (今月の数値 66)

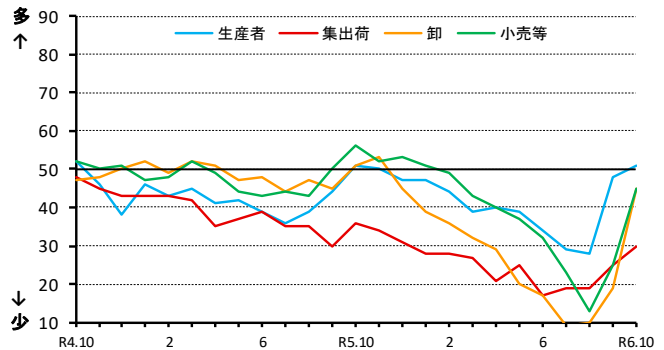
##### b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減 +3 (今月の数値 51)  
 集出荷：前回からの増減 +5 (今月の数値 30)  
 卸：前回からの増減 +26 (今月の数値 45)  
 小売等：前回からの増減 +20 (今月の数値 45)

#### ③-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"在庫量"について、"先月と比較"するといかがですか。



#### ③-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"在庫量"は、"前年同月と比較"するといかがですか。



#### (イ) 来月の在庫量に関する見通し D I

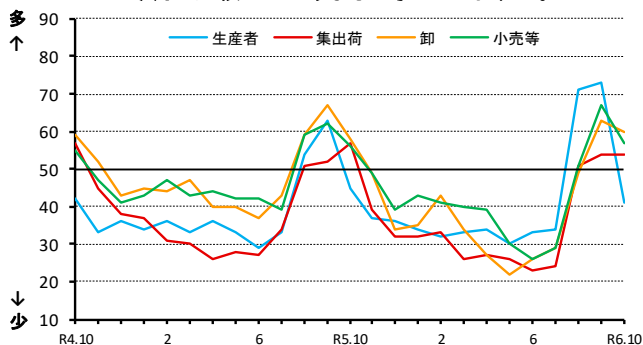
##### a. 今月との比較

生産者：前回からの増減 ▲32 (今月の数値 41)  
 集出荷：前回からの増減 ±0 (今月の数値 54)  
 卸：前回からの増減 ▲3 (今月の数値 60)  
 小売等：前回からの増減 ▲10 (今月の数値 57)

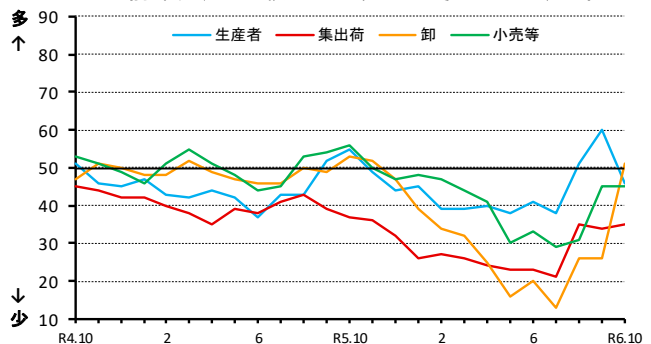
##### b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減 ▲14 (今月の数値 46)  
 集出荷：前回からの増減 +1 (今月の数値 35)  
 卸：前回からの増減 +25 (今月の数値 51)  
 小売等：前回からの増減 ±0 (今月の数値 45)

#### ③-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"在庫量"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



#### ③-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"在庫量"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



取引関係者が1の①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
R4.10	17%	19%	6%	39%	10%	6%	3%
R4.11	12%	18%	4%	42%	14%	8%	1%
R4.12	12%	23%	3%	44%	11%	6%	1%
R5.1	5%	28%	4%	42%	14%	6%	1%
R5.2	2%	25%	5%	45%	16%	5%	1%
R5.3	1%	29%	3%	41%	16%	8%	1%
R5.4	1%	27%	4%	44%	14%	9%	1%
R5.5	2%	28%	3%	37%	22%	6%	2%
R5.6	1%	30%	3%	45%	12%	8%	1%
R5.7	3%	30%	1%	48%	14%	3%	1%
R5.8	11%	26%	3%	44%	8%	3%	5%
R5.9	20%	18%	1%	44%	9%	5%	2%

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
R5.10	24%	21%	1%	42%	8%	3%	1%
R5.11	22%	19%	1%	44%	10%	4%	0%
R5.12	12%	23%	3%	46%	12%	4%	0%
R6.1	9%	28%	2%	46%	10%	3%	2%
R6.2	9%	27%	1%	51%	8%	4%	0%
R6.3	7%	29%	0%	53%	8%	2%	1%
R6.4	3%	29%	2%	52%	9%	3%	1%
R6.5	6%	30%	1%	55%	4%	2%	1%
R6.6	5%	34%	1%	49%	7%	3%	1%
R6.7	6%	35%	3%	46%	7%	3%	1%
R6.8	2%	43%	2%	45%	5%	1%	1%
R6.9	6%	24%	1%	52%	11%	3%	2%
R6.10	7%	22%	2%	54%	10%	3%	2%

《アンケート方法等》

- 調査期間：毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答
- 調査方法：電子メールを利用したアンケート調査
- 調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の180客体

※ 米取引関係者の動向をより適切に反映したものとなるよう、令和5年4月にアンケート対象事業者の一部入替を行いました。

○有効回答数：148客体

- 生産者・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
- 集出荷業者／団体・・・・・・・・・・22
- 卸売業者（主に主食用米）・・・・28
- 小売業者／中食・外食業者・・・・56
- その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

※「その他」は以下の業者です。  
 ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者  
 ・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

○結果公表：翌月上旬（公表日時は半期ごとにホームページに掲載）

《利用上の注意》

○表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

（DIの算出例）

問：国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

# 3 米の契約・販売情報

## 1 事前契約（播種前契約）の取組状況

### (1) 近年の事前契約（播種前契約）数量の推移

米の事前契約について、農林水産省では需要に応じた生産・販売に繋げていく観点から、「米取引の事前契約研究会」での議論等も踏まえ、「収穫前契約から播種前契約への転換」、「実需と結びついた契約の拡大」を推進しています。

これに伴い、今後の事前契約の取組状況については、従来の「収穫前契約」に代えて、「播種前契約」に関する取組状況を掲載することとします。

【米取引の事前契約研究会ページ】

<https://www.maff.go.jp/i/syouan/keikaku/soukatu/iizenn.html>

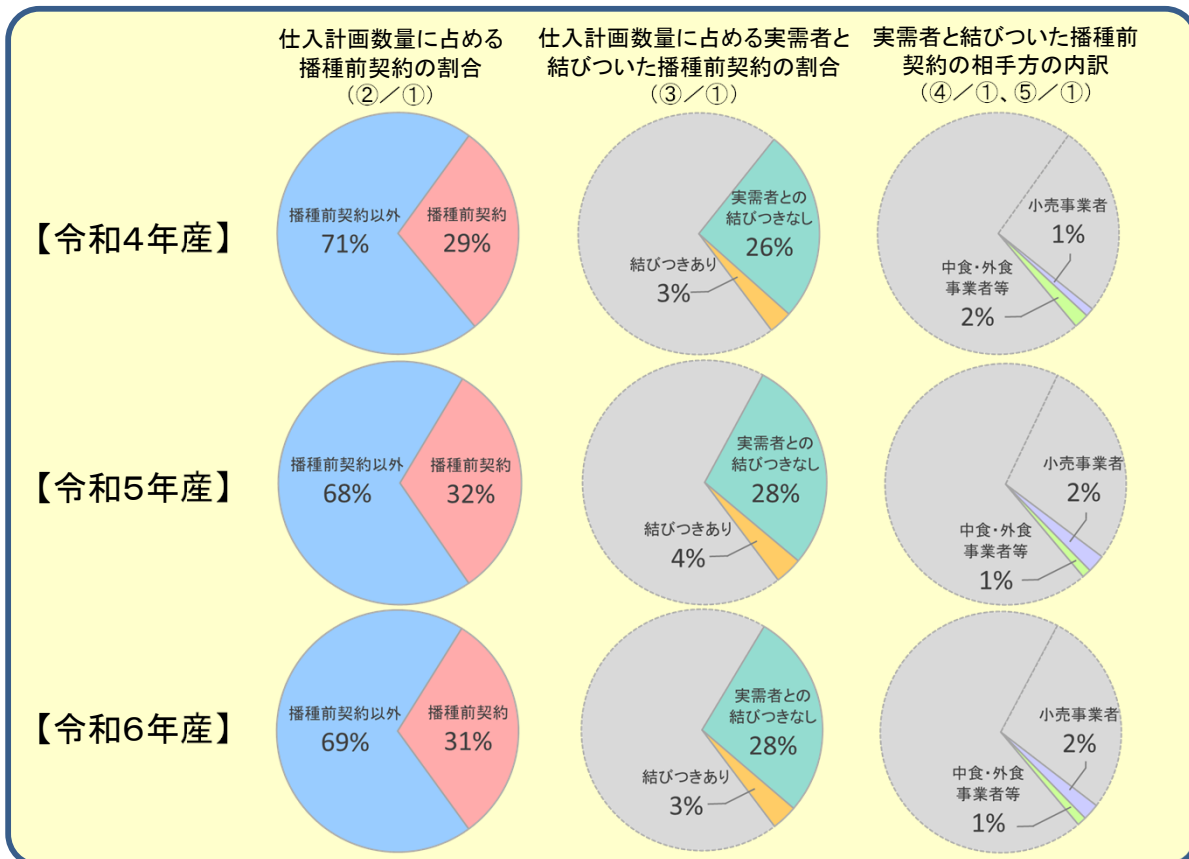
- 事前契約（播種前契約）の取組状況について、一定規模以上の集出荷業者を対象に調査を実施。
- 6年産の仕入計画数量に占める播種前契約（複数年契約を含む）の割合は31%。6年産の仕入計画数量に占める実需者と結びついた播種前契約の割合は3%。

### 【播種前契約の状況】

(単位:千トン)

年産	仕入計画数量 ①	播種前契約数量 ②	うち実需者との結びつき		
			計 ③	中食・外食等 ④	小売 ⑤
3年産	3,699	1,026 (28%)	184 (5%)	95 (3%)	89 (2%)
4年産	3,451	1,001 (29%)	108 (3%)	69 (2%)	40 (1%)
5年産	3,504	1,115 (32%)	127 (4%)	42 (1%)	85 (2%)
6年産	3,549	1,104 (31%)	123 (3%)	44 (1%)	79 (2%)

### 【近年の播種前契約の状況】



注1：調査対象は、年間取扱数量500トン以上の集出荷業者。

注2：仕入計画数量は、卸売業者や小売事業者等へ独自に販売を行う米穀の生産年の3月末時点の仕入(集荷)計画数量(見込含む)として調査。

注3：播種前契約数量は、生産年の3月末までに締結した事前契約(確認書等により販売数量が決定しているもの)の数量をいう。

注4：中食・外食等は、小売以外の実需者(学校給食や事業所給食など)との契約を含む。

注5：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。



(2) 令和5・6年産米の産地別事前契約（播種前契約）の取組状況（速報）

（単位：千玄米トン、％）

	5年産				6年産			
	仕入計画 数量 ①	うち播種前契約		うち 複数年契約 契約数量 ③	仕入計画 数量 ④	うち播種前契約		うち複数年契約 契約数量（前年差） ⑥
		契約数量 ②	契約比率 ②/①			契約数量（前年差） ⑤	契約比率（前年差） ⑤/④	
北海道	369	164	44%	162	385	176 (+13)	46% (+2%)	176 (+15)
青森	171	36	21%	29	181	41 (+5)	23% (+2%)	34 (+5)
岩手	157	65	41%	65	138	67 (+2)	48% (+7%)	62 (▲2)
宮城	184	143	78%	93	186	125 (▲18)	67% (▲11%)	101 (+8)
秋田	299	142	47%	109	285	130 (▲12)	46% (▲2%)	114 (+5)
山形	242	60	25%	45	244	54 (▲6)	22% (▲3%)	41 (▲4)
福島	172	31	18%	31	194	40 (+9)	21% (+2%)	37 (+6)
茨城	131	33	25%	3	124	26 (▲7)	21% (▲4%)	1 (▲1)
栃木	136	72	53%	59	169	59 (▲13)	35% (▲18%)	59 (+0)
群馬	27	7	24%	-	26	5 (▲1)	20% (▲4%)	-
埼玉	53	8	15%	1	40	8 (+0)	20% (+5%)	1 (▲0)
千葉	111	15	13%	8	118	10 (▲5)	8% (▲5%)	8 (+0)
東京	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	3	-	-	-	4	-	-	-
山梨	5	-	-	-	6	-	-	-
長野	87	38	43%	37	95	37 (▲1)	39% (▲5%)	37 (▲1)
静岡	13	-	-	-	13	-	-	-
新潟	369	109	30%	73	347	117 (+7)	34% (+4%)	79 (+6)
富山	100	-	-	-	95	0	0%	0
石川	65	11	17%	-	66	17 (+5)	26% (+8%)	-
福井	51	7	13%	5	49	7 (+0)	15% (+2%)	7 (+2)
岐阜	18	11	63%	5	34	10 (▲1)	30% (▲33%)	3 (▲2)
愛知	43	2	4%	1	48	1 (▲1)	2% (▲2%)	0 (▲1)
三重	45	30	67%	-	44	28 (▲2)	65% (▲3%)	-
滋賀	46	28	61%	5	59	20 (▲8)	34% (▲27%)	8 (+4)
京都	18	5	28%	1	18	3 (▲1)	19% (▲9%)	1 (▲0)
大阪	3	-	-	-	2	-	-	-
兵庫	60	17	29%	-	37	16 (▲1)	43% (+14%)	-
奈良	10	-	-	-	10	-	-	-
和歌山	2	-	-	-	3	-	-	-
鳥取	26	2	8%	-	25	0 (▲2)	1% (▲7%)	0
島根	33	-	-	-	35	-	-	-
岡山	39	-	-	-	42	1	1%	1
広島	36	22	61%	-	40	22 (+0)	55% (▲6%)	-
山口	41	19	47%	0	40	14 (▲5)	35% (▲12%)	0 (▲0)
徳島	16	4	23%	-	16	-	-	-
香川	20	-	-	-	20	-	-	-
愛媛	16	7	44%	-	16	7 (+0)	44% (+0%)	-
高知	12	-	-	-	9	-	-	-
福岡	63	1	2%	-	64	31 (+30)	49% (+47%)	-
佐賀	35	14	39%	12	41	18 (+4)	44% (+5%)	15 (+4)
長崎	10	7	76%	-	10	7 (▲0)	70% (▲5%)	-
熊本	57	-	-	-	58	-	-	-
大分	20	4	23%	1	22	7 (+3)	33% (+10%)	1 (+0)
宮崎	26	-	-	-	33	-	-	-
鹿児島	21	-	-	-	24	-	-	-
沖縄	1	-	-	-	1	-	-	-
全 国	3,504	1,115	32%	745	3,549	1,104 (▲11)	31% (▲1%)	788 (+44)

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、年間の玄米仕入数量が500トン以上の出荷業者。  
 2 仕入計画数量は、卸売業者や小売業者等へ独自に販売を行う米穀の生産年の3月末時点の仕入（集荷）計画数量（見込含む）として調査。  
 3 播種前契約は、生産年の3月末までに締結した事前契約（確認書等により販売数量が決定しているもの。）をいう。  
 4 複数年契約は、播種前契約のうち、複数年にわたる契約をいう。  
 5 ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。  
 6 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

## 2 令和6年産米の産地別契約・販売状況

(累計、うるち米、令和6年9月末現在) (速報)

集荷・契約・販売数量(北海道から静岡まで)

(単位:千玄米ト)

	作況 指数	集荷数量	契約数量	販売数量	参考:前年同月比 (5年産の同時期との比較)		
					集荷数量	契約数量	販売数量
<b>北海道</b>	<b>103</b>	<b>75.1</b>	<b>185.5</b>	<b>10.1</b>	<b>111%</b>	<b>103%</b>	<b>134%</b>
ななつぼし		36.9	99.0	4.1	109%	100%	136%
ゆめびりか		30.6	51.4	3.8	114%	102%	150%
きらら397		1.7	15.6	0.0	71%	130%	77%
<b>青森</b>	<b>103</b>	<b>26.2</b>	<b>3.5</b>	<b>2.1</b>	<b>70%</b>	<b>6%</b>	<b>135%</b>
まっしぐら		14.4	1.7	0.8	72%	4%	247%
つがるロマン		-	-	-	...	...	...
<b>岩手</b>	<b>106</b>	<b>11.5</b>	<b>66.7</b>	<b>0.9</b>	<b>80%</b>	<b>102%</b>	<b>194%</b>
ひとめぼれ		9.1	46.0	0.6	77%	96%	187%
銀河のしずく		1.3	15.4	0.3	104%	150%	214%
あきたこまち		0.3	3.9	-	73%	74%	...
<b>宮城</b>	<b>107</b>	<b>32.7</b>	<b>60.2</b>	<b>2.4</b>	<b>65%</b>	<b>42%</b>	<b>181%</b>
ひとめぼれ		25.9	44.9	2.0	64%	40%	193%
つや姫		1.0	6.8	0.0	50%	58%	108%
ササニシキ		2.8	3.9	0.2	70%	47%	156%
<b>秋田</b>	<b>102</b>	<b>67.6</b>	<b>167.6</b>	<b>4.2</b>	<b>107%</b>	<b>85%</b>	<b>177%</b>
あきたこまち		63.7	141.6	4.1	108%	82%	178%
ひとめぼれ		0.5	16.9	0.0	87%	103%	8%
めんこいな		0.6	5.6	0.0	113%	118%	...
<b>山形</b>	<b>97</b>	<b>36.9</b>	<b>72.7</b>	<b>1.5</b>	<b>69%</b>	<b>86%</b>	<b>81%</b>
はえぬき		16.3	34.0	0.8	64%	78%	99%
つや姫		4.0	21.2	0.3	53%	99%	66%
雪若丸		8.8	9.8	0.3	86%	100%	73%
<b>福島</b>	<b>103</b>	<b>13.5</b>	<b>43.3</b>	<b>0.5</b>	<b>83%</b>	<b>93%</b>	<b>102%</b>
コシヒカリ(中通り)		3.7	6.1	0.0	105%	90%	62%
コシヒカリ(会津)		1.1	18.9	0.0	40%	83%	28%
コシヒカリ(浜通り)		0.9	1.9	0.0	116%	67%	276%
ひとめぼれ		4.6	6.9	0.2	76%	101%	103%
天のつぶ		1.3	6.4	0.1	163%	118%	1941%
<b>茨城</b>	<b>104</b>	<b>34.6</b>	<b>29.6</b>	<b>8.1</b>	<b>87%</b>	<b>75%</b>	<b>260%</b>
コシヒカリ		21.8	18.1	4.1	77%	65%	281%
あきたこまち		5.3	6.6	3.2	87%	95%	236%
にじのきらめき		3.2	2.5	0.0	...	...	...
<b>栃木</b>	<b>102</b>	<b>37.4</b>	<b>59.9</b>	<b>1.3</b>	<b>65%</b>	<b>82%</b>	<b>111%</b>
コシヒカリ		31.0	48.8	0.9	63%	82%	100%
とちぎの星		4.0	6.9	0.2	97%	90%	333%
あさひの夢		0.1	2.6	-	27%	73%	...
<b>群馬</b>	<b>102</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>...</b>	<b>...</b>	<b>...</b>
あさひの夢		-	-	-	...	...	...
ゆめまつり		-	-	-	...	...	...
<b>埼玉</b>	<b>99</b>	<b>1.9</b>	<b>8.6</b>	<b>0.1</b>	<b>33%</b>	<b>92%</b>	<b>46%</b>
彩のきずな		0.7	3.5	0.0	24%	106%	10%
彩のかがやき		-	2.9	-	...	79%	...
コシヒカリ		1.1	2.1	0.0	43%	96%	170%
<b>千葉</b>	<b>105</b>	<b>43.5</b>	<b>41.5</b>	<b>22.2</b>	<b>120%</b>	<b>118%</b>	<b>251%</b>
コシヒカリ		20.0	22.8	9.6	118%	110%	302%
ふさこがね		10.9	9.4	6.2	132%	156%	300%
ふさおとめ		8.5	6.2	5.3	106%	106%	176%
<b>東京</b>	<b>101</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>...</b>	<b>...</b>	<b>...</b>
<b>神奈川</b>	<b>100</b>	<b>0.4</b>	<b>0.1</b>	<b>0.1</b>	<b>85%</b>	<b>2933%</b>	<b>2933%</b>
<b>山梨</b>	<b>99</b>	<b>1.3</b>	<b>0.1</b>	<b>0.1</b>	<b>85%</b>	<b>463%</b>	<b>463%</b>
コシヒカリ		1.0	0.1	0.1	79%	2380%	2380%
<b>長野</b>	<b>101</b>	<b>13.8</b>	<b>36.7</b>	<b>1.1</b>	<b>96%</b>	<b>86%</b>	<b>154%</b>
コシヒカリ		11.3	31.3	0.8	98%	88%	179%
あきたこまち		0.8	3.9	0.2	93%	98%	161%
<b>静岡</b>	<b>98</b>	<b>4.7</b>	<b>7.2</b>	<b>0.9</b>	<b>76%</b>	<b>1453%</b>	<b>182%</b>
コシヒカリ		3.9	4.5	0.9	75%	1044%	202%
きぬむすめ		0.4	1.2	0.0	76%	8879%	14%
にこまる		-	0.4	-	...	...	...

注:本表の注意点は次々頁の脚注を参照

## 集荷・契約・販売数量(新潟から広島まで)

(単位:千玄米ト)

	作況 指数	集荷数量	契約数量	販売数量	参考:前年同月比 (5年産の同時期との比較)		
					集荷数量	契約数量	販売数量
新潟	98	121.2	177.1	16.5	65%	80%	45%
		64.4	93.1	6.6	61%	77%	40%
		12.9	17.4	2.1	93%	113%	145%
		3.2	12.2	0.4	55%	98%	131%
		2.3	10.3	0.3	56%	104%	87%
		20.9	16.4	4.8	74%	55%	60%
富山	99	39.6	39.1	3.9	86%	82%	377%
		25.7	24.4	2.5	80%	61%	356%
		5.6	5.2	1.1	94%	128%	1060%
石川	100	20.0	9.6	1.6	88%	277%	179%
		8.2	5.9	0.9	74%	451%	446%
		6.6	2.0	0.4	152%	250%	98%
福井	102	34.5	24.9	6.0	124%	128%	174%
		6.6	8.3	1.1	72%	133%	81%
		8.1	9.0	4.4	86%	125%	291%
		12.7	2.2	0.0	544%	175%	73%
岐阜	100	2.1	3.4	0.9	68%	29%	85%
		0.0	1.8	-	150%	33%	...
		0.7	0.4	0.1	69%	16%	207%
		0.0	0.3	-	43%	14%	...
愛知	99	7.1	25.3	2.3	74%	79%	139%
		0.2	12.1	-	136%	60%	...
		4.0	8.4	1.2	61%	94%	160%
		0.0	-	-	...	...	...
三重	98	10.9	5.6	2.5	67%	25%	143%
		4.2	2.9	1.1	51%	22%	127%
		3.9	1.2	0.6	80%	25%	113%
		0.4	0.2	0.1	34%	15%	96%
滋賀	100	19.8	12.4	5.4	76%	34%	157%
		7.5	4.4	2.2	79%	32%	192%
		2.8	1.6	0.4	66%	33%	103%
		5.6	3.7	2.4	77%	49%	174%
京都	102	3.1	3.8	0.5	89%	68%	113%
		2.5	2.2	0.4	91%	57%	126%
		0.3	0.6	0.1	75%	71%	86%
		-	0.0	-	...	100%	...
大阪	103	-	-	-	...	...	...
兵庫	99	9.2	2.7	1.4	74%	37%	19%
		7.5	2.1	1.1	74%	30%	16%
		-	0.0	-	...	...	...
		1.1	0.1	0.1	67%	84%	183%
奈良	102	0.6	0.1	0.1	60%	88%	88%
		0.0	-	-	82%	...	...
和歌山	102	0.1	0.1	0.0	25%	25%	33%
鳥取	98	4.4	7.7	0.8	40%	39%	188%
		0.0	0.7	-	2%	13%	...
		1.7	2.7	0.3	41%	51%	202%
		1.5	2.3	0.4	79%	78%	205%
島根	100	11.5	27.7	1.6	93%	342%	153%
		1.9	11.6	0.2	134%	411%	194%
		6.1	9.7	1.0	88%	232%	145%
		2.6	5.1	0.3	83%	1041%	322%
岡山	100	6.2	14.3	1.7	87%	179%	154%
		-	0.2	-	...	59%	...
		0.1	2.8	0.0	59%	178%	167%
		3.1	4.4	0.9	77%	252%	126%
広島	104	13.9	26.2	0.7	85%	102%	159%
		7.6	11.5	0.5	81%	103%	159%
		2.9	5.6	0.1	87%	89%	175%
		0.1	2.6	0.0	144%	79%	429%

注:本表の注意点は次頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量(山口から沖縄まで、全国計)

(単位:千玄米ト)

	作況指数	集荷数量	契約数量	販売数量	参考: 前年同月比 (5年産の同時期との比較)		
					集荷数量	契約数量	販売数量
山口	102	11.0	2.4	2.2	92%	10%	522%
コシヒカリ		4.9	1.5	1.4	86%	23%	399%
ひとめぼれ		4.8	0.8	0.7	91%	17%	1262%
きぬむすめ		0.4	0.0	-	247%	0%	...
徳島	100	3.4	1.8	1.4	72%	34%	112%
コシヒカリ		1.5	1.1	0.9	72%	51%	133%
あきさかり		1.7	0.5	0.3	72%	17%	115%
香川	99	2.1	21.0	0.9	67%	4667%	178%
コシヒカリ		1.9	6.0	0.8	68%	1333%	168%
ヒノヒカリ		-	6.0	-	...	...	...
あきさかり		0.2	4.0	0.1	62%	...	327%
愛媛	102	2.7	2.3	1.1	69%	31%	223%
コシヒカリ		2.3	1.8	1.0	68%	60%	233%
ヒノヒカリ		0.1	-	-	...	...	...
あきたこまち		0.2	0.2	0.1	51%	22%	153%
高知	101	6.1	5.1	4.1	86%	120%	96%
コシヒカリ		5.3	3.7	3.7	86%	98%	97%
ヒノヒカリ		0.1	0.5	0.0	58%	2416%	47%
福岡	98	4.1	33.0	1.7	64%	97%	167%
夢つくし		3.6	10.3	1.6	63%	96%	169%
ヒノヒカリ		-	9.5	-	...	91%	...
元気つくし		0.2	10.6	0.0	75%	106%	560%
佐賀	97	4.1	2.3	1.1	127%	184%	127%
さがびより		-	-	-	...	...	...
夢しずく		2.9	1.2	0.2	197%	267%	136%
ヒノヒカリ		-	-	-	...	...	...
長崎	100	0.8	7.1	0.3	69%	96%	109%
にこまる		-	3.2	-	...	100%	...
なつほのか		0.0	1.9	-	50%	97%	...
ヒノヒカリ		-	1.0	-	...	94%	...
熊本	104	3.7	1.8	1.8	87%	113%	113%
ヒノヒカリ		-	-	-	...	...	...
森のくまさん		-	-	-	...	...	...
コシヒカリ		3.2	1.5	1.5	87%	124%	124%
大分	102	1.5	1.2	0.5	126%	29%	279%
ヒノヒカリ		0.0	0.5	-	1000%	21%	...
なつほのか		0.2	-	-	...	...	...
ひとめぼれ		0.1	0.3	0.0	85%	66%	93%
宮崎	99	4.9	4.9	4.9	91%	93%	93%
コシヒカリ		4.4	4.4	4.4	96%	96%	96%
ヒノヒカリ		0.0	0.0	0.0	15%	64%	64%
鹿児島	101	3.7	3.7	3.5	88%	88%	102%
ヒノヒカリ		-	-	-	...	...	...
あきほなみ		-	-	-	...	...	...
コシヒカリ		2.3	2.3	2.3	87%	87%	87%
沖縄	103	1.0	1.0	0.9	96%	96%	104%
全国①	102	768	1,264	137	82%	81%	112%
参考	前年同月(5年産)②	938	1,559	122			
	前年同月差(①-②)	▲170	▲295	+15			

資料: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注: 1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上)である。  
 2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米を含む。)である。  
 3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。  
 4 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結(確認書等により数量のみが決定した契約を含む。)した数量である。  
 5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。  
 6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。  
 7 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。  
 8 「-」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないものである。  
 9 「参考: 前年同月比」で、令和6年産又は令和5年産の同時期に数量がなかった場合は、「…」としている。

### 3 令和6年産備蓄米の政府買入入札結果

令和6年産備蓄米の政府買入入札は、全7回を実施。  
買入予定数量205,509トンに対して、172,016トン（83.7%）の落札。

#### 令和6年産備蓄米の買入入札結果

(単位:トン)

産地	買入予定数量 (優先枠) ①	落札数量 ②	落札率 ②/①
北海道	4,686	4,686	100.0%
青森	28,586	24,416	85.4%
岩手	3,415	3,415	100.0%
宮城	11,276	11,276	100.0%
秋田	21,322	14,512	68.1%
山形	20,195	20,195	100.0%
福島	26,313	26,313	100.0%
茨城	1,086	616	56.7%
栃木	6,184	5,773	93.4%
群馬			
埼玉	204	204	100.0%
千葉	662	642	97.0%
東京			
神奈川			
新潟	24,499	24,499	100.0%
富山	11,880	10,261	86.4%
石川	7,841	874	11.1%
福井	4,597	2,500	54.4%
山梨			
長野	1,449	1,352	93.3%
岐阜	423	423	100.0%
静岡	19	19	100.0%
愛知	835	722	86.5%
三重	262	-	0.0%
滋賀	1,327	1,159	87.3%
京都			
大阪			

産地	買入予定数量 (優先枠) ①	落札数量 ②	落札率 ②/①
兵庫			
奈良			
和歌山			
鳥取	389	389	100.0%
島根	126	126	100.0%
岡山	822	191	23.2%
広島	28	28	100.0%
山口			
徳島	933	235	25.2%
香川			
愛媛			
高知	10	10	100.0%
福岡	52	35	67.3%
佐賀	214	-	0.0%
長崎			
熊本	274	-	0.0%
大分	91	91	100.0%
宮崎			
鹿児島			
優先枠計 ①	180,000	154,962	86.1%
一般枠 ②	25,509	17,054	66.9%
合計 (①+②)	205,509	172,016	83.7%
うちCPTPP分		5,509	

#### (参考) 買入入札結果の推移

(単位:トン)

年産	買入予定数量 ①	落札数量 ②	落札率 ②/①
平成23年産	200,000	67,638	33.8%
平成24年産	200,000	83,390	41.7%
平成25年産	250,000	183,092	73.2%
平成26年産	250,000	250,000	100.0%
平成27年産	250,000	250,000	100.0%
平成28年産	225,000	225,000	100.0%
平成29年産	200,000	197,728	98.9%
平成30年産	200,000	122,949	61.5%
令和元年産	209,140	185,314	88.6%
令和2年産	207,000	207,000	100.0%
令和3年産	207,000	207,000	100.0%
令和4年産	207,000	207,000	100.0%
令和5年産	208,000	201,725	97.0%
令和6年産	205,509	172,016	83.7%



## 4 令和6年産の水田における作付状況（令和6年9月15日時点）

- ・ 全国の主食用米の作付面積は、都道府県ごとの増減があるものの、前年実績（124.2万ha）から1.7万ha増加し、125.9万haとなった。
- ・ 戦略作物等の作付面積は、飼料用米及び米粉用米が減少し、新市場開拓用米、加工用米及びWCS用稲が増加するとともに、麦、大豆及び飼料作物等については、1.8万haの畑地化により、水田における作付面積（基幹作）が減少した。

### （1）主食用米及び戦略作物等の作付状況

	主食用米	戦略作物等									備蓄米
		加工用米	新規需要米				麦	大豆	飼料作物 そば なたね	戦略作物等 合計面積	
			新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 稲発酵 粗飼料用稲					
H30年産	138.6	5.1	0.4	0.5	8.0	4.3	9.7	8.8	10.2	47.0	2.2
R元年産	137.9	4.7	0.4	0.5	7.3	4.2	9.7	8.6	10.2	45.6	3.3
R2年産	136.6	4.5	0.6	0.6	7.1	4.3	9.8	8.5	10.2	45.6	3.7
R3年産	130.3	4.8	0.7	0.8	11.6	4.4	10.2	8.5	10.2	51.2	3.6
R4年産	125.1	5.0	0.7	0.8	14.2	4.8	10.6	8.9	9.9	54.9	3.6
R5年産	124.2	4.9	0.9	0.8	13.4	5.3	10.5	8.8	8.5	53.1	3.5
R6年産	125.9	5.0	1.1	0.6	9.9	5.6	10.3	8.4	7.4	48.3	3.0
畑地化面積	—	—	—	—	—	—	0.3	0.2	0.8	1.3 (1.8)※	—

注1：加工用米及び新規需要米（新市場開拓用米、米粉用米、飼料用米、WCS用稲）は取組計画の認定面積。

注2：備蓄米は、地域農業再生協議会が把握した面積。

注3：麦、大豆、飼料作物、そば、なたねは、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。

※R6年産畑地化面積の戦略作物等合計面積欄の1.8万haについては、麦、大豆、飼料作物、そば、なたねのほか、高収益作物等を加えた面積。

## (2) 令和6年産の水田における都道府県別の作付状況 (令和6年9月15日時点)

都道府県	主食用米			戦略作物等										備蓄米	【参考】 R6年 畑地化面積	(ha)	
	①	【参考】		加工用米	新規需要米					麦	大豆	飼料作物	そば				なたね
		前年産 (5年産) ②	増減 ①-②		新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 (稲藁酢 粗飼料用稲)	その他								
全国計	125.9万	124.2万	1.7万	50,197	11,246	6,330	98,666	56,479	69	103,099	84,416	49,471	23,984	575	30,014	17,653	全国計
北海道	83,700	82,200	1,500	6,800	2,515	153	5,303	2,484	-	31,782	16,498	8,944	5,430	371	1,814	11,113	北海道
青森	37,200	33,800	3,400	680	499	9	5,351	933	-	506	4,814	2,768	967	5	4,040	1,081	青森
岩手	43,100	42,800	300	1,277	435	17	4,802	2,532	1	3,494	4,052	6,134	569	12	644	604	岩手
宮城	58,400	57,200	1,200	945	1,155	86	7,228	2,974	1	2,231	9,388	4,840	402	0	2,201	338	宮城
秋田	72,200	69,900	2,300	8,419	544	275	2,453	1,367	2	142	8,475	1,765	3,484	4	2,682	344	秋田
山形	52,400	52,400	0	4,309	476	103	4,663	1,366	3	89	4,497	2,257	4,128	1	3,422	1,010	山形
福島	56,500	53,100	3,400	429	178	15	6,967	1,098	0	376	875	1,552	1,395	89	5,558	228	福島
茨城	59,900	57,800	2,100	1,291	1,089	95	10,347	638	1	3,866	671	439	389	0	125	335	茨城
栃木	49,000	47,200	1,800	1,912	60	909	11,556	2,329	3	7,488	353	2,730	1,137	6	1,062	330	栃木
群馬	12,800	12,400	400	1,355	2	213	1,018	645	-	2,208	129	175	24	1	-	76	群馬
埼玉	28,400	27,500	900	144	58	918	2,073	120	-	2,228	364	141	88	2	40	9	埼玉
千葉	48,300	45,800	2,500	2,072	49	119	6,642	1,307	-	469	233	275	4	-	123	24	千葉
東京	107	111	▲4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	東京
神奈川	2,840	2,850	▲10	-	-	0	12	3	-	3	7	3	1	-	-	3	神奈川
新潟	101,400	100,600	800	6,760	1,830	1,389	2,866	687	0	215	3,911	295	822	-	4,658	130	新潟
富山	31,200	31,200	0	1,143	358	320	1,914	538	-	3,258	3,668	334	256	19	1,848	66	富山
石川	21,200	20,800	400	529	89	236	507	124	-	1,214	983	24	149	-	164	2	石川
福井	21,900	21,500	400	493	253	125	1,531	166	6	5,156	130	44	523	-	700	10	福井
山梨	4,590	4,660	▲70	68	-	21	18	23	-	67	96	21	111	0	-	-	山梨
長野	29,000	29,300	▲300	756	297	31	306	285	-	2,487	634	549	1,998	0	216	227	長野
岐阜	19,600	19,700	▲100	1,139	140	72	2,777	320	-	3,718	298	570	248	-	104	16	岐阜
静岡	14,400	15,000	▲600	99	1	8	774	332	-	258	30	40	29	-	4	7	静岡
愛知	25,000	24,700	300	650	43	303	1,309	183	-	5,722	84	135	5	10	143	-	愛知
三重	24,500	24,900	▲400	176	128	78	1,951	304	-	7,084	247	152	11	8	-	5	三重
滋賀	27,400	27,000	400	505	250	50	1,507	334	-	8,505	537	189	120	12	231	7	滋賀
京都	13,000	13,200	▲200	530	21	12	119	178	-	275	264	43	140	-	-	37	京都
大阪	4,290	4,430	▲140	0	-	1	6	6	-	0	5	1	-	-	-	14	大阪
兵庫	32,200	32,500	▲300	667	215	40	690	1,040	6	1,954	1,620	730	108	8	-	96	兵庫
奈良	7,960	8,200	▲240	11	-	31	32	41	-	72	23	5	2	0	-	9	奈良
和歌山	5,680	5,780	▲100	-	-	1	2	4	-	9	8	2	2	-	-	1	和歌山
鳥取	11,600	11,700	▲100	17	33	1	717	425	0	81	569	757	321	0	77	187	鳥取
島根	15,700	15,900	▲200	200	2	7	735	835	0	252	566	420	284	6	25	63	島根
岡山	27,200	26,900	300	281	196	81	1,143	533	-	1,168	1,003	835	105	0	34	40	岡山
広島	20,100	20,500	▲400	358	55	93	355	740	0	308	233	907	262	0	11	127	広島
山口	15,800	16,000	▲200	972	101	16	999	441	0	817	654	846	49	0	-	1	山口
徳島	9,790	9,480	310	19	38	12	621	254	-	52	4	86	2	-	62	-	徳島
香川	9,770	10,100	▲330	53	34	8	190	343	-	1,184	33	245	9	1	-	-	香川
愛媛	12,700	12,800	▲100	45	-	5	326	255	-	421	319	171	4	-	-	15	愛媛
高知	10,100	10,200	▲100	83	-	23	1,047	334	-	3	51	127	0	-	2	75	高知
福岡	32,200	32,300	▲100	214	13	232	2,160	2,307	-	1,190	7,691	405	34	-	7	309	福岡
佐賀	22,000	21,700	300	376	10	16	709	2,280	-	1,107	6,455	357	15	1	-	86	佐賀
長崎	9,360	10,000	▲640	5	5	5	122	1,597	3	86	255	1,690	37	1	-	135	長崎
熊本	28,800	28,900	▲100	667	39	160	1,392	9,401	21	776	2,110	1,803	169	13	-	341	熊本
大分	17,800	18,100	▲300	159	5	8	1,793	2,799	-	656	1,100	905	86	2	18	53	大分
宮崎	12,400	12,700	▲300	2,108	33	21	886	7,375	20	17	204	3,018	26	0	-	65	宮崎
鹿児島	15,600	15,800	▲200	1,443	1	10	745	4,158	1	102	277	1,720	41	2	-	33	鹿児島
沖縄	557	544	13	40	-	2	1	43	-	-	-	23	-	-	-	-	沖縄

※畑地化事業による畑地化した面積は含まない。

- 注1：主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米面積。  
 注2：加工用米及び新規需要米は取組計画の認定面積で、備蓄米は地域農業再生協議会が把握した面積。  
 注3：麦、大豆、飼料作物、そば、なたねは地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。  
 注4：R6年産畑地化面積は、R6年度に畑地化促進事業で採択された面積。

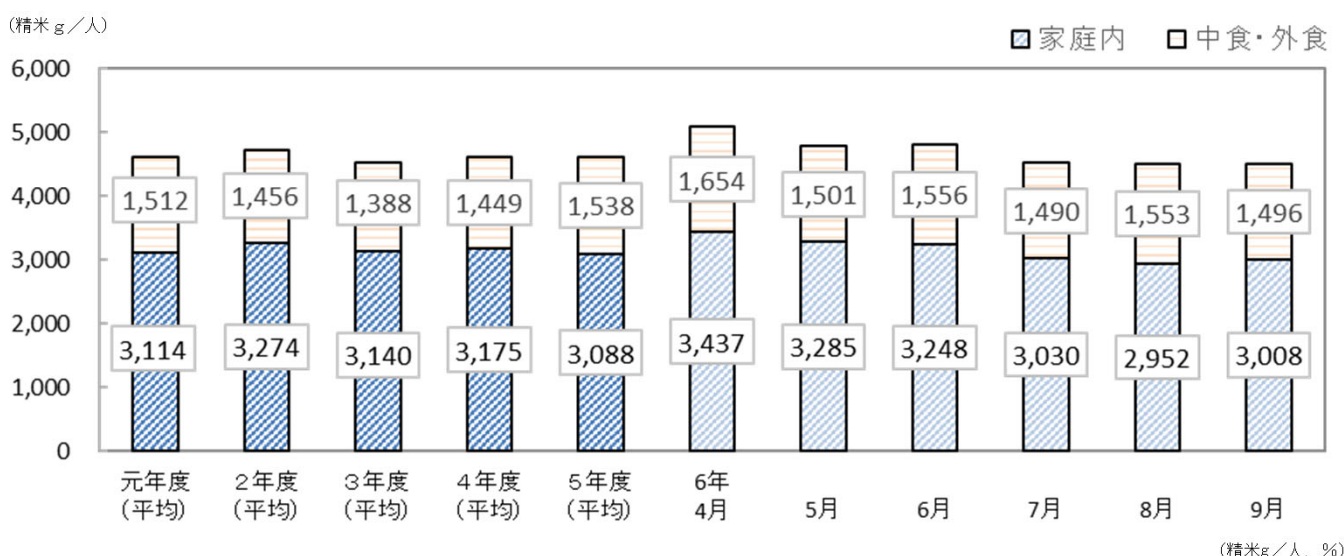
# 4 消費の動向

## 1 米の消費動向（米穀機構による調査）

調査結果の概要につきましては、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。  
 【 <https://www.komenet.jp/> 】

- 米穀機構が公表している「米の消費動向調査」（令和6年9月分）によると、1人1ヵ月当たりの精米消費量は、対前年同月比+0.6%。
- このうち、家庭内での消費量は対前年同月比+0.0%、中食・外食では+1.9%。

### (1) 1人1ヵ月当たり精米消費量



	精米消費量(g)					内訳比率(%)					前年同月比(%)				
	合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食	
		家庭内	中・外食	中食	外食		家庭内	中・外食	中食	外食		家庭内	中・外食	中食	外食
令和元年度	4,626	3,114	1,512	885	627	100.0	67.3	32.7	19.1	13.6	4.5	0.5	14.0	13.1	15.3
2年度	4,730	3,274	1,456	954	502	100.0	69.2	30.8	20.2	10.6	2.2	5.1	▲3.7	7.8	▲19.9
3年度	4,529	3,140	1,388	906	482	100.0	69.3	30.6	20.0	10.6	▲4.2	▲4.1	▲4.7	▲5.0	▲4.0
4年度	4,625	3,175	1,449	918	531	100.0	68.6	31.3	19.8	11.5	2.1	1.1	4.4	1.3	10.2
5年度	4,626	3,088	1,538	963	574	100.0	66.8	33.2	20.8	12.4	0.0	▲2.7	6.1	4.9	8.1
令和6年 4月	5,091	3,437	1,654	1,007	647	100.0	67.5	32.5	19.8	12.7	2.6	2.3	3.1	▲0.6	9.5
5月	4,785	3,285	1,501	900	601	100.0	68.7	31.4	18.8	12.6	1.6	4.3	▲3.9	▲8.8	4.5
6月	4,804	3,248	1,556	965	590	100.0	67.6	32.4	20.1	12.3	2.5	2.3	2.8	4.1	0.7
7月	4,521	3,030	1,490	897	593	100.0	67.0	33.0	19.8	13.1	0.4	0.4	0.2	▲5.8	10.8
8月	4,505	2,952	1,553	970	583	100.0	65.5	34.5	21.5	12.9	3.6	3.4	4.0	5.0	2.5
9月	4,504	3,008	1,496	903	593	100.0	66.8	33.2	20.0	13.2	0.6	0.0	1.9	0.9	3.5

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注1：令和6年8月分の有効調査世帯数は1,349世帯。

注2：令和元～5年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。

注3：調査対象世帯の入れ替えや補充による調査結果の補正は行っていないため、調査結果の経年比較等の際には、留意が必要である。

注4：家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。

注5：集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が令和元～令和3年度は平成27年国勢調査、令和4～6年度は令和2年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で推計。

注6：四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

- ・ 精米購入時の動向について、入手経路は「スーパーマーケット」が最も多く、次いで「家族・知人などから無償で入手」、「インターネットショップ」の順となっている。
- ・ 精米購入経路別の購入単価は、「デパート」が最も高く、次いで、「インターネットショップ」、「スーパーマーケット」の順となっている※。  
※購入割合が有効調査世帯数の1%に満たない精米購入経路を除いた順である。
- ・ 令和6年9月の家庭内の月末在庫数量は、6.0kgとなっている。

## (2) 精米購入時の動向

### (ア) 入手経路(複数回答)

(%)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから無償で入手	その他	有効調査世帯数
令和元年度	1.0	50.1	5.9	3.2	0.2	5.9	1.3	2.4	1.0	5.9	8.1	17.8	3.4	-
令和2年度	1.5	49.8	5.7	3.9	0.3	7.0	1.1	2.4	1.1	5.0	9.7	15.2	4.1	-
令和3年度	1.6	50.5	6.6	3.9	0.2	6.3	0.8	2.3	1.2	5.5	8.6	15.0	4.3	-
令和4年度	1.2	50.1	5.5	4.8	0.4	6.0	1.0	2.3	1.4	4.6	8.9	15.3	4.4	-
令和5年度	1.4	50.1	6.9	4.4	0.3	5.2	1.0	2.4	1.9	4.8	8.6	15.3	4.6	-
令和6年4月	0.9	53.1	10.4	3.5	0.3	5.0	1.0	2.5	1.7	5.3	7.8	11.7	2.9	1,023
5月	1.5	52.5	9.0	3.1	0.1	6.0	1.4	2.9	2.3	4.0	8.3	12.0	3.4	1,016
6月	1.1	52.8	11.4	4.4	0.4	6.3	1.4	2.7	1.3	3.5	8.2	11.4	2.8	953
7月	0.8	52.0	8.8	3.5	0.4	5.7	1.0	2.9	0.9	5.2	9.0	12.8	2.3	878
8月	0.9	56.1	9.0	3.3	0.1	5.9	1.1	3.0	1.9	3.5	8.2	13.5	1.5	888
9月	1.6	51.4	5.9	3.1	0.0	6.5	2.0	3.5	2.6	5.1	6.9	20.0	2.4	806

注：令和元～5年度は各年4月から翌年3月までの平均値。

### (イ) 精米購入経路別の購入単価(複数回答)

(円/kg)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	有効調査世帯数
令和元年度	618	399	355	323	※545	424	477	473	434	373	494	-
令和2年度	533	400	375	347	※547	434	397	477	415	358	492	-
令和3年度	541	373	357	315	※612	412	※417	485	451	358	471	-
令和4年度	505	371	328	313	※466	395	393	468	424	347	437	-
令和5年度	498	400	361	325	※427	414	406	515	435	338	513	-
令和6年4月	※452	416	366	383	※441	384	379	523	388	325	566	1,799
5月	659	410	403	349	※678	454	415	556	393	357	607	1,655
6月	658	435	412	385	※830	784	322	631	394	316	504	1,551
7月	※697	479	441	416	※808	441	408	483	※498	415	544	1,467
8月	※700	532	494	434	※495	450	474	578	449	320	681	1,417
9月	742	620	570	513	※650	546	532	590	529	437	636	1,349

- 注：1 デパート、スーパーマーケット、生協は、実店舗の購入単価であり、インターネットを利用した購入は含まない。  
2 購入単価は消費税を除く本体価格である。  
3 表中の※付きの単価は、当該経路での購入割合が有効調査世帯数の1%に満たないため参考値とする。  
4 令和元～5年度は4月から翌年3月までの平均値である。

## (ウ) 家庭内の月末在庫数量

(kg/世帯、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年比
令和 元年度	月末在庫数量	6.0	6.2	5.9	5.7	6.0	6.2	6.2	6.5	6.6	6.3	6.3	6.5	6.2	▲3.1
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.33	-
2年度	月末在庫数量	7.1	6.5	6.6	6.2	6.0	6.3	6.4	6.8	6.7	6.6	6.5	6.4	6.5	4.8
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	-
3年度	月末在庫数量	6.2	6.1	5.8	5.8	5.7	6.2	6.9	7.1	6.9	6.8	6.8	6.7	6.4	▲1.5
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.33	-
4年度	月末在庫数量	6.6	6.6	6.4	6.5	6.4	6.3	6.6	6.8	7.0	6.8	6.5	6.6	6.6	3.1
	平均世帯人員	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.22	2.22	2.22	2.22	2.22	2.22	2.22	-
5年度	月末在庫数量	6.0	6.1	6.1	6.0	5.8	5.8	5.9	6.0	6.1	6.0	5.9	5.6	5.9	▲10.6
	平均世帯人員	2.21	2.21	2.21	2.21	2.22	2.22	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	-
6年度	月末在庫数量	5.9	5.7	5.9	5.6	5.8	6.0							5.8	▲1.7
	平均世帯人員	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21							2.21	-

注：1 地域ごとの世帯人員構成比が令和元～令和3年度は平成27年国勢調査、令和4～6年度は令和2年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で集計した。

注：2 平均世帯人員は、各月の有効調査世帯の平均人員数である。

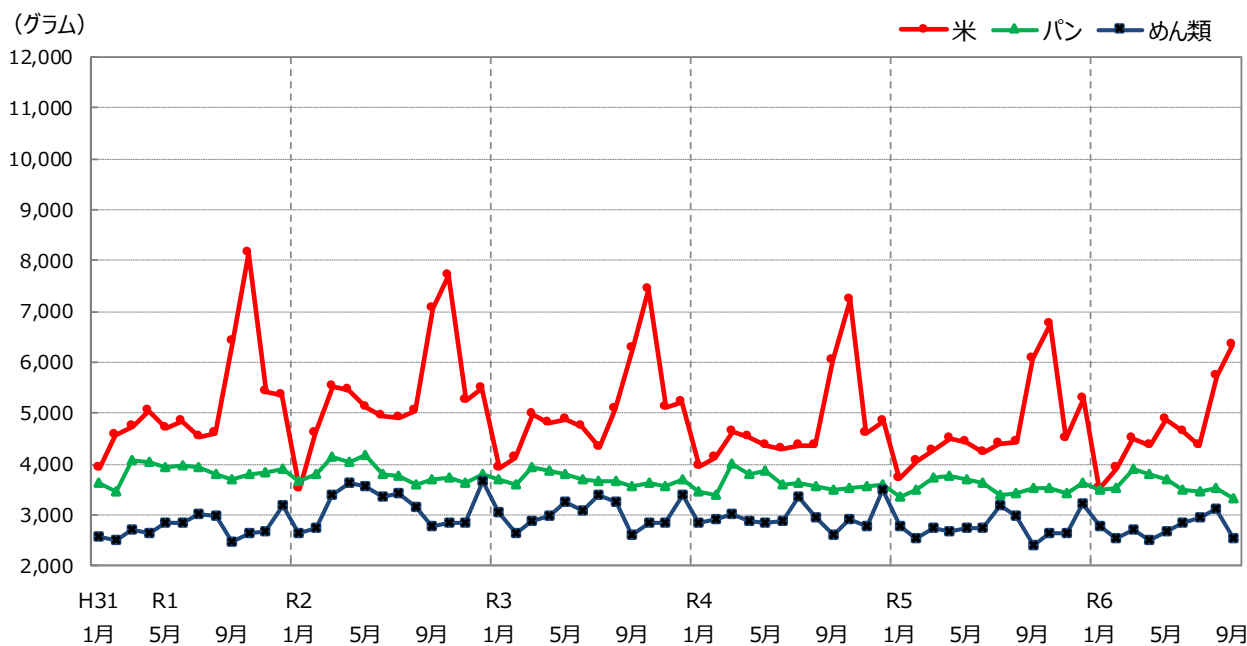


## 2 購入数量・支出金額の推移（家計調査）

家計調査、消費者物価指数、小売物価統計の累年データについては、総務省統計局HPから御覧いただけます。【 <https://www.stat.go.jp/data/index.html> 】

- 総務省が公表している家計調査によると、令和6年9月の米の購入数量は、対前年同月比+4.8%の6.4kg、パンは▲5.1%の3.3kg、めん類は+7.0%の2.6kg。

### 1世帯当たり1か月間の購入数量の推移



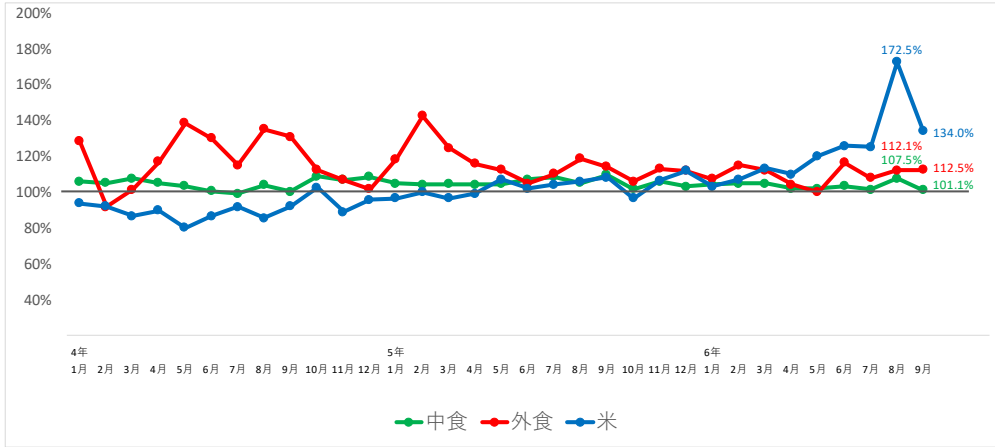
(グラム)

	米		パン		めん類	
	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比
令和元年	62,200	94.6%	46,011	103.3%	33,169	97.9%
2年	64,530	103.7%	45,857	99.7%	38,021	114.6%
3年	60,800	94.2%	44,345	96.7%	36,208	95.2%
4年	57,380	94.4%	43,571	98.3%	35,557	98.2%
5年	56,650	98.7%	42,680	98.0%	33,345	93.8%
令和6年 1月	3,520	94.6%	3,502	103.9%	2,773	99.2%
2月	3,920	96.6%	3,546	101.2%	2,555	100.0%
3月	4,490	105.6%	3,894	104.0%	2,721	99.6%
4月	4,380	97.1%	3,814	101.4%	2,515	94.1%
5月	4,870	109.4%	3,685	99.7%	2,678	97.7%
6月	4,640	109.7%	3,511	96.9%	2,852	103.7%
7月	4,370	99.5%	3,460	102.3%	2,965	93.4%
8月	5,730	129.1%	3,547	103.8%	3,136	104.6%
9月	6,350	104.8%	3,340	94.9%	2,557	107.0%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯  
注1：米は精米ベースである。

- 総務省が公表している家計調査によると、1世帯当たり1か月間の令和6年9月の中食の支出金額は、対前年同月比+1.1%、外食は+12.5%。

### 1世帯当たり1か月間の支出金額の推移（前年同月比）



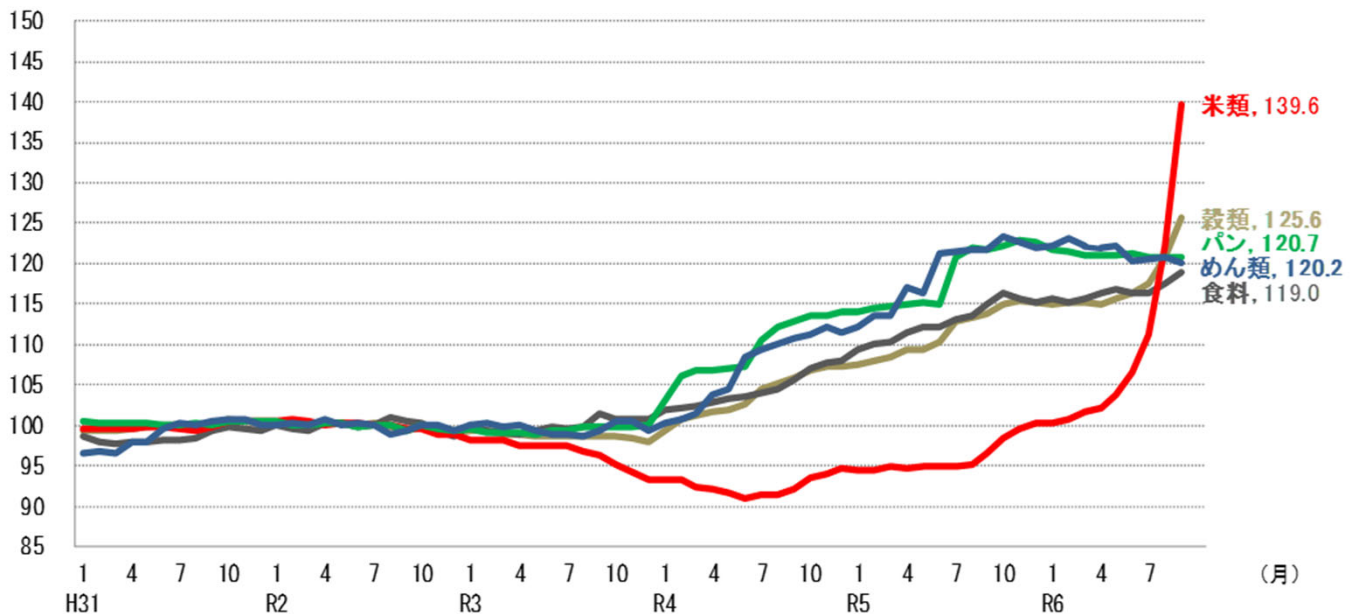
	穀類	中食 (主食的調理食品)				弁当	すし (弁当)	おにぎり・その他	調理パン	他の主食的調理食品		
		米	パン	麺類	他の穀類							
4年	1月	97.5%	93.7%	99.6%	98.7%	94.3%	106.0%	102.9%	104.3%	112.1%	114.2%	106.4%
4年	2月	101.1%	92.1%	102.3%	107.6%	104.7%	105.1%	101.6%	104.6%	105.5%	107.5%	108.1%
4年	3月	98.8%	86.6%	103.2%	104.0%	104.5%	107.6%	104.8%	105.1%	107.0%	108.0%	112.9%
4年	4月	97.6%	89.8%	100.8%	99.6%	101.3%	105.0%	104.3%	105.8%	109.9%	99.6%	105.7%
4年	5月	93.9%	80.1%	102.2%	95.7%	92.1%	103.3%	98.8%	102.1%	111.9%	96.9%	109.8%
4年	6月	95.9%	86.6%	103.7%	94.8%	91.6%	100.5%	98.5%	95.1%	105.9%	103.7%	104.6%
4年	7月	100.2%	91.9%	104.1%	101.1%	104.8%	99.2%	90.8%	97.9%	105.1%	98.9%	108.6%
4年	8月	98.6%	85.6%	105.0%	102.6%	98.2%	104.0%	103.6%	101.0%	107.1%	102.7%	106.7%
4年	9月	99.2%	91.9%	103.1%	101.9%	104.6%	100.1%	100.1%	92.3%	105.5%	96.7%	106.5%
4年	10月	105.8%	102.4%	107.5%	107.3%	109.1%	108.7%	107.7%	106.8%	112.7%	108.1%	110.2%
4年	11月	101.5%	88.9%	107.7%	105.1%	105.6%	106.8%	106.7%	101.2%	112.6%	105.5%	109.7%
4年	12月	103.0%	95.6%	104.9%	109.4%	100.2%	108.4%	105.3%	107.7%	112.1%	104.6%	111.8%
5年	1月	102.8%	96.7%	105.5%	104.0%	102.8%	104.8%	105.3%	96.6%	113.2%	106.4%	109.1%
5年	2月	100.0%	100.1%	102.8%	96.2%	96.7%	104.3%	100.2%	103.6%	116.7%	106.7%	105.0%
5年	3月	100.3%	96.6%	102.8%	99.4%	100.9%	104.4%	104.3%	103.7%	111.0%	106.5%	102.4%
5年	4月	102.6%	99.1%	103.1%	103.6%	109.0%	104.3%	99.8%	105.6%	113.9%	110.8%	102.6%
5年	5月	103.8%	107.1%	102.2%	103.0%	107.0%	104.6%	105.4%	98.3%	118.5%	110.4%	103.2%
5年	6月	103.3%	102.0%	104.8%	101.3%	107.5%	107.0%	105.9%	106.1%	121.0%	102.2%	106.8%
5年	7月	104.1%	104.1%	103.0%	106.8%	98.1%	108.4%	108.4%	106.1%	114.2%	105.6%	109.3%
5年	8月	104.4%	105.9%	103.0%	107.2%	95.2%	105.1%	100.5%	101.2%	121.5%	103.0%	109.0%
5年	9月	103.8%	108.3%	103.9%	101.2%	91.4%	109.7%	103.7%	116.9%	118.4%	111.4%	107.3%
5年	10月	100.9%	96.7%	105.0%	102.7%	92.3%	101.8%	98.7%	97.8%	108.0%	102.2%	105.6%
5年	11月	106.0%	106.6%	106.4%	105.8%	102.6%	105.8%	102.3%	103.7%	108.4%	106.7%	109.6%
5年	12月	105.9%	111.9%	108.3%	101.3%	99.9%	103.1%	102.2%	99.9%	108.4%	107.8%	104.2%
6年	1月	103.2%	103.0%	105.2%	101.7%	98.1%	104.3%	101.0%	107.0%	103.8%	101.6%	106.2%
6年	2月	106.8%	107.2%	107.3%	105.7%	107.1%	104.8%	100.3%	102.4%	109.1%	108.5%	109.3%
6年	3月	108.8%	113.3%	107.2%	108.5%	105.6%	104.7%	96.5%	100.2%	112.5%	101.0%	116.2%
6年	4月	103.6%	109.8%	103.0%	100.2%	96.9%	101.9%	99.9%	96.4%	104.7%	103.3%	106.8%
6年	5月	105.7%	120.1%	100.8%	101.8%	100.3%	101.9%	99.2%	100.2%	102.9%	103.9%	104.7%
6年	6月	109.4%	125.8%	102.0%	107.1%	106.8%	103.3%	102.3%	104.7%	99.8%	106.9%	103.1%
6年	7月	106.2%	125.3%	101.7%	97.8%	105.2%	101.3%	103.9%	98.5%	101.6%	104.6%	99.7%
6年	8月	122.4%	172.5%	104.3%	106.1%	124.2%	107.5%	110.8%	106.7%	99.0%	108.1%	107.8%
6年	9月	110.8%	134.0%	98.7%	100.6%	107.5%	101.1%	103.3%	98.5%	104.4%	104.0%	98.9%

	外食 (食事代)	他の主食的調理食品										
		日本そば・うどん	中華そば	他の麺類	すし (外食)	和食	中華食	洋食	焼肉	ハンバーガー	他の主食的調理食品	
4年	1月	128.6%	128.6%	122.5%	119.3%	119.3%	142.6%	131.5%	129.8%	162.6%	97.1%	128.6%
4年	2月	91.8%	99.1%	98.2%	89.3%	82.6%	90.5%	90.5%	94.0%	69.1%	112.2%	93.7%
4年	3月	101.3%	107.4%	102.5%	124.2%	98.8%	99.9%	98.2%	100.1%	92.1%	105.9%	102.6%
4年	4月	117.1%	126.8%	98.3%	120.7%	103.5%	116.5%	116.7%	114.5%	111.0%	109.3%	127.1%
4年	5月	138.4%	134.8%	121.2%	140.5%	112.6%	138.1%	129.3%	164.5%	220.4%	91.4%	146.7%
4年	6月	130.1%	126.8%	115.7%	121.6%	111.9%	132.0%	117.0%	129.8%	133.9%	95.8%	145.7%
4年	7月	115.1%	108.5%	106.6%	128.8%	108.6%	110.4%	103.8%	130.7%	101.6%	103.6%	123.3%
4年	8月	135.1%	136.5%	134.0%	165.6%	118.9%	133.5%	121.9%	145.9%	145.8%	100.6%	144.9%
4年	9月	130.8%	125.3%	125.5%	120.4%	118.0%	133.1%	107.2%	140.0%	179.4%	90.2%	139.4%
4年	10月	112.3%	116.2%	129.9%	116.3%	107.5%	122.4%	112.7%	106.8%	105.9%	104.6%	109.6%
4年	11月	106.9%	110.2%	106.8%	106.3%	104.1%	104.2%	113.0%	117.2%	102.5%	110.0%	106.1%
4年	12月	101.7%	107.8%	112.6%	93.1%	102.8%	101.9%	103.6%	100.9%	98.3%	117.2%	98.3%
5年	1月	118.3%	114.1%	137.4%	119.3%	109.2%	117.2%	103.9%	137.3%	119.9%	115.7%	118.1%
5年	2月	142.4%	137.4%	142.5%	142.7%	129.2%	143.9%	135.8%	147.1%	204.6%	97.5%	147.9%
5年	3月	124.6%	127.2%	127.7%	119.5%	115.4%	126.8%	125.6%	127.0%	108.0%	98.6%	132.1%
5年	4月	115.8%	115.4%	130.8%	125.4%	103.8%	110.6%	134.5%	121.8%	127.7%	108.5%	115.7%
5年	5月	112.4%	110.3%	125.1%	106.3%	111.0%	114.4%	110.3%	108.0%	100.5%	100.7%	115.8%
5年	6月	104.7%	111.7%	120.2%	108.9%	100.9%	107.4%	106.3%	106.8%	114.6%	101.3%	99.9%
5年	7月	110.0%	119.7%	122.2%	116.9%	110.0%	112.6%	118.7%	116.9%	119.6%	104.1%	102.4%
5年	8月	118.8%	122.1%	117.0%	134.9%	112.4%	121.8%	119.6%	122.4%	130.8%	100.7%	118.0%
5年	9月	114.0%	105.8%	116.9%	123.5%	112.9%	117.7%	124.0%	121.2%	111.1%	110.2%	111.4%
5年	10月	106.0%	103.5%	107.5%	104.1%	99.6%	108.0%	99.0%	112.9%	98.2%	107.9%	107.5%
5年	11月	113.0%	113.7%	125.8%	113.2%	100.0%	117.1%	117.1%	109.9%	114.5%	107.4%	113.5%
5年	12月	112.0%	111.9%	105.1%	116.9%	110.0%	104.4%	110.8%	117.8%	102.4%	101.3%	119.1%
6年	1月	107.3%	118.0%	109.9%	126.0%	93.6%	104.9%	122.5%	98.7%	115.1%	96.5%	112.5%
6年	2月	115.1%	113.2%	116.8%	143.1%	106.6%	119.0%	112.9%	116.1%	131.8%	117.7%	111.4%
6年	3月	112.3%	111.1%	115.9%	127.8%	100.1%	118.9%	125.5%	132.2%	124.7%	124.7%	105.4%
6年	4月	104.3%	114.3%	107.1%	104.2%	102.7%	112.0%	99.1%	103.4%	81.9%	103.6%	104.2%
6年	5月	100.0%	104.7%	103.3%	121.3%	90.5%	109.3%	100.5%	101.2%	85.0%	110.9%	97.5%
6年	6月	116.4%	115.7%	113.3%	118.4%	113.6%	114.4%	116.0%	118.4%	120.0%	135.6%	115.7%
6年	7月	108.0%	100.5%	108.5%	102.1%	100.2%	110.5%	98.7%	102.6%	95.9%	103.5%	115.1%
6年	8月	112.1%	107.4%	115.9%	103.1%	104.8%	116.1%	106.2%	112.3%	104.6%	114.3%	112.3%
6年	9月	112.5%	118.9%	109.7%	115.0%	118.4%	114.7%	107.5%	106.1%	111.0%	116.2%	111.1%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯  
注1：米は精米ベースである。

### 3 消費者物価指数の推移

- 総務省が公表している消費者物価指数（令和2年基準）によると、令和6年9月の米類の指数は対前年同月比 +44.7%の139.6ポイント。



(令和2年=100、指数)

	食料		穀類		米類 (うるち米)		うるち米 (コシヒカリ)		パン	めん類	対前年 (同月)比	
	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比						
令和元年 (平均)	98.7	0.4%	99.9	0.9%	99.9	0.2%	100.1	0.9%	100.3	0.9%	99.1	2.2%
2年 (平均)	100.0	1.4%	100.0	0.1%	100.0	0.1%	100.0	▲0.1%	100.0	▲0.3%	100.0	1.0%
3年 (平均)	100.0	0.0%	98.8	▲1.2%	96.8	▲3.2%	96.7	▲3.3%	99.5	▲0.5%	99.7	▲0.3%
4年 (平均)	104.5	4.5%	103.7	5.0%	92.6	▲4.3%	93.3	▲3.5%	109.6	10.1%	107.1	7.4%
5年 (平均)	112.9	8.1%	111.5	7.5%	96.1	3.8%	96.3	3.2%	118.4	8.1%	118.9	11.1%
令和6年 1月	115.7	5.7%	115.0	7.0%	100.3	6.2%	100.1	5.3%	121.8	6.9%	122.1	8.7%
2月	115.3	4.8%	115.3	6.6%	100.9	6.8%	100.2	5.3%	121.4	6.0%	123.1	8.4%
3月	115.7	4.8%	115.2	6.3%	101.7	7.2%	100.8	5.8%	121.0	5.4%	122.2	7.6%
4月	116.4	4.3%	115.1	5.3%	102.2	7.9%	100.8	5.8%	121.0	5.2%	121.9	4.2%
5月	116.8	4.1%	115.8	6.0%	103.9	9.5%	102.0	8.1%	121.1	5.2%	122.1	4.9%
6月	116.3	3.6%	116.3	5.4%	106.7	12.3%	104.6	9.7%	121.3	5.5%	120.3	▲0.8%
7月	116.4	2.9%	117.5	4.2%	111.3	17.2%	109.6	15.6%	120.9	0.0%	120.6	▲0.8%
8月	117.6	3.6%	120.8	6.5%	122.1	28.3%	119.8	25.6%	120.9	▲0.9%	120.9	▲0.7%
9月	119.0	3.4%	125.6	10.4%	139.6	44.7%	137.4	41.9%	120.7	▲0.9%	120.2	▲1.3%

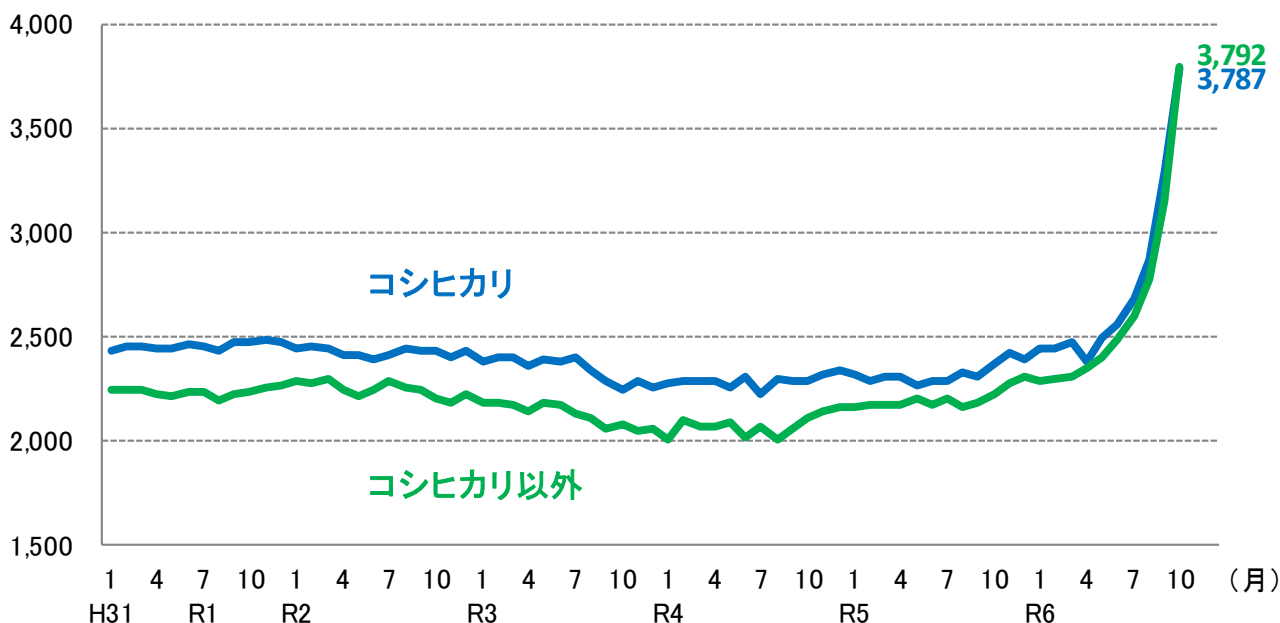
資料：総務省「消費者物価指数」2020年基準、品目別価格指数（全国）

- 注1：食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。  
 注2：穀類は、米類（うるち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。  
 注3：令和元年～5年のデータは年平均、6年は月次データである。

## 4 小売物価統計の推移

- 総務省が公表している小売物価統計によると、令和6年10月のうるち米の小売価格（5kg当たり）は、コシヒカリで対前年同月比+60.0%の3,787円。
- コシヒカリ以外の銘柄の平均では、対前年同月比+70.4%の3,792円。

（円/5kg、包装・消費税込み）



（円/5kg、包装・消費税込み）

年平均	R1	R2	R3	R4	R5
コシヒカリ	2,457	2,426	2,344	2,288	2,323
前年比	0.2%	▲1.3%	▲3.4%	▲2.4%	1.5%
コシヒカリ以外	2,234	2,246	2,127	2,076	2,203
前年比	0.1%	0.5%	▲5.3%	▲2.4%	6.1%

月次(令和4年)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コシヒカリ	2,272	2,287	2,290	2,292	2,253	2,308	2,227	2,294	2,292	2,284	2,323	2,336
前年同月比	▲4.6%	▲4.9%	▲4.5%	▲2.8%	▲5.8%	▲3.2%	▲7.1%	▲1.8%	0.2%	1.6%	1.5%	3.5%
コシヒカリ以外	2,010	2,103	2,068	2,067	2,086	2,020	2,072	2,004	2,061	2,114	2,143	2,161
前年同月比	▲7.8%	▲3.6%	▲5.0%	▲3.5%	▲4.3%	▲7.1%	▲2.8%	▲5.2%	0.3%	1.8%	4.4%	5.0%

月次(令和5年)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コシヒカリ	2,319	2,292	2,306	2,303	2,271	2,283	2,289	2,333	2,310	2,367	2,422	2,386
前年同月比	2.1%	0.2%	0.7%	0.5%	0.8%	▲1.1%	2.8%	1.7%	0.8%	3.6%	4.3%	2.1%
コシヒカリ以外	2,165	2,169	2,177	2,177	2,201	2,171	2,205	2,162	2,188	2,225	2,279	2,311
前年同月比	7.7%	3.1%	5.3%	5.3%	5.5%	7.5%	6.4%	7.9%	6.2%	5.3%	6.3%	6.9%

月次(令和6年)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コシヒカリ	2,440	2,441	2,470	2,384	2,490	2,561	2,683	2,871	3,285	3,787		
前年同月比	5.2%	6.5%	7.1%	3.5%	9.6%	12.2%	17.2%	23.1%	42.2%	60.0%		
コシヒカリ以外	2,283	2,300	2,306	2,347	2,403	2,483	2,602	2,772	3,152	3,792		
前年同月比	5.5%	6.0%	5.9%	7.8%	9.2%	14.4%	18.0%	28.2%	44.1%	70.4%		

資料：総務省「小売物価統計」動向編

注：東京都区部における精米価格である（7日以内の特売分を除く）。

## 5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向（速報）

- 米穀販売事業者における令和6年9月の販売数量は、対前年同月比で小売事業者向けが86%、中食・外食事業者等向けが97%で、全体としては91%となっている。
- なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じているが、令和元年9月の販売数量と比較すると92%となる。
- 前年同月を基準にした令和6年9月の販売価格の値動きは、小売事業者向け147.9、中食・外食事業者等向け116.4。

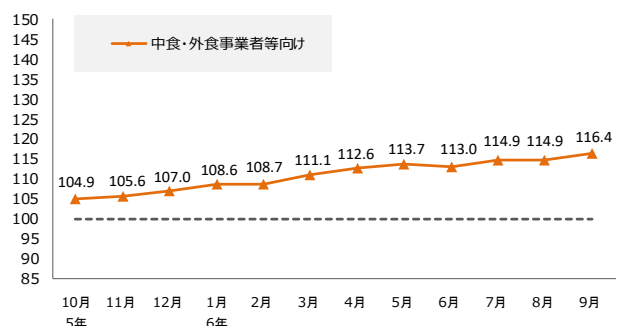
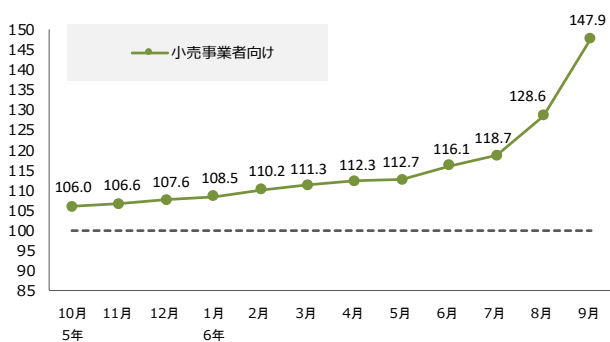
### 1 販売数量の動向（前年同月比）

	5年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月 ～12月計
小売事業者向け	100%	101%	98%	101%	107%	100%	102%	104%	103%	105%	105%	104%	102%
(※令和元年との比較)	(104%)	(103%)	(102%)	(101%)	(108%)	(101%)	(99%)	(107%)	(100%)	(102%)	(104%)	(108%)	(103%)
中食・外食事業者等向け	103%	107%	103%	102%	106%	104%	107%	106%	105%	105%	105%	102%	105%
(※令和元年との比較)	(93%)	(94%)	(94%)	(95%)	(99%)	(99%)	(97%)	(97%)	(102%)	(100%)	(100%)	(98%)	(97%)
販売数量計	101%	104%	100%	101%	107%	102%	104%	105%	104%	105%	105%	103%	103%
(※令和元年との比較)	(99%)	(99%)	(98%)	(98%)	(104%)	(101%)	(98%)	(102%)	(101%)	(101%)	(102%)	(103%)	(101%)

	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年1月 ～12月計
小売事業者向け	106%	108%	107%	108%	106%	114%	104%	100%	86%				
(※令和元年との比較)	(110%)	(111%)	(108%)	(109%)	(114%)	(116%)	(104%)	(107%)	(87%)				
中食・外食事業者等向け	103%	106%	100%	99%	103%	98%	99%	100%	97%				
(※令和元年との比較)	(96%)	(100%)	(95%)	(94%)	(102%)	(97%)	(97%)	(97%)	(98%)				
販売数量計	105%	107%	104%	104%	105%	107%	102%	100%	91%				
(※令和元年との比較)	(103%)	(106%)	(102%)	(102%)	(108%)	(107%)	(100%)	(102%)	(92%)				

※令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じていることから、参考として令和元年（4月までは平成31年）の同月との比較をした値を記載。

### 2 販売価格の動向（前年同月の価格を基準にした値動き）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間玄米仕入数量50,000ト以上の販売事業者である。

注2：上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

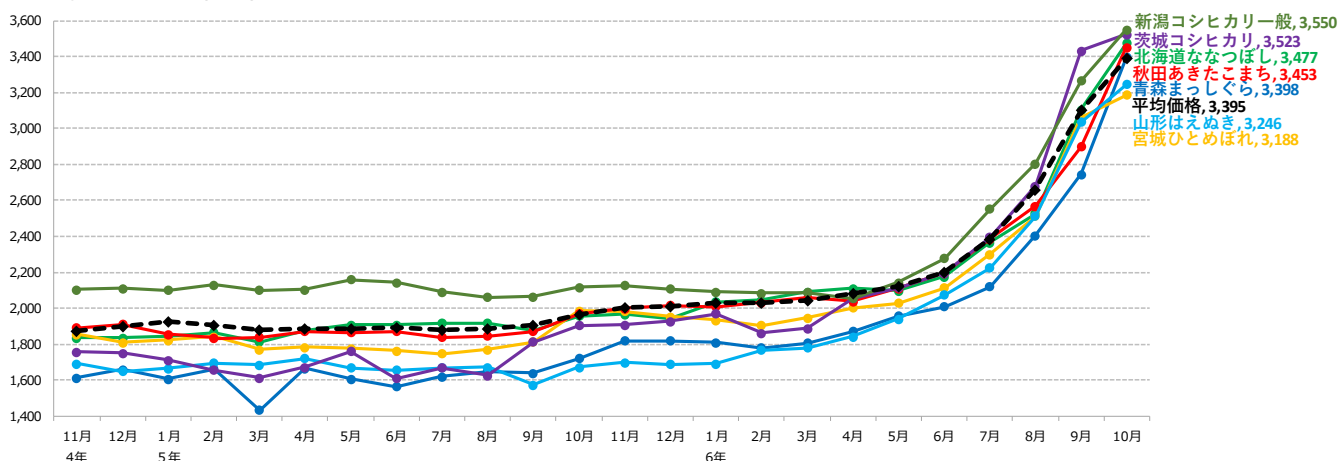
注3：速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。



## 6 小売価格・販売数量等の推移（POSデータ）

- 令和6年10月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、対前月差+290円(+9.3%)、対前年同月差+1,427円(+72.5%)の3,395円。

円/5kg袋販売時換算(税込)



資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

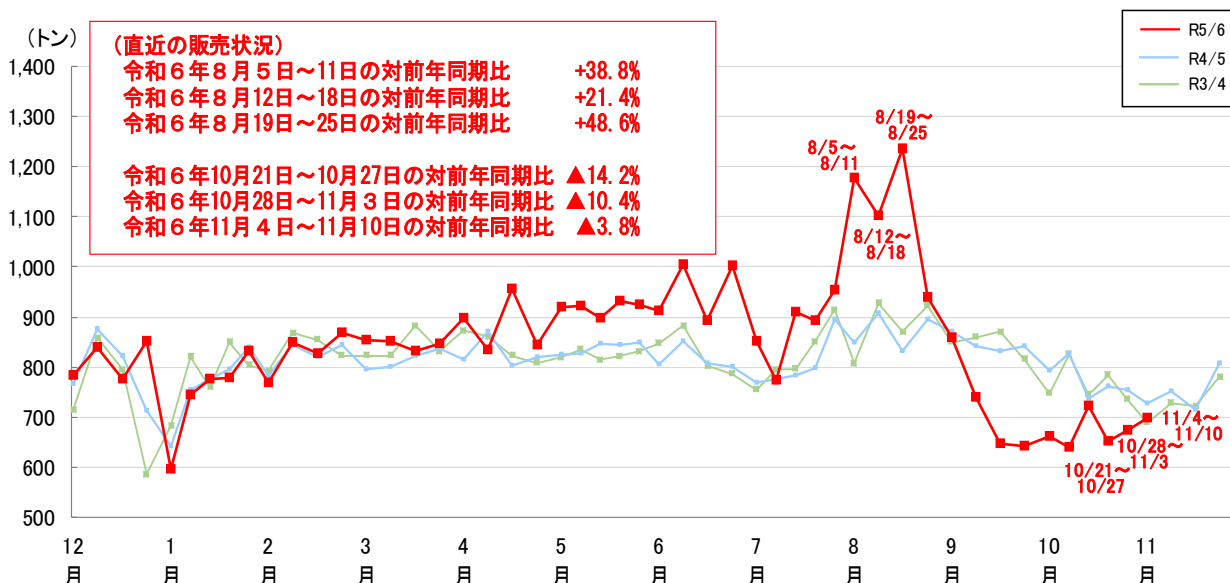
注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：全POS取引平均価格は、POSデータを把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

注5：価格に含む消費税は8%である。

- 令和6年4月以降の販売量は、令和4年及び5年と比較して堅調に推移。
- 令和6年8月は南海トラフ地震臨時情報(8月8日発表)、その後の地震、台風等による買い込み需要が発生したこと等により、8月5日以降伸びが著しい週が3週連続。9月2日以降の週は前年を下回る水準で推移し、11月4日の週は対前年同期▲4%。



# うるち精米の主な銘柄の月別価格・販売数量

単位：円/5kg袋販売時換算（消費税込み）、トン

	販売価格														販売数量		
	5年10月	11月	12月	6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	前月差	前年同月差	6年10月	5年11月～6年10月
北海道 ななつぼし	1,955	1,966	1,940	2,034	2,044	2,090	2,111	2,098	2,175	2,365	2,525	3,107	3,477	+370	+1,522	236	4,020
北海道 ゆめびりか	2,288	2,357	2,408	2,446	2,469	2,502	2,538	2,524	2,476	2,618	2,853	3,555	3,766	+211	+1,478	197	2,471
北海道 ふっくりんこ	2,201	2,242	2,217	2,277	2,329	2,355	2,367	2,374	2,389	2,489	2,709	2,829	3,635	+806	+1,434	21	323
北海道 きらら397	2,066	2,057	2,003	2,056	2,017	2,075	2,152	2,178	2,260	2,422	2,586	2,679	3,283	+604	+1,217	1	109
北海道 きたくりん	1,918	1,961	1,965	2,002	2,035	1,919	1,933	2,022	2,070	2,252	2,511	2,577	3,264	+687	+1,346	5	138
青森 青天の霹靂	2,341	2,283	2,263	2,275	2,276	2,287	2,288	2,193	2,289	2,446	2,641	2,794	3,461	+667	+1,120	16	336
青森 まっしぐら	1,722	1,820	1,818	1,810	1,782	1,808	1,871	1,956	2,008	2,119	2,407	2,745	3,398	+653	+1,676	17	366
青森 つがるロマン	1,990	2,021	2,005	1,966	1,992	1,972	2,005	2,002	2,052	2,115	2,191	3,030	3,073	+43	+1,083	0	104
岩手 ひとめぼれ	1,979	2,035	2,055	2,063	2,060	2,022	2,021	2,045	2,097	2,221	2,401	2,615	3,294	+679	+1,315	59	901
岩手 銀河のしずく	2,036	2,036	2,057	2,057	2,056	2,051	2,056	2,092	2,073	2,184	2,367	2,696	3,241	+545	+1,205	50	706
宮城 ひとめぼれ	1,985	1,983	1,954	1,934	1,903	1,948	2,002	2,030	2,114	2,301	2,514	3,060	3,188	+128	+1,203	84	1,608
宮城 つや姫	2,028	2,076	2,084	2,079	2,068	2,080	2,143	2,122	2,203	2,320	2,566	2,751	3,579	+828	+1,551	6	268
宮城 だて正夢	2,222	2,204	2,239	2,232	2,222	2,222	2,237	2,217	2,235	2,426	2,678	2,696	3,435	+739	+1,213	7	144
秋田 あきたこまち	1,968	2,000	2,017	2,011	2,031	2,058	2,039	2,112	2,195	2,385	2,570	2,899	3,453	+554	+1,485	141	2,104
山形 つや姫	2,332	2,344	2,380	2,371	2,425	2,408	2,428	2,405	2,492	2,654	2,844	2,979	3,731	+752	+1,399	23	951
山形 はえぬき	1,672	1,698	1,689	1,691	1,767	1,780	1,843	1,941	2,076	2,224	2,513	3,037	3,246	+209	+1,574	81	804
山形 雪若丸	2,052	2,048	2,007	1,989	2,005	2,039	2,102	2,093	2,215	2,186	2,505	3,190	3,352	+162	+1,300	17	259
茨城 コシヒカリ	1,903	1,906	1,926	1,970	1,862	1,887	2,056	2,112	2,195	2,394	2,681	3,431	3,523	+92	+1,620	51	737
茨城 あきたこまち	1,772	1,820	1,816	1,813	1,858	1,716	1,897	1,970	2,008	2,284	3,134	3,315	3,327	+12	+1,555	18	417
栃木 コシヒカリ	1,963	1,993	1,989	1,715	1,993	1,989	2,004	2,085	2,152	2,284	2,502	3,199	3,521	+322	+1,558	56	536
栃木 とうぎの星	1,919	1,942	1,631	1,861	1,980	1,653	1,900	1,809	1,918	2,115	2,406	2,698	3,149	+451	+1,230	11	183
千葉 ふさおとめ	1,843	1,863	1,905	1,949	1,943	1,892	2,084	2,149	2,279	2,346	2,963	3,237	3,399	+162	+1,556	46	489
千葉 コシヒカリ	1,998	1,989	1,992	2,054	2,034	2,047	2,137	2,235	2,349	2,547	2,920	3,315	3,438	+123	+1,440	39	488
千葉 ふさこがね	1,709	1,728	1,730	1,750	1,744	1,714	1,844	1,896	2,178	2,337	3,073	3,199	3,145	▲54	+1,436	36	265
山梨 コシヒカリ	2,248	2,246	2,290	2,286	2,266	2,291	2,334	2,354	2,393	2,559	2,780	2,987	3,554	+567	+1,306	18	200
長野 コシヒカリ	1,875	1,934	1,814	1,856	1,809	1,817	1,811	1,925	2,068	2,245	2,488	2,871	3,174	+303	+1,299	31	610
新潟 コシヒカリ 一般	2,116	2,127	2,108	2,093	2,085	2,087	2,054	2,144	2,279	2,551	2,806	3,266	3,550	+284	+1,434	248	2,988
新潟 コシヒカリ 魚沼	2,660	2,689	2,593	2,582	2,667	2,727	2,653	2,644	2,756	2,885	3,095	3,422	3,915	+493	+1,255	43	610
新潟 コシヒカリ 佐渡	2,144	2,182	2,225	2,232	2,234	2,164	2,224	2,270	2,344	2,501	2,872	2,840	3,568	+728	+1,424	9	151
新潟 みずほの輝き	1,949	1,982	1,987	1,996	1,992	2,051	2,101	2,123	2,218	2,351	2,424	2,748	3,387	+639	+1,438	26	620
新潟 しいぶき	1,930	1,953	1,913	1,867	1,759	1,880	2,032	2,130	2,112	2,244	2,549	3,200	3,202	+2	+1,272	51	457
新潟 新之助	2,532	2,455	2,502	2,380	2,448	2,692	2,671	2,637	2,773	2,743	3,112	4,130	4,832	+702	+2,300	23	373
富山 コシヒカリ	2,027	1,977	2,040	2,039	2,060	2,027	2,088	2,076	2,182	2,359	2,546	3,089	3,438	+349	+1,411	98	1,347
富山 てんたかく	1,987	1,972	1,850	1,969	1,895	2,000	1,996	2,053	2,154	2,403	2,703	3,263	3,339	+76	+1,352	24	180
石川 コシヒカリ	2,039	2,051	2,032	2,018	1,997	2,000	2,028	2,059	2,109	2,268	2,497	2,973	2,990	+17	+951	42	734
石川 ひやくまん穀	2,103	2,108	2,102	2,103	2,113	2,115	2,113	2,124	2,254	2,273	2,289	3,067	3,044	▲23	+941	24	298
石川 ゆめみづほ	1,828	1,840	1,945	1,836	1,858	1,836	1,867	1,874	1,908	2,113	2,576	2,905	2,835	▲70	+1,007	23	269
福井 ハナエチゼン	1,472	1,308	1,280	1,543	1,455	1,698	1,831	2,033	2,090	2,275	3,007	3,216	3,309	+93	+1,837	14	231
福井 いちほまれ	2,278	2,265	2,179	2,273	2,285	2,291	2,302	2,300	2,331	2,502	2,441	3,162	3,691	+529	+1,413	12	202
福井 コシヒカリ	2,039	2,070	2,077	2,056	2,108	2,113	2,049	2,014	2,155	2,331	2,541	3,549	3,472	▲77	+1,433	8	169
愛知 コシヒカリ	2,041	2,121	2,096	2,096	2,008	2,120	2,210	2,258	2,337	2,583	3,057	3,510	3,465	▲45	+1,424	26	208
三重 コシヒカリ 一般	1,893	1,861	1,891	1,874	1,977	1,955	2,015	2,063	2,119	2,264	2,987	3,207	3,327	+120	+1,434	35	458
三重 コシヒカリ 伊賀	2,111	2,082	2,117	2,131	2,107	2,120	2,104	2,178	2,220	2,356	2,481	3,214	3,416	+202	+1,305	20	272
滋賀 みずかがみ	1,943	1,949	2,015	2,028	2,032	2,267	2,378	2,414	2,432	2,562	2,691	3,316	3,348	+32	+1,405	8	110
徳島 あきさかり	1,841	1,781	1,790	1,822	1,789	1,979	2,014	2,025	2,061	2,106	2,054	2,735	2,968	+233	+1,127	8	73
愛媛 コシヒカリ	2,059	2,063	2,083	2,079	2,085	2,121	2,121	2,144	2,172	2,217	2,452	2,880	2,915	+35	+856	24	165
福岡 元氣つくし	2,056	2,029	2,011	2,095	2,094	2,045	2,071	2,131	2,283	2,520	2,693	3,052	3,587	+535	+1,531	18	371
福岡 夢つくし	1,975	1,915	2,001	2,048	1,965	2,061	2,119	2,157	2,230	2,421	2,607	3,438	3,455	+17	+1,480	33	286
佐賀 夢しずく	1,892	1,893	1,918	1,941	1,916	1,895	1,946	1,979	2,097	2,397	2,591	2,792	3,295	+503	+1,403	18	223
佐賀 さがびより	1,804	1,904	1,975	1,961	1,973	1,949	2,039	1,999	2,116	2,420	2,570	2,938	3,054	+116	+1,250	17	355
大分 ヒノヒカリ	1,821	1,901	1,947	1,932	1,906	1,919	1,929	1,984	2,060	2,273	2,450	2,475	3,417	+942	+1,596	5	158
宮崎 ヒノヒカリ	1,658	1,795	1,770	1,777	1,800	1,811	1,845	1,925	2,050	2,391	2,786	2,924	3,200	+276	+1,542	14	233
宮崎 コシヒカリ	1,684	1,612	1,564	1,432	1,265	1,299	1,360	1,386	1,397	2,595	2,847	2,897	3,211	+314	+1,527	6	234
全POS取引平均価格	1,968	2,003	2,013	2,030	2,029	2,042	2,083	2,122	2,201	2,383	2,656	3,105	3,395	+290	+1,427		
全POS取引数量(t)	3,427	3,096	3,691	3,161	3,372	3,897	3,786	3,951	4,289	3,804	4,959	3,113	2,907	▲206	▲520	2,907	44,023

(参考：ドラッグストア)

全POS取引平均価格	1,782	1,813	1,836	1,847	1,836	1,875	1,921	1,961	1,996	2,152	2,480	2,829	3,135	+306	+1,353
------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	--------

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

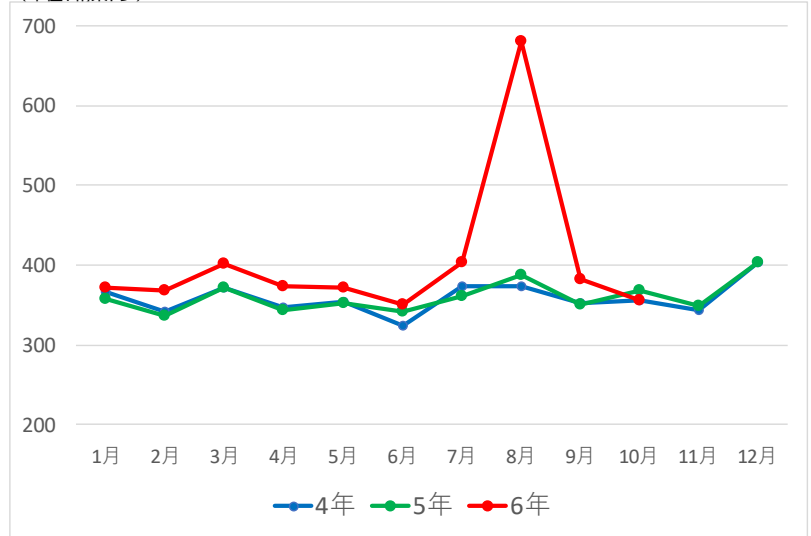
- 注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等（ドラッグストアは約400店舗）から購入したデータに基づくものである。
- 注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。
- 注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。
- 注4：全POS取引平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。
- 注5：価格に含む消費税は8%である。

## 【パックご飯の販売数量】

(単位: 精米トン、%)

	4年	5年 ①	6年 ②	対前年 同月比 ②/①
1月	366	357	372	104%
2月	342	337	368	109%
3月	371	371	401	108%
4月	348	344	374	109%
5月	355	352	371	105%
6月	324	341	350	103%
7月	374	361	403	112%
8月	373	388	680	175%
9月	352	351	383	109%
10月	356	369	356	96%
11月	343	349		
12月	404	403		

(単位: 精米トン)



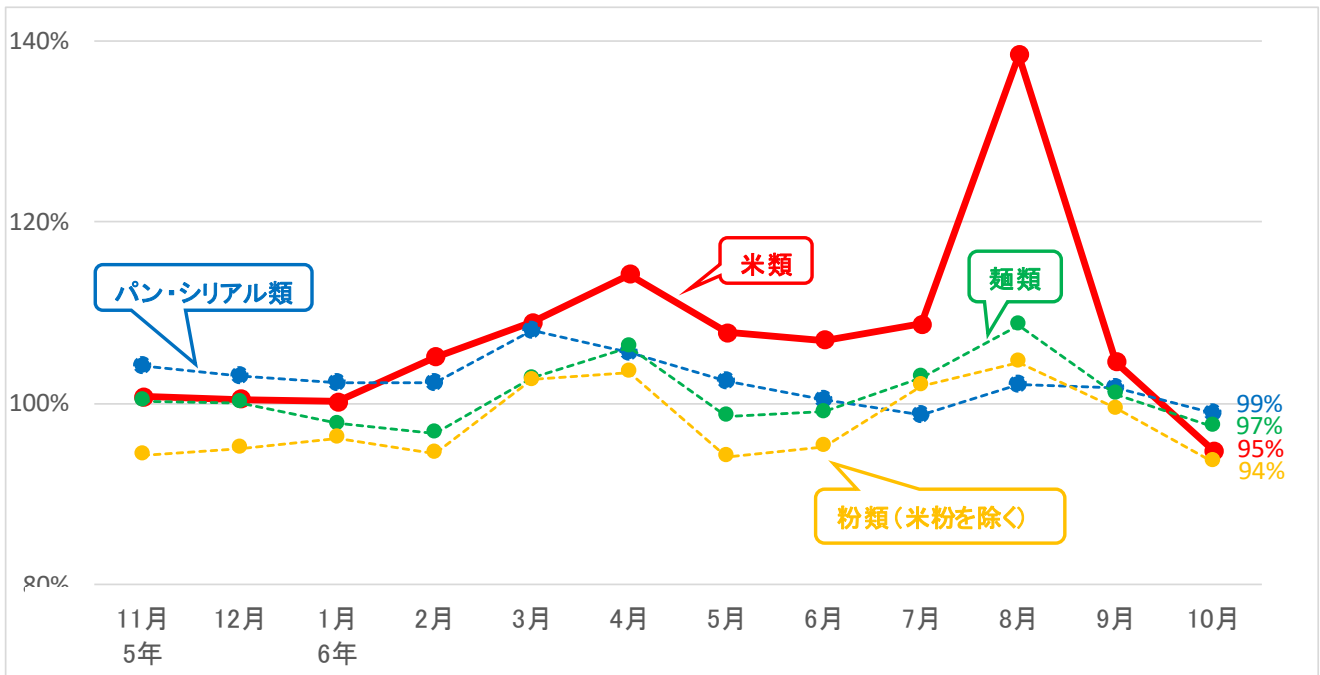
資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

## 【POSデータ 分類別販売個数 対前年同期比】



資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：POSデータの販売個数は、商品容量にかかわらず販売された商品の個数を単純にカウントしたものであることに留意が必要である。

## POSデータ 分類別販売個数 対前年同期比

分類コード	分類名	主な 分類基準	5年 11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
米類			100%	100%	105%	109%	114%	108%	107%	109%	108%	138%	105%	95%	
	米	精米、玄米、もち米	109%	109%	109%	110%	117%	112%	117%	125%	114%	145%	94%	89%	
	包装餅	切り餅、板餅	97%	99%	101%	103%	113%	99%	102%	98%	104%	140%	116%	92%	
	米飯加工品			99%	98%	107%	111%	114%	106%	102%	100%	102%	147%	105%	91%
	かゆ・雑炊	主にレトルトパウチ等で販売されるお かゆ、雑炊、リゾット		97%	95%	111%	125%	128%	116%	106%	100%	96%	122%	92%	87%
	無菌パック米飯	無菌パック(お米を加熱調理後に無菌 包装したもの)で販売される白飯、赤 飯、玄米、麦ごはん		103%	99%	105%	109%	106%	104%	102%	98%	101%	147%	101%	90%
	レトルト米飯	レトルト米飯(お米を容器に入れてから 炊飯したもの)で販売される白飯、赤 飯、玄米、麦ごはん		93%	96%	103%	101%	119%	100%	101%	106%	114%	177%	131%	98%
	冷凍米飯加工品			98%	101%	102%	107%	109%	107%	105%	105%	104%	120%	106%	102%
	冷凍ピラフ、炒飯	炒飯、焼めし、ピラフ、チキンライス、 ドライカレー などの米飯群		93%	100%	101%	108%	107%	105%	102%	103%	100%	117%	100%	92%
	冷凍おにぎり	おにぎり、焼きおにぎり		104%	95%	95%	95%	104%	98%	103%	96%	99%	115%	107%	103%
	その他冷凍米飯	白飯、赤飯、おこわ、炊き込みご 飯、オムライス、カレーライス		87%	94%	92%	110%	110%	115%	103%	107%	118%	127%	122%	126%
	惣菜			95%	97%	91%	88%	98%	99%	108%	108%	131%	117%	112%	113%
	おにぎり	おにぎり、おにぎりセット、おにぎり とおかずがセットになった弁当		97%	98%	91%	91%	107%	106%	118%	111%	128%	119%	117%	110%
	寿司	にぎり、いなり、ちらし、助六寿司、 細巻き、太巻き、恵方巻き		111%	113%	93%	98%	94%	96%	104%	116%	124%	113%	110%	115%
	弁当	幕の内、唐揚げ弁当、のり弁当、駅 弁、オムライス、炒飯		79%	87%	87%	68%	81%	85%	86%	95%	132%	116%	105%	127%
パン・シリアル類			103%	102%	102%	108%	106%	102%	100%	99%	99%	102%	102%	99%	
食パン	食パン、クロワッサン、 フランスパン		104%	104%	104%	106%	105%	101%	100%	97%	97%	101%	100%	97%	
菓子パン	果物、チョコレート、 クリーム・ジャムを使用したパン		101%	100%	101%	107%	105%	101%	99%	98%	98%	100%	100%	99%	
調理パン	サンドウィッチ、カレーパン、 ホットドック		106%	103%	102%	113%	108%	108%	105%	102%	107%	108%	109%	102%	
シリアル類	グラノーラ、コーンフレーク		105%	104%	110%	119%	110%	109%	108%	111%	106%	114%	112%	112%	
麺類			100%	98%	97%	103%	106%	99%	99%	103%	100%	109%	101%	97%	
インスタント 袋麺	袋入りのインスタントラーメン、 そば、うどん		104%	101%	96%	104%	108%	94%	99%	105%	101%	110%	98%	96%	
カップ麺	ラーメン、そば、 うどん等の即席麺		100%	97%	98%	103%	106%	97%	97%	104%	102%	114%	100%	99%	
生麺・ゆで麺	生麺、ゆでうどん、 中華そば・焼きそば		99%	98%	95%	101%	104%	101%	99%	100%	97%	103%	101%	96%	
スパゲッティ	乾スパゲッティ、 ゆでスパゲッティ		106%	104%	103%	107%	116%	105%	106%	104%	100%	119%	107%	98%	
冷凍麺	冷凍パスタ、 そば、うどんなどの麺類		99%	97%	98%	104%	109%	101%	103%	104%	102%	106%	103%	98%	
粉類(米粉を除く)			95%	96%	94%	103%	103%	94%	95%	102%	98%	105%	99%	94%	
小麦粉	強力粉、薄力粉、中力粉		97%	99%	98%	108%	106%	97%	101%	105%	98%	107%	102%	98%	
パン粉	パン粉、生パン粉		92%	94%	90%	98%	101%	95%	94%	99%	99%	104%	100%	96%	
プレミックス	加糖ミックス(ホットケーキなどの 素)、お好み焼き粉、たこ焼き粉		96%	96%	96%	103%	104%	92%	92%	102%	97%	104%	97%	89%	
(参考)	味噌	ルータイプの味噌、 出し入り味噌	97%	96%	95%	104%	104%	98%	99%	100%	95%	97%	98%	95%	
	米粉	白玉粉、上新粉、だんご粉	114%	101%	109%	119%	113%	111%	110%	113%	110%	105%	109%	109%	
	米菓	煎餅、あられ、おかき	103%	102%	106%	109%	112%	101%	104%	101%	102%	105%	100%	97%	
	清酒		100%	99%	98%	103%	106%	98%	99%	98%	96%	100%	97%	94%	
	焼酎乙類		98%	93%	94%	98%	101%	98%	97%	98%	95%	100%	97%	95%	

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：POSデータの販売個数は、商品容量にかかわらず販売された商品の個数を単純にカウントしたものであることに留意が必要である。

# 5 輸出入の動向

## 1 コメ・コメ加工品の輸出実績

### (1) コメ・コメ加工品の輸出実績の推移

2024年1～9月のコメ・コメ加工品の輸出額は448億円（対前年同期比+8%）となった。うちコメの輸出実績は対前年同期比+27%の84億円、米菓は+10%の46億円、日本酒は+2%の307億円、パックご飯等は+52%の10億円、米粉及び米粉製品は+68%の0.9億円。

品目名		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		(参考) 主な輸出先国・地域
						1～9月	対前年同期比	
コメ・コメ加工品	数量 (原料米換算)	36,569トン	45,959トン	53,931トン	58,473トン	48,356トン	+16%	アメリカ 中国 香港 台湾 韓国
	金額	347億円	524億円	613億円	577億円	448億円	+8%	
コメ (援助米を除く)	数量	19,781トン	22,833トン	28,928トン	37,186トン	31,861トン	+22%	香港 アメリカ シンガポール 台湾 カナダ
	金額	53億円	59億円	74億円	94億円	84億円	+27%	
米菓 (あられ・せんべい)	数量	4,222トン	5,141トン	4,523トン	4,565トン	3,333トン	+3%	アメリカ 台湾 香港 韓国 シンガポール
	原料米換算	3,589トン	4,370トン	3,845トン	3,880トン	2,833トン	+3%	
	金額	45億円	56億円	55億円	61億円	46億円	+10%	
日本酒 (清酒)	数量	21,761 キロリットル	32,052 キロリットル	35,894 キロリットル	29,196 キロリットル	22,502 キロリットル	+5%	アメリカ 中国 香港 韓国 台湾
	原料米換算	12,257トン	18,054トン	20,218トン	16,445トン	12,675トン	+5%	
	金額	241億円	402億円	475億円	411億円	307億円	+2%	
パックご飯等	数量	1,205トン	1,129トン	1,384トン	1,593トン	1,658トン	+52%	アメリカ 台湾 香港 オーストラリア シンガポール
	原料米換算	634トン	594トン	727トン	837トン	871トン	+52%	
	金額	7億円	6億円	8億円	10億円	10億円	+52%	
米粉及び米粉製品 (米粉麺等)	数量	249トン	88トン	173トン	101トン	94トン	+58%	アメリカ タイ ドイツ ロシア 台湾
	原料米換算	308トン	108トン	213トン	125トン	116トン	+58%	
	金額	0.7億円	0.6億円	1.0億円	0.8億円	0.9億円	+68%	
コメ・パックご飯・米粉 及び米粉製品	数量 (原料米換算)	20,723トン	23,535トン	29,868トン	38,148トン	32,848トン	+22%	香港 アメリカ シンガポール 台湾 カナダ
	金額	60億円	66億円	83億円	105億円	95億円	+29%	

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：米粉麺等は2020年より貿易統計にて輸出実績を集計・公表。

注2：米粉及び米粉製品のうち米粉製品の原料米換算は米粉100%として推計。

注3：「(参考) 主な輸出先国・地域」は2024年1～9月の金額上位5か国・地域を記載。



## (2) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移

2024年1～9月の商業用の米の輸出は、輸出数量が31,861トン（対前年同期比+22%）、輸出額が84億円（対前年同期比+27%）と、数量・金額ともに増加。

	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年 (1～9月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	17,381 (+26%)	4,620 (+23%)	19,781 (+14%)	5,315 (+15%)	22,833 (+15%)	5,933 (+12%)	28,928 (+27%)	7,382 (+24%)	37,186 (+29%)	9,411 (+27%)	31,861 (+22%)	8,370 (+27%)
香港	5,436	1,372	6,978	1,796	8,938	2,118	9,880	2,344	11,301	2,630	9,439 (+13%)	2,276 (+17%)
アメリカ	1,980	543	1,989	565	2,244	625	4,459	1,169	6,883	1,768	6,055 (+30%)	1,690 (+42%)
シンガポール	3,879	802	3,696	785	4,972	1,025	5,742	1,201	5,593	1,153	4,668 (+20%)	985 (+23%)
台湾	1,262	411	2,004	622	1,907	575	2,532	716	3,116	877	2,482 (+19%)	694 (+18%)
カナダ	158	51	205	62	210	69	382	104	1,629	394	1,653 (+69%)	410 (+69%)
オーストラリア	770	233	1,074	334	893	283	1,245	390	1,204	386	918 (+8%)	301 (+11%)
タイ	578	145	555	145	625	162	1,045	256	1,299	307	1,207 (+25%)	309 (+37%)
イギリス	450	131	451	131	332	104	526	162	587	193	651 (+70%)	217 (+78%)
ドイツ	140	52	144	58	185	68	239	81	582	186	672 (+72%)	204 (+63%)
中国	1,007	363	1,002	321	575	219	764	262	526	170	102 (-72%)	37 (-68%)
フランス	93	40	112	49	173	72	237	93	395	135	355 (+18%)	126 (+25%)
スペイン	31	12	7	4	13	10	87	28	544	135	496 (+39%)	131 (+47%)
アラブ首長国連邦	55	23	58	25	96	45	130	49	389	116	334 (+21%)	124 (+54%)
フィリピン	11	4	26	8	59	20	84	33	396	113	408 (+19%)	117 (+23%)
ロシア	174	64	199	72	227	79	151	58	254	93	130 (-37%)	40 (-49%)
オランダ	102	30	110	40	92	33	93	31	293	85	330 (+50%)	97 (+64%)
イスラエル	—	—	2	2	13	8	43	17	252	82	232 (+48%)	76 (+40%)
スイス	11	7	24	14	57	27	60	28	243	76	123 (-43%)	56 (-5%)
ベトナム	213	65	159	46	167	48	219	54	296	74	217 (+15%)	58 (+24%)
マレーシア	234	59	185	46	146	43	227	64	209	64	130 (-21%)	43 (-11%)
その他	797	213	801	191	909	300	783	241	1,195	375	1,259	381
(参考)EU ※	1,050	326	629	219	757	272	957	317	2,253	672	2,322 (+44%)	708 (+49%)

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：2023年1～12月の輸出金額上位国・地域を記載。

注2：（ ）内は対前年同期増減率である。

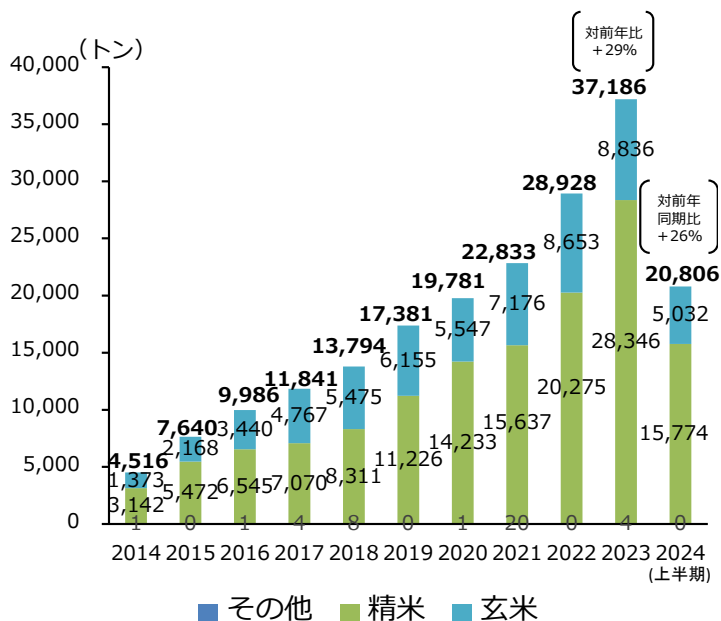
注3：「—」は貿易統計上、実績が計上されていないことを示す。

※：2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

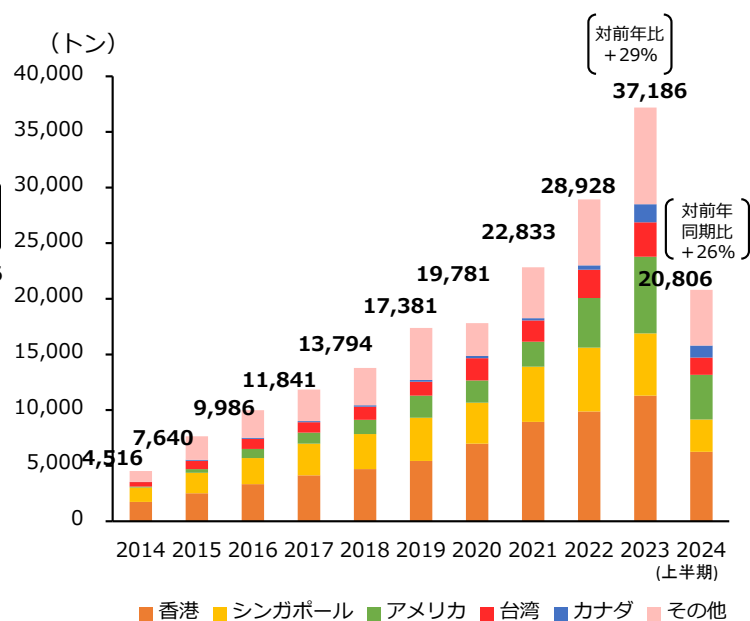
### (3) 2024年上半期のコメの輸出実績の主な増加要因

- ・ 2024年上半期のコメ（精米・玄米・粳・碎米）の輸出数量は20,806トン（対前年同期比+26%）、輸出額は55億円（対前年比同期比+33%）。

#### ① 商業用の米の玄米・精米別輸出量の推移



#### ② 商業用の米の主な国・地域別輸出量の推移



**香港** 📈 6,253トン（対前年同期比+24%） 1,509百万円（対前年同期比+28%）

**アメリカ** 📈 4,013トン（対前年同期比+33%） 1,142百万円（対前年同期比+46%）

**シンガポール** 📈 2,903トン（対前年同期比+17%） 617百万円（対前年同期比+22%）

**カナダ** 📈 1,072トン（対前年同期比+61%） 273百万円（対前年同期比+64%）

- ・ 外食向けの需要増加等により、輸出が大きく増加。

#### (4) 米菓の輸出数量及び金額の推移

2024年1～9月の米菓の輸出は、輸出数量が3,333トン（対前年同期比+3%）、輸出額が46億円（対前年同期比+10%）と、数量・金額ともに増加。

	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年 (1～9月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	4,033 (-0%)	4,306 (-3%)	4,222 (+5%)	4,531 (+5%)	5,141 (+22%)	5,637 (+24%)	4,523 (-12%)	5,503 (-2%)	4,565 (+1%)	6,098 (+11%)	3,333 (+3%)	4,617 (+10%)
アメリカ	1,100	1,122	1,134	1,145	1,411	1,459	1,274	1,538	1,294	1,634	1,003 (+11%)	1,356 (+21%)
台湾	854	894	989	1,057	1,123	1,248	945	1,150	941	1,242	708 (+9%)	1,017 (+26%)
香港	603	724	629	749	718	863	548	718	656	945	393 (-20%)	565 (-18%)
韓国	119	156	65	77	95	118	141	192	211	309	159 (+11%)	236 (+13%)
シンガポール	209	243	227	267	233	281	193	283	174	292	109 (-8%)	196 (+3%)
サウジアラビア	258	161	335	215	380	252	462	360	273	263	183 (+14%)	185 (+32%)
ベトナム	75	155	90	195	93	210	95	218	83	208	68 (+13%)	181 (+22%)
中国	87	160	76	139	220	315	112	186	86	163	13 (-84%)	24 (-83%)
オーストラリア	127	111	108	96	135	118	160	132	146	140	90 (-20%)	89 (-11%)
タイ	62	83	80	104	96	121	95	127	95	134	77 (+7%)	112 (+8%)
オランダ	58	61	68	73	93	114	65	94	83	119	58 (-17%)	79 (-20%)
マレーシア	39	41	53	56	89	101	66	76	75	98	54 (-1%)	74 (+6%)
カナダ	35	42	35	41	40	52	38	51	60	90	59 (+30%)	85 (+24%)
ブラジル	40	41	26	27	24	24	28	30	40	49	26 (-5%)	30 (-9%)
ブルガリア	149	40	102	25	144	33	76	22	106	38	144 (+111%)	56 (+141%)
フィリピン	27	27	26	27	33	33	20	26	31	38	24 (+3%)	37 (+40%)
イギリス	21	32	21	34	13	20	14	19	19	35	24 (+80%)	46 (+94%)
グアム	19	24	21	27	22	34	19	30	19	35	32 (+136%)	57 (+135%)
アラブ首長国連邦	16	23	9	14	9	13	35	43	19	31	8 (-23%)	14 (-28%)
北マリアナ諸島	19	25	18	25	25	37	19	32	15	30	12 (+4%)	23 (+7%)
その他	117	142	112	140	145	190	118	177	138	205	93	156
(参考)EU ※	267	183	209	148	271	199	174	175	219	212	230 (+42%)	188 (+14%)

資料：財務省「貿易統計」  
注1：2023年1～12月の輸出金額上位国・地域を記載。  
注2：( )内は対前年同期増減率である。  
※2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

## (5) 日本酒（清酒）の輸出数量及び金額の推移

2024年1～9月の日本酒の輸出は、輸出数量が22,502キロリットル（対前年同期比+5%）、輸出額が307億円（対前年同期比+2%）と、数量・金額ともに増加。

	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年 (1～9月)	
	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円
輸出合計	24,928 (-3%)	23,412 (+5%)	21,761 (-13%)	24,141 (+3%)	32,052 (+47%)	40,178 (+66%)	35,894 (+12%)	47,489 (+18%)	29,196 (-19%)	41,082 (-13%)	22,502 (+5%)	30,702 (+2%)
中国	5,145	5,001	4,772	5,792	7,268	10,279	7,388	14,161	5,794	12,465	3,448 (-26%)	7,438 (-21%)
アメリカ	6,452	6,757	5,270	5,070	8,826	9,591	9,084	10,930	6,502	9,091	6,127 (+30%)	8,665 (+33%)
香港	1,926	3,943	2,629	6,178	3,243	9,308	2,717	7,116	2,328	6,024	1,460 (-18%)	3,540 (-23%)
韓国	2,912	1,360	1,535	979	2,418	1,503	4,054	2,523	4,192	2,905	3,548 (+16%)	2,769 (+33%)
台湾	2,246	1,359	2,273	1,430	2,648	1,726	3,076	2,222	3,104	2,677	2,066 (+2%)	1,870 (+1%)
シンガポール	609	857	688	1,113	919	1,802	917	2,326	698	1,510	521 (-2%)	1,079 (-5%)
カナダ	715	548	549	429	750	676	1,005	1,163	671	755	677 (+41%)	735 (+45%)
オーストラリア	483	439	525	491	747	730	806	932	532	645	485 (+31%)	566 (+25%)
イギリス	352	373	220	215	397	444	484	607	402	544	320 (+14%)	472 (+23%)
フランス	270	285	222	213	438	490	427	524	370	488	344 (+16%)	438 (+9%)
ベトナム	437	376	342	279	328	298	693	706	388	453	205 (+4%)	247 (+8%)
マレーシア	253	242	309	278	334	334	582	626	312	381	280 (+30%)	293 (+15%)
タイ	627	276	498	225	457	212	681	427	619	380	447 (-1%)	295 (+6%)
ドイツ	477	242	402	207	623	318	664	358	607	321	502 (+16%)	302 (+32%)
オランダ	247	142	288	178	460	273	484	341	323	318	338 (+37%)	278 (+19%)
マカオ	39	156	44	179	111	563	93	318	75	254	36 (-43%)	111 (-52%)
イタリア	339	129	242	89	391	163	494	198	429	229	278 (-20%)	193 (-0%)
ブラジル	248	119	146	76	272	152	344	178	329	189	178 (-36%)	122 (-24%)
スペイン	130	75	81	49	195	154	263	163	218	170	204 (+20%)	169 (+29%)
フィリピン	114	71	56	52	68	81	119	140	113	123	96 (+52%)	120 (+56%)
その他	904	664	670	619	1,158	1,081	1,517	1,532	1,192	1,161	942	1,000
(参考)EU ※	2,023	1,421	1,447	915	2,330	1,592	2,712	1,944	2,239	1,798	1,897 (+10%)	1,609 (+15%)

資料：財務省「貿易統計」

注1：2023年1～12月の輸出金額上位国・地域を記載。

注2：( )内は対前年同期増減率である。

※2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

## (6) 包装米飯（パックご飯）等の輸出数量及び金額の推移

2024年1～9月の包装米飯等の輸出は、輸出数量が1,658トン（対前年同期比+52%）、輸出額が10億円（対前年同期比+52%）と、数量・金額ともに増加。

	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年 (1～9月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	1,018 (+10%)	513 (+8%)	1,205 (+18%)	658 (+28%)	1,129 (-6%)	593 (-10%)	1,384 (+23%)	790 (+33%)	1,593 (+15%)	996 (+26%)	1,658 (+52%)	1,018 (+52%)
アメリカ	442	167	447	169	454	177	545	255	635	341	860 (+105%)	440 (+100%)
香港	130	77	261	170	215	126	312	178	280	175	201 (+6%)	116 (+1%)
台湾	105	56	145	88	123	99	127	115	202	169	163 (+15%)	125 (-0%)
韓国	31	17	20	11	52	25	106	48	111	56	73 (-1%)	37 (-2%)
シンガポール	21	17	43	24	48	26	61	36	97	52	75 (+26%)	49 (+65%)
ミャンマー	0	0	2	4	—	—	3	9	37	42	11 (-63%)	27 (+20%)
タイ	63	27	75	34	83	39	57	26	69	32	55 (+21%)	27 (+27%)
カナダ	6	3	5	2	7	3	10	6	27	22	12 (-50%)	8 (-61%)
ベトナム	82	79	66	69	47	36	49	43	23	20	10 (-44%)	10 (-43%)
フィリピン	4	4	3	3	2	2	5	7	11	10	3 (-52%)	5 (-31%)
イギリス	9	4	10	5	8	4	5	4	13	10	5 (-47%)	4 (-49%)
中国	96	42	68	43	44	27	55	29	16	10	8 (-18%)	5 (-28%)
マレーシア	1	1	8	5	4	3	5	3	19	9	12 (-15%)	7 (-0%)
インドネシア	5	4	10	6	12	7	9	6	14	9	8 (-38%)	7 (-17%)
オランダ	4	3	4	5	1	2	4	7	5	9	6 (+85%)	10 (+107%)
フランス	3	2	5	2	7	3	10	2	7	5	3 (-55%)	1 (-69%)
ジブチ	—	—	—	—	0	0	—	—	4	4	— (-100%)	— (-100%)
オーストラリア	3	2	20	9	4	2	5	3	4	3	101 (+2,912%)	106 (+4,035%)
スウェーデン	—	—	—	—	—	—	—	—	1	3	0 (-74%)	0 (-90%)
ドイツ	0	1	0	1	2	3	4	3	1	2	3 (+310%)	4 (+133%)
その他	12	9	15	9	18	10	11	9	16	12	46	32
(参考)EU ※	17	11	14	9	13	8	21	15	16	20	16 (+18%)	18 (+17%)

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：2023年1～12月の輸出金額上位国・地域を記載。

注2：包装米飯、その他加工米飯のほか、加熱またはその他の調製をした調製食料品のうち米のものを集計。（2017年1月から単独のコードとして独立。）

注3：（ ）内は対前年同期増減率である。

注4：「—」は貿易統計上、実績が計上されていないことを示す。

注5：数量0.5トン未満の場合は、数量の欄が「0」と表記されている。

注6：金額0.5百万円未満の場合は、金額の欄が「0」と表記されている。

※2020年1月以前はイギリス分が含まれている。



## (7) 米粉の輸出数量及び金額の推移

2024年1～9月の米粉の輸出は、輸出数量が68トン（対前年同期比+70%）、輸出額が55百万円（対前年同期比+74%）と、数量・金額ともに増加。

	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年 (1～9月)	
	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)
輸出全体	118	32.8	226 (+92%)	48.4 (+48%)	72 (-68%)	36.8 (-24%)	144 (+100%)	67.9 (+85%)	76 (-47%)	49.6 (-27%)	68 (+70%)	55.0 (+74%)
タイ	24	9.5	28	10.6	41	15.9	40	16.6	27	14.5	40 (+186%)	19.8 (+153%)
アメリカ	68	11.5	184	29.4	0	2.3	34	13.0	20	8.7	2 (注4)	6.6 (+206%)
台湾	1	2.2	0	1.8	2	4.4	5	8.2	3	6.7	4 (+33%)	7.2 (+12%)
シンガポール	1	0.6	0	0.3	0	1.4	2	3.9	5	6.1	3 (-25%)	3.5 (-30%)
ドイツ	11	3.4	—	—	6	2.7	42	15.9	14	4.4	10 (-29%)	3.5 (-22%)
フランス	—	—	0	0.4	0	0.8	1	4.9	0	3.0	0 (注4)	3.8 (+89%)
香港	1	0.8	0	0.3	2	1.1	2	1.7	3	2.0	0 (-100%)	0.3 (-78%)
ロシア	0	0.6	8	3.3	2	1.6	2	1.0	2	1.4	8 (+700%)	7.2 (+789%)
マレーシア	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1.0	0 (-100%)	0.2 (-76%)
メキシコ	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0.7	— (注5)	— (注5)
アラブ首長国連邦	—	—	—	—	1	0.2	0	0.3	0	0.5	— (注4)	— (-100%)
ベトナム	0	0.3	—	—	—	—	—	—	0	0.3	— (注4)	— (-100%)
ナイジェリア	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0.2	— (注4)	— (-100%)
オランダ	11	3.1	6	2.3	18	6.4	8	0.9	—	—	0 (注5)	0.2 (注5)
スウェーデン	—	—	—	—	—	—	8	1.2	—	—	— (注5)	— (注5)
オーストラリア	—	—	—	—	—	—	0	0.2	—	—	1 (注5)	1.6 (注5)
カナダ	—	—	—	—	—	—	0	0.2	—	—	0 (注5)	0.2 (注5)
スペイン	1	0.7	—	—	—	—	—	—	—	—	— (注5)	— (注5)
エストニア	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0 (注5)	0.6 (注5)
フィリピン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0 (注5)	0.5 (注5)
(参考)EU ※	23	7.2	6	2.7	24	9.9	59	22.9	14	7.5	10 (-29%)	8.1 (+25%)

資料：財務省「貿易統計」

注1：( )内は対前年同期増減率である。

注2：「—」は貿易統計上、実績が計上されていないことを示す。

注3：数量1トン未満の場合は、数量の欄が「0」と表記されている。

注4：対前年同期比を記載していないのは、貿易統計上2023年1～9月の数量が1トン未満であるため。

注5：対前年同期比を記載していないのは、貿易統計上2023年1～9月の輸出実績が計上されていないため。

※2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

## (8) 米粉麺等の輸出数量及び金額の推移

2024年1～9月の米粉麺等の輸出は、輸出数量が26トン（対前年同期比+32%）、輸出額が31百万円（対前年同期比+57%）と、数量・金額ともに増加。

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年 (1～9月)	
	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)
輸出全体	23.2	24.1	15.8 (-32%)	19.2 (-20%)	28.9 (+83%)	30.3 (+58%)	25.4 (-12%)	27.9 (-8%)	25.8 (+32%)	31.1 (+57%)
アメリカ	10.6	11.8	5.9	9.1	11.9	14.8	13.3	16.1	12.2 (+23%)	18.1 (+59%)
ドイツ	—	—	—	—	8.4	5.8	3.8	2.6	5.8 (+50%)	3.7 (+42%)
サウジアラビア	0.7	0.9	—	—	—	—	1.0	1.9	1.1 (+20%)	1.8 (+13%)
ミャンマー	—	—	—	—	—	—	0.5	1.0	— (注3)	— (注3)
イタリア	2.4	2.2	2.7	2.5	3.2	2.9	1.0	0.9	3.6 (+932%)	3.8 (+1,054%)
香港	5.6	5.3	2.0	2.0	0.7	0.6	1.1	0.8	0.2 (-83%)	0.2 (-64%)
カナダ	0.3	0.3	0.2	0.3	1.0	1.3	0.7	0.8	— (-100%)	— (-100%)
シンガポール	0.6	0.5	—	—	—	—	1.0	0.7	— (-100%)	— (-100%)
オランダ	0.8	0.9	2.3	2.3	0.5	0.6	0.7	0.7	0.8 (+196%)	0.7 (+126%)
スペイン	2.1	2.0	1.7	1.5	0.6	0.6	0.6	0.7	— (-100%)	— (-100%)
スロベニア	—	—	—	—	—	—	0.6	0.6	— (-100%)	— (-100%)
オーストラリア	0.2	0.2	0.3	0.5	0.8	0.9	0.4	0.5	0.2 (-57%)	0.2 (-59%)
ポルトガル	—	—	—	—	—	—	0.4	0.5	— (-100%)	— (-100%)
インドネシア	—	—	—	—	—	—	0.2	0.3	0.2 (注3)	0.3 (注3)
中国	—	—	0.3	0.6	0.7	1.2	—	—	— (注3)	— (注3)
イスラエル	—	—	—	—	0.5	0.7	—	—	— (注3)	— (注3)
ニュージーランド	—	—	—	—	0.2	0.3	—	—	— (注3)	— (注3)
台湾	—	—	0.3	0.2	0.2	0.3	—	—	— (注3)	— (注3)
スイス	—	—	—	—	0.2	0.2	—	—	— (注3)	— (注3)
タイ	—	—	0.2	0.2	—	—	—	—	— (注3)	— (注3)
アラブ首長国連邦	—	—	—	—	—	—	—	—	0.2 (注3)	0.5 (注3)
スウェーデン	—	—	—	—	—	—	—	—	0.3 (注3)	0.4 (注3)
オーストリア	—	—	—	—	—	—	—	—	1.3 (注3)	1.3 (注3)

資料：財務省「貿易統計」

注1：( )内は対前年同期増減率である。

注2：「—」は貿易統計上、実績が計上されていないことを示す。

注3：対前年同期比を記載していないのは、貿易統計上2023年1～9月の輸出実績が計上されていないため。

## 2 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

(輸出拡大実行戦略のうちコメ・パックご飯・米粉及び米粉製品の輸出目標等)



### 1. 国別輸出額目標

国名	2019年実績	2025年目標	国別のニーズ・規制に対応するための課題・方策
合計	52億円	125億円	
香港	15億円	36億円	<ul style="list-style-type: none"><li>・輸出事業者が日系中食・外食を中心に需要を開拓しており、今後もレストランチェーンやおにぎり店等をメインターゲットとした需要開拓を図る</li><li>・現地系小売やレストランチェーンの深掘りにより、更なる市場開拓を図る</li></ul>
アメリカ	7億円	30億円	<ul style="list-style-type: none"><li>・西海岸・東海岸では輸出事業者が日系小売店需要を開拓。今後は日本食レストラン、おにぎり店等や現地系、EC等の小売需要を開拓。現時点では進出がないが、人口が増加しており、日本食レストランの大幅な増加も期待される中部では、新たな市場として需要開拓を図る</li><li>・パックご飯や米粉の主要な輸出先国であり、更なる市場開拓を図る</li></ul>
中国	4億円	19億円	<ul style="list-style-type: none"><li>・大手米卸等が日系外食店やEC、ギフトボックス等の贈答用に対応しており、更なる開拓を図る</li><li>・コスト縮減のためには指定精米工場等の活用に加えて工場等の追加や輸入規制の緩和が不可欠</li></ul>
シンガポール	8億円	16億円	<ul style="list-style-type: none"><li>・輸出事業者が日系中食・外食を中心に需要を開拓。更にレストランチェーンやおにぎり店等をメインターゲットとした需要開拓を図る</li><li>・現地系小売やレストランチェーンの深掘りにより、更なる市場開拓を図る</li></ul>
台湾	5億円	9億円	<ul style="list-style-type: none"><li>・輸出事業者が日系中食・外食を中心に需要を開拓</li><li>・現地でジャポニカ米が生産されていることから、日本食レストランでの日本産米採用による他店舗との差別化により需要開拓を図る</li></ul>
その他	13億円	14億円	<ul style="list-style-type: none"><li>・UAEや欧州、カナダ等のコメを主食としない地域では、寿司等の日本食需要拡大に合わせて日本産米の需要開拓を図る</li><li>・EU、英国を中心に拡大するグルテンフリー需要の取り込みを通じた米粉・米粉製品の需要開拓を図る</li></ul>

## 2. 輸出産地の育成・展開

### <輸出産地数>

- ・ 30～40産地  
(先進的なJA等をモデル産地として、千トン超の輸出用米の生産に取り組む産地を育成する)

### <今後育成すべき国内産地>

- ・ 国際競争力を有するコメの生産と農家手取り収入の確保の両立を図ることで、大ロットで輸出用米を生産・供給する産地

### <生産基盤の強化やロットの拡大、産地間連携の実現に向けた方策>

- ・ 輸出事業者と産地が連携して取り組む、多収米の導入や作期分散等の生産・流通コスト低減の取組の支援により、輸出用米の生産拡大（主食用米からの作付転換）を推進
- ・ 都道府県やJAグループとの連携などにより、更なる輸出産地の強化や掘り起こしを推進

## 3. 加工・流通施設の整備

- ・ パックご飯メーカーや米粉・米粉製品メーカーが輸出に取り組んでいるが、輸出先国・地域の規制等への対応が必要になるケースがあることから、当該規制等対応のための取組や輸出向け生産に必要な機械・設備の導入等を支援
- ・ 国内流通も含め、低コスト化や作業効率の改善につながる産地から精米工場への推奨フレコンによる出荷や鉄道へのモーダルシフトを推進

## 4. 品目別団体を中心とした販路開拓

- ・ (一社)全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会(全米輸)が策定した「中期計画」に基づく、主要輸出先国・地域での新たな購買層の深掘りや輸出事業者の進出が不十分な国・地域(UAE・欧州等)での市場開拓のための、輸出先国・地域のマーケット情報の収集・発信、プロモーション活動を実施。実施に際しては、他の品目団体や輸出支援プラットフォームとも連携。プロモーションの財源には、国庫補助金のほか会費収入も一部活用
- ・ 日本産米に対する理解を進めるため、輸出支援プラットフォームとも連携して、消費者と事業者に対し、日本産米の多様性や特徴をPRするなど、マーケットに応じた訴求を図る

### <戦略的サプライチェーンの構築>

- ・ 国別地域別の特色を踏まえたマーケティング戦略の下での現地商流を構築するため、現地エージェントによる現地系スーパー・レストランの販路開拓
- ・ 輸出先国の需要に対応するため、輸出事業者や産地が連携して輸出用米を生産・調整する体制を構築

### 3 MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

輸入米の入札情報については、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米（稲）・麦・大豆」、品目別分類「輸入米麦入札関連資料」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html> 】

（単位：千玄米トン）

	米 国	タイ	中 国	オーストラリア	その他	合 計	うち	
							一般輸入	SBS輸入※
平成7年度	194	107	32	87	5	426	415	11
平成8年度	233	144	40	87	6	511	488	22
平成9年度	290	151	46	95	13	596	537	55
平成10年度	313	152	78	109	29	681	551	120
平成11年度	339	159	86	115	24	724	591	120
平成12年度	356	168	99	120	24	767	632	120
平成13年度	364	146	136	110	11	767	655	100
平成14年度	361	153	112	96	44	767	710	50
平成15年度	355	153	110	90	51	759	647	100
平成16年度	361	185	98	20	103	767	661	94
平成17年度	362	186	84	19	116	767	655	100
平成18年度	358	179	76	52	102	767	654	100
平成19年度	358	243	82	-	13	696	585	100
平成20年度	430	261	72	-	6	769	658	100
平成21年度	358	332	71	-	5	767	655	100
平成22年度	356	345	19	40	6	767	725	37
平成23年度	358	241	56	71	40	767	658	100
平成24年度	362	281	46	64	13	767	656	100
平成25年度	359	351	1	41	15	767	700	61
平成26年度	359	332	55	14	6	767	754	12
平成27年度	359	344	56	1	6	767	734	29
平成28年度	376	375	3	7	7	767	685	73
平成29年度	365	264	56	74	8	767	655	100
平成30年度	359	316	69	14	8	767	701	59
令和元年度	360	306	83	0	17	767	681	77
令和2年度	360	322	70	-	15	767	699	60
令和3年度	345	314	69	27	12	767	743	21
令和4年度	236	398	81	40	11	767	751	14
令和5年度	348	333	28	41	16	767	693	66
令和6年度 (11/1現在)	141	116	14	20	7	298	242	50

資料： 農林水産省「米をめぐる関係資料」

※SBS輸入数量の単位は千実トン。

注：1 各年度の輸入契約数量の推移。

2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しないことがある。

3 千実トンと千玄米トンのため合計は一致しないことがある。

（参考）MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1～0.2千トン程度



#### 4 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合せ結果（令和6年度）

（単位：実トン）

令和6年度(うるち)		令和5年度(うるち)	
令和6年4～6月分（長期契約）	31,350	令和5年4～6月分（長期契約）	12,448
4月分（月別契約）	290	4月分（月別契約）	310
5月分（月別契約）	3,225	5月分（月別契約）	384
6月分（月別契約）	3,543	6月分（月別契約）	560
令和6年4～6月小計	38,408	令和5年4～6月小計	13,702
7～9月分（長期契約）	26,446	7～9月分（長期契約）	16,008
7月分（月別契約）	351	7月分（月別契約）	161
8月分（月別契約）	577	8月分（月別契約）	339
9月分（月別契約）	1,029	9月分（月別契約）	978
令和6年7～9月小計	28,403	令和5年7～9月小計	17,486
10～12月分（長期契約）		10～12月分（長期契約）	17,526
10月分（月別契約）		10月分（月別契約）	448
11月分（月別契約）		11月分（月別契約）	383
12月分（月別契約）		12月分（月別契約）	1,354
令和6年10～12月小計		令和5年10～12月小計	19,711
令和7年1～3月分（長期契約）		令和6年1～3月分（長期契約）	29,745
1月分（月別契約）		1月分（月別契約）	339
2月分（月別契約）		2月分（月別契約）	243
3月分（月別契約）		3月分（月別契約）	1,694
令和7年1～3月小計		令和6年1～3月小計	32,021
令和6年度うるち合計	66,811	令和5年度うるち合計	82,920

令和6年度(もち)		令和5年度(もち)	
令和6年4～7月分	2,400	令和5年4～7月分	2,117
8～11月分		8～11月分	2,673
令和6年12～令和7年3月分		令和5年12～令和6年3月分	1,877
令和6年度もち合計	2,400	令和5年度もち合計	6,667

※うるち見積合せ結果のうち以下は契約解除

- ・ 4月分（月別契約）290トンのうち5トン
- ・ 7～9月分（長期契約）26,446トンのうち25トン

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合せ結果の概要について」

## 5 SBS輸入米の見積合せ結果（令和6年度）

（単位：実トン）

		アメリカ		タイ		中国		オーストラリア		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 （令和6年9月6日）	一般米	16,942	320	582		620		2,000		2,036		22,500
	砕精米							2,500				2,500
	計	16,942	320	582		620		4,500		2,036		25,000
第2回 （令和6年10月18日）	一般米	15,676	260	670				1,500		4,394		22,500
	砕精米	760	100	1,640								2,500
	計	16,436	360	2,310				1,500		4,394		25,000
令和6年度計	一般米	32,618	580	1,252	0	620	0	3,500	0	6,430	0	45,000
	砕精米	760	100	1,640	0	0	0	2,500	0	0	0	5,000
	計	33,378	680	2,892	0	620	0	6,000	0	6,430	0	50,000
令和5年度計 （参考）	一般米	31,102	1,960	7,159	162	1,234	0	1,012	0	8,827	72	51,528
	砕精米	11,730	500	600	234	0	0	0	0	940	0	14,004
	計	42,832	2,460	7,759	396	1,234	0	1,012	0	9,767	72	65,532
令和4年度計 （参考）	一般米	54	1,116	4,111	184	0	0	0	0	3,793	0	9,258
	砕精米	908	300	1,360	316	200	0	0	0	1,400	0	4,484
	計	962	1,416	5,471	500	200	0	0	0	5,193	0	13,742
令和3年度計 （参考）	一般米	1,094	2,492	4,132	222	670	0	0	0	5,202	0	13,812
	砕精米	4,534	300	1,700	0	440	0	0	0	600	0	7,574
	計	5,628	2,792	5,832	222	1,110	0	0	0	5,802	0	21,386
令和2年度計 （参考）	一般米	25,727	1,732	4,384	180	1,620	0	0	0	8,678	0	42,321
	砕精米	14,342	300	2,310	0	500	0	0	0	500	0	17,952
	計	40,069	2,032	6,694	180	2,120	0	0	0	9,178	0	60,273
令和元年度計 （参考）	一般米	32,937	2,596	4,435	126	1,540	0	260	0	10,359	0	52,253
	砕精米	19,210	600	2,360	600	520	0	0	0	1,000	0	24,290
	計	52,147	3,196	6,795	726	2,060	0	260	0	11,359	0	76,543

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

## 6 CPTPP・国別枠の見積合せ結果（令和6年度）

（単位：実トン）

		オーストラリア	
		うるち	もち
第1回 (令和6年5月21日)	一般米	1,154	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	1,154	0
第2回 (令和6年7月23・24日)	一般米	1,160	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	1,160	0
第3回 (令和6年9月24日)	一般米	1,160	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	1,160	0
令和6年度計	一般米	3,474	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	3,474	0
令和5年度計 (参考)	一般米	6,198	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	6,198	0
令和4年度計 (参考)	一般米	520	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	520	0
令和3年度計 (参考)	一般米	620	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	620	0
令和2年度計 (参考)	一般米	595	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	595	0
令和元年度計 (参考)	一般米	3,319	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	140	0
	計	3,459	0

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

# 6 主食用米以外の情報

## 1 加工用米及び新規需要米等の生産状況

### (1) 加工用米の生産量

(単位:トン)

	合計			(参考)	
	うるち米	もち米		全国流通	地域流通
平成22年産	190,883	21,945	212,829	134,958	77,870
23年産	122,699	31,856	154,555	46,087	108,468
24年産	148,695	32,190	180,885	65,821	115,064
25年産	178,411	29,471	207,882	82,534	125,348
26年産	232,315	34,053	266,368	110,914	155,455
27年産	205,448	47,739	253,186	95,747	160,771
28年産	219,454	58,943	278,397	99,972	178,367
29年産	215,531	63,532	279,063	100,249	183,755
30年産	221,580	52,611	274,191	117,617	165,185
令和元年産	203,740	49,186	252,926	100,798	155,741
2年産	194,452	48,736	243,188	97,543	150,309
3年産	195,333	66,867	262,200	98,608	163,792
4年産	201,345	69,644	270,989	101,576	174,078
5年産	195,311	70,965	266,276	95,642	174,506
6年産	208,354	69,020	277,373	102,366	175,007

資料：農林水産省「加工用米生産量」

注：1 「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」の規定により報告された生産集出荷数量。

注：2 令和6年産は、地域の基準単収を使用し、算定された生産数量見込みであり、作柄等が反映された生産量（実績）とは異なる。

注：3 参考の全国流通は、取組主体が全国生産出荷団体であるもの。地域流通は、取組主体が都道府県出荷団体、認定方針作成者及び農業者であるものの合計。

注：4 参考の平成27年産以降は、認定計画ベースの値。このため、合計（実績値）と一致しない。

注：5 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

### (2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移

(単位:面積ha、生産量トン)

	新規需要米															
	合計		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲発酵粗飼料用稲)	新市場開拓用米 (輸出用米等)		酒造用米		バイオエタノール用米		その他 (わら専用稲・青刈り用稲)		
	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	
22年産	37,072	97,632	4,957	24,639	14,883	68,011	15,939	388	1,959	-	-	397	2,488	508	535	
23年産	65,569	202,572	7,324	36,842	33,955	160,900	23,086	287	1,514	-	-	415	2,553	501	763	
24年産	68,091	205,150	6,437	32,617	34,525	166,537	25,672	454	2,423	-	-	450	2,783	553	790	
25年産	53,744	134,865	3,965	20,444	21,802	108,576	26,600	507	2,665	-	-	414	2,566	457	614	
26年産	71,073	218,712	3,401	18,352	33,881	186,564	30,929	1,092	6,003	859	4,255	384	2,458	527	1,080	
27年産	125,454	478,562	4,245	22,975	79,766	440,066	38,226	1,547	8,289	1,387	6,857	-	-	283	375	
28年産	139,028	540,344	3,428	19,014	91,169	505,998	41,366	1,437	7,903	1,420	7,027	-	-	207	402	
29年産	142,738	542,308	5,307	28,408	91,510	499,499	42,893	1,328	7,159	1,448	7,213	-	-	252	30	
30年産	131,048	473,359	5,295	27,695	79,535	426,521	42,545	3,578	19,143	-	-	-	-	96	-	
元年産	124,477	439,544	5,306	27,964	72,509	389,264	42,450	4,097	22,316	-	-	-	-	114	-	
2年産	126,205	446,901	6,346	33,391	70,883	380,502	42,791	6,089	33,008	-	-	-	-	96	-	
3年産	174,497	741,209	7,632	41,615	115,744	662,724	44,248	6,748	36,869	-	-	-	-	124	-	
4年産	206,203	889,073	8,403	45,903	142,055	803,390	48,404	7,248	39,780	-	-	-	-	92	-	
5年産	203,729	834,965	7,587	40,298	133,925	744,893	53,055	9,091	49,775	-	-	-	-	71	-	
6年産	172,790	622,900	6,330	33,333	98,666	527,181	56,479	11,246	62,386	-	-	-	-	69	-	

資料：農林水産省「新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移（平成22年産～令和6年産）」

注：1 令和6年産の生産量は、地域の基準単収を使用し、算定された生産数量見込みであり、作柄等が反映された生産量とは異なる。

注：2 「WCS用稲」及び「その他」のうち、わら専用、青刈り用稲については子実を採らない用途であるため生産量を取りまとめていない。

注：3 「酒造用米」は、「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（以下「要領」）に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米であり、平成30年産以降は取りまとめていない。

注：4 平成30年産以降の「バイオエタノール用米」は、要領の改正により「新市場開拓用米」に含まれている。

注：5 「-」は、事実がない又は認定及び取りまとめを行っていないことを表す。また、ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

### (3) 令和6年産 都道府県別の生産状況

(単位:トン)

産地	加工用米			新規需要米			政府備蓄米	合計
	うるち米	もち米		飼料用米	新市場開拓用米	米粉用米		
全国	277,373	208,354	69,020	622,900	527,181	62,386	33,333	1,072,289
北海道	38,448	25,985	12,464	44,709	29,763	14,081	865	87,843
青森	4,298	3,873	424	35,219	32,230	2,931	58	63,933
岩手	7,018	5,624	1,394	28,216	25,750	2,372	95	38,650
宮城	5,174	4,175	1,000	45,974	39,055	6,456	464	62,425
秋田	49,112	28,512	20,600	18,553	13,841	3,159	1,552	82,177
山形	25,884	23,274	2,610	31,512	28,010	2,883	620	77,591
福島	2,409	2,123	286	37,766	36,678	1,007	80	66,487
茨城	6,897	6,558	339	60,897	54,572	5,820	505	68,410
栃木	10,419	10,150	270	66,603	61,683	333	4,588	82,796
群馬	6,816	6,816		6,104	5,050	11	1,043	12,920
埼玉	726	726		14,958	10,052	294	4,612	15,888
千葉	11,476	6,707	4,769	37,832	36,906	264	662	49,950
東京								
神奈川				58	57		1	58
新潟	37,469	21,284	16,185	33,404	15,597	10,088	7,719	95,372
富山	6,215	4,621	1,594	14,263	10,516	2,009	1,738	30,739
石川	2,881	2,182	699	4,326	2,596	477	1,254	8,081
福井	2,576	2,105	471	9,860	7,877	1,334	649	14,936
山梨	373	369	4	201	90		111	574
長野	4,657	4,450	207	4,044	1,951	1,895	199	10,053
岐阜	5,412	5,406	6	14,095	13,060	679	355	19,930
静岡	514	514		4,080	4,035	3	42	4,613
愛知	3,280	3,060	220	8,198	6,502	213	1,483	12,200
三重	883	816	67	10,736	9,713	637	386	11,619
滋賀	2,616	2,209	407	9,303	7,722	1,324	256	13,077
京都	2,682	2,666	15	762	601	102	60	3,444
大阪	1	1		34	30		4	35
兵庫	3,372	3,092	280	4,762	3,501	1,061	200	8,134
奈良	57	57		327	165		162	384
和歌山				16	11		5	16
鳥取	88	88		3,902	3,735	164	4	4,389
島根	1,051	947	104	3,846	3,797	12	36	5,023
岡山	1,533	1,443	90	7,498	6,003	1,082	413	9,221
広島	1,900	1,781	119	2,699	1,905	292	502	4,627
山口	5,013	4,922	91	5,628	5,025	522	81	10,641
徳島	92	89	2	3,118	2,882	180	56	3,445
香川	261	261		1,164	952	174	38	1,425
愛媛	224	224		1,598	1,572		26	1,822
高知	410	410		4,665	4,562		102	5,085
福岡	1,093	573	520	11,858	10,631	64	1,163	12,987
佐賀	2,054	107	1,947	3,797	3,658	52	86	5,851
長崎	27	27		657	610	22	25	684
熊本	3,535	1,787	1,748	8,299	7,256	202	841	11,834
大分	771	771		9,170	9,108	25	37	10,031
宮崎	10,591	10,591		4,594	4,333	158	103	15,185
鹿児島	6,997	6,910	87	3,590	3,538	5	48	10,587
沖縄	67	67		5	1		4	72

資料：農林水産省「加工用米生産量（年産別、都道府県別）」、「令和6年産新規需要米生産集出荷数量」、「令和6年産備蓄米の政府買入入札の結果」  
注：1 政府備蓄米の合計は、買入対象米穀の産地の指定無し分17,054トンを含んでいる。  
注：2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。



## (4) 加工用米及び新規需要米における多収性品種

### ① 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める品種

品種名
あきいいな、亜細亜のかおり、いわいだわら、笑たわわ、えみゆたか、オオナリ、きたげんき、北瑞穂、クサホナミ、たちじょうぶ、ふくのこ、ふくひびき、べこあおば、べこごのみ、北陸193号、ホシアオバ、ミズホチカラ、みなちから、モグモグあおば、もちだわら、モミロマン、夢あおば

### ② 都道府県知事の申請に基づき地方農政局長等が特に認める品種（特認品種）

都道府県	品種名	都道府県	品種名
北海道	そらゆたか	三重県	タチアオバ、あきだわら、やまだわら
青森県	ゆたかまる	滋賀県	吟おうみ
岩手県	つぶゆたか、つぶみのり、たわわっこ	京都府	あきだわら、やまだわら
宮城県	東北211号	兵庫県	あきだわら、兵庫牛若丸
秋田県	秋田63号、たわわっこ	鳥取県	日本晴、コガネヒカリ
山形県	山形22号、山形糯110号	島根県	みほひかり
福島県	たちすがた、アキヒカリ、まいひめ	岡山県	中生新千本、とよめき、やまだわら
茨城県	月の光、あきだわら、ちほみのり	広島県	中生新千本
栃木県	月の光	山口県	あきだわら
群馬県	月の光	徳島県	あきだわら
埼玉県	むさしの26号	愛媛県	媛育71号
千葉県	アキヒカリ、初星	高知県	とよめき、ちはるか
山梨県	ふくおこし	福岡県	ツクシホマレ、夢一献、タチアオバ
長野県	ふくおこし	佐賀県	レイホウ、さがうらら
静岡県	どんとこい、あきだわら、月の光	長崎県	夢十色
新潟県	新潟次郎、アキヒカリ、ゆきみのり、亀の蔵、いただき、ゆきみらい	熊本県	タチアオバ、越のかおり
富山県	やまだわら、アキヒカリ	大分県	タチアオバ
石川県	アキヒカリ、とよめき、やまだわら	宮崎県	タチアオバ、み系358、宮崎52号、ひなたみのり
福井県	あきだわら、シャインパール	鹿児島県	タチアオバ、ルリアオバ、ミナミュタカ、夢十色、夢はやと、くいつき
岐阜県	あきだわら、アキヒカリ		
愛知県	タチアオバ、もみゆたか、とよめき		

## (5) 新規需要米における米粉用向け専用品種

### ① 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める品種

品種名
亜細亜のかおり、あみちゃんまい、越のかおり、笑たわわ、北瑞穂、こなだもん、ふくのこ、ほしのこ、ミズホチカラ

### ② 都道府県知事の申請に基づき地方農政局長等が特に認める品種（特認品種）

都道府県	品種名
青森県	あおもりっこ
宮崎県	ひなたみのり

## 2 米加工品の状況

### (1) 主な米加工品の生産状況

(トン、kℓ)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年 (1~8月)	対前年 同期比
加工米飯	390,170	398,750	404,707	409,034	428,950	440,068	304,197	104%
レトルト米飯	28,163	27,474	27,245	27,885	32,435	41,713	30,135	109%
無菌包装米飯	170,218	182,797	197,185	206,179	213,376	208,654	139,259	99%
冷凍米飯	181,559	178,068	171,307	166,099	174,158	181,357	129,124	108%
チルド米飯	4,845	4,520	3,894	3,624	3,245	2,885	1,868	99%
缶詰米飯	553	526	422	422	451	395	228	81%
乾燥米飯	4,832	5,365	4,654	4,825	5,285	5,063	3,583	114%
米菓	221,481	221,796	219,437	214,587	212,519	203,933	135,132	99%
あられ	93,504	92,259	93,506	93,836	93,674	90,294	59,541	100%
せんべい	127,977	129,537	125,931	120,751	118,845	113,639	75,591	99%
味噌	478,068	481,574	474,700	462,083	468,027	457,850	289,479	99%
米みそ	408,093	412,038	404,717	394,187	399,840	391,542	248,538	100%
調合みそ	28,483	27,950	28,805	28,687	31,263	31,627	20,295	99%
(麦みそ)	16,166	15,555	16,466	15,653	13,275	12,977	8,273	98%
(豆みそ)	25,326	26,031	24,712	23,556	23,649	21,704	12,373	91%
米穀粉	93,956	91,179	91,076	84,964	92,470	96,998	65,954	105%
上新粉	45,643	43,345	40,559	35,918	42,676	42,984	28,126	102%
もち粉	9,663	9,406	8,280	8,812	9,683	9,728	6,431	102%
白玉粉	4,821	4,742	4,851	4,062	4,068	4,282	2,732	98%
寒梅粉	1,534	1,560	1,485	1,492	1,507	1,535	986	100%
らくがん粉・みじん粉	984	1,120	1,013	993	1,008	732	505	105%
だんご粉	1,310	1,159	1,114	1,016	1,042	1,002	690	100%
菓子種	2,506	2,508	2,528	2,183	1,885	1,947	1,374	107%
新規米粉	27,495	27,339	31,246	30,488	30,601	34,787	25,110	112%
包装もち	59,536	60,894	66,181	65,570	67,696	70,812	35,604	92%
日本酒	495,052	466,872	418,507	404,299	404,486	390,443	219,235	97%
特定名称酒	170,642	164,641	142,121	138,084	145,394	145,644	82,802	99%
吟醸酒	23,126	22,240	19,682	19,464	19,736	18,727	10,185	101%
純米吟醸酒	45,377	45,491	40,362	41,611	45,582	47,645	27,986	100%
純米酒	63,998	61,799	54,729	52,669	55,250	55,035	32,161	100%
本醸造酒	38,141	35,111	27,349	24,339	24,826	24,237	12,469	93%
一般酒	324,410	302,231	276,386	266,215	259,092	244,800	136,434	96%
単式蒸留焼酎	441,824	424,569	411,894	389,556	392,344	371,022	220,020	94%
いも焼酎	189,979	182,169	176,801	164,226	165,230	154,434	89,859	94%
米焼酎	36,362	34,531	31,507	29,552	29,897	29,495	18,568	98%
(麦焼酎)	176,608	171,222	168,352	162,420	163,487	153,416	94,306	96%

資料：加工米飯、米菓、味噌、米穀粉及び包装もちは、食品産業動態調査（農林水産省）。日本酒及び単式蒸留焼酎は、日本酒造組合中央会調べ。

注1：日本酒及び単式蒸留焼酎は、課税移出数量。令和6年は概算値。石川県のデータが令和5年12月以降一部未集計となっている。

注2：日本酒の一般酒は、日本酒全体から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

## (2) 令和3米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

- 日本酒、米菓、米穀粉などの原料として使用される米穀の令和3米穀年度における使用量は、日本酒の出荷量の減少等により、対前年▲5万トンの約86万トン（推計）。
- 種類別には、うるち米が約67万トン、もち米が約19万トン。制度別には、主食用米、加工用米及び特定米穀などの国産米が約78%。残りの約22%はMA米及び輸入米粉調製品の外国産米。
- 用途別には、日本酒において加工用米を中心に使用量が減少。

### <うるち米>

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	9 (7)	6		3			18 (7)
米菓用	1	2		5	3	2	12
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	2	8					10
味噌用		1		4	4		9
焼酎用 (泡盛含む)		1		3	1		6
米穀粉用		1	4	1	2	1	8
その他用	1	1		1	1		4
合計	12	20	4	17	11	3	67

### <もち米>

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	4	3				1	8
米菓用	1	2		2		1	6
米穀粉用		1				1	2
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	1						1
その他用						1	2
合計	7	5		2	1	4	19

注1： 日本酒用の（ ）書きは、酒造好適米で内数。

2： 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米約11万トンを含んでいない。

3： 焼酎は単式蒸留しようちゅう（穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号））であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4： その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5： 特定米穀とは、水稻収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。

6： ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

#### 【推計根拠】

- 用途別の原料米使用量合計は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。  
日本酒用・・・「清酒の製造状況等について」（国税庁）  
焼酎用・・・「課税移出数量」（国税庁）  
米菓用、米穀粉用、加工米飯用、味噌用、包装もち用、その他用・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量等
- 制度別の使用状況は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。  
主食用米・・・全国出荷団体等からの聞き取り。  
なお、酒造好適米は「酒造好適米の需要量調査」（農林水産省）等に基づく推計  
加工用米・・・「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（農林水産省）に基づく報告  
新規需要米（米粉用米）・・・「米粉をめぐる状況について」（農林水産省）等に基づく推計  
MA米（SBS含む）・・・「販売実績」（農林水産省）  
輸入米粉調製品・・・「貿易統計」（財務省）  
特定米穀・・・1で推計した用途別原料米使用量から主食用米、加工用米、新規需要米（米粉用米）、MA米及び輸入米粉調製品を差し引いた数量

### (3) 加工原材料用米穀の使用状況（推計）の推移

#### <うるち米>

(単位: 万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	29	12 (10)	9		3			24 (10)
	30	11 (9)	9		4			24 (9)
	元	11 (9)	9		3			23 (9)
	2	9 (8)	8		3			21 (8)
	3	9 (7)	6		3			18 (7)
米菓用	29	1	2		4	5	1	13
	30	1	1		5	5	2	13
	元	1	2		5	3	2	13
	2	1	1		6	3	2	13
	3	1	2		5	3	2	12
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	29	5	5					11
	30	5	6					11
	元	4	7					11
	2	4	6					10
	3	2	8					10
味噌用	29		1		2	7		10
	30		1		2	7		10
	元		1		3	5		10
	2		1		3	5		10
	3		1		4	4		9
焼酎用 (泡盛含む)	29		2		3	2		8
	30		2		3	2		7
	元		1		4	2		7
	2		1		4	2		7
	3		1		3	1		6
米穀粉用	29		1	2	1	2	1	8
	30		1	3	1	2	1	8
	元		1	3	1	2	1	9
	2		1	3	1	2	1	9
	3		1	4	1	2	1	8
その他用	29	1	1		1	1		4
	30	1	2		1	1		4
	元	1	1		1	1		4
	2	1	2		1	1		4
	3	1	1		1	1		4
合計	29	19	22	2	15	18	2	78
	30	18	21	3	16	16	3	77
	元	16	22	3	18	13	3	76
	2	15	20	3	18	13	3	72
	3	12	20	4	17	11	3	67

#### <もち米>

(単位: 万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	29	3	3				1	8
	30	2	3				1	7
	元	3	3				1	8
	2	4	3				1	8
	3	4	3				1	8
米菓用	29	1	2		1	1	1	6
	30	1	2		1	1	1	6
	元	1	2		1	1	1	6
	2	1	2		1	1	1	6
	3	1	2		2		1	6
米穀粉用	29	1	1				1	3
	30	1	1				1	3
	元	1	1				1	3
	2	1	1				1	3
	3		1				1	2
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	29	1						1
	30	1						1
	元	1						1
	2	1						1
	3	1						1
その他用	29						1	2
	30						1	2
	元						1	2
	2						1	2
	3						1	2
合計	29	6	6		1	2	5	19
	30	6	6		1	1	5	19
	元	6	5		1	2	5	19
	2	6	5		2	1	4	19
	3	7	5		2	1	4	19

注1: 日本酒用の( )書きは、酒造好適米で内数。

2: 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米を含んでいない。

3: 焼酎は単式蒸留しようちゅう(穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの(酒税法第3条第10号))であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4: その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5: 特定米穀とは、水稻収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75~1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米(一般的に「くず米」と呼ばれているもの)の総称。

6: ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

### 3 酒造好適米の需給状況

#### (1) 日本酒の出荷状況

- 日本酒の国内出荷量は、ピーク時（昭和48年）には170万klを超えていたが、他のアルコール飲料との競合などにより、近年は50万klを下回る水準まで減少。
- 消費者の志向が量から質へと変化していることから、国内出荷量全体に占める特定名称酒（吟醸酒、純米酒等）の割合は増加傾向で推移。
- 令和2年以降については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により日本酒の国内出荷量が大幅に減少。
- また、輸出については、日本食ブーム等を背景に近年増加傾向で推移。

#### 日本酒の国内出荷量の推移

(千kl)

	平成	15年	20年	25年	30年	令和	2年	3年	4年	5年	6年	対前年同 期比
	10年					元年					(1~8月)	
日本酒国内出荷量	1,133	871	659	580	495	467	419	404	404	390	219	97%
特定名称酒	291	221	174	164	171	165	142	138	145	146	83	99%
吟醸酒	34	30	20	21	23	22	20	19	20	19	10	101%
純米吟醸酒	25	26	24	29	45	45	40	42	46	48	28	100%
純米酒	62	54	57	58	64	62	55	53	55	55	32	100%
本醸造酒	169	111	73	56	38	35	27	24	25	24	12	93%
一般酒	842	650	485	416	324	302	276	266	259	245	136	96%

資料：日本酒造組合中央会調べ。年は暦年。令和6年は概算値。石川県のデータが令和5年12月以降一部未集計となっている。  
注1：日本酒は、一般酒のほか、原料米及び製造方法などの諸条件（原料、精米歩留）により、吟醸酒、純米酒、本醸造酒等に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。一般酒は日本酒国内出荷量から特定名称酒の数量を差し引いて算出。  
2：国内出荷量には輸出量は含まれていない。

#### 日本酒の輸出量の推移

(千kl)

	平成	15年	20年	25年	30年	令和	2年	3年	4年	5年	6年	対前年同 期比
	10年					元年					(1~8月)	
日本酒輸出量	8	8	12	16	26	25	22	32	36	29	19.7	103%
アメリカ合衆国	1	2	4	4	6	6	5	9	9	7	5.3	128%
中華人民共和国	0	0	0	1	4	5	5	7	7	6	3.0	70%
香港	1	1	1	2	2	2	3	3	3	2	1.3	81%
台湾	4	2	2	2	2	2	2	3	3	3	1.8	99%
大韓民国	0	0	2	4	5	3	2	2	4	4	3.3	119%
その他	2	2	3	4	6	6	5	8	10	7	5.1	110%

資料：「貿易統計」（財務省）。年は暦年。

#### (2) 日本酒原料米の使用状況

- 日本酒の原料米は、一般的に主食用としても流通している品種のほか、醸造用に適した品種である山田錦、五百万石などの「酒造好適米」が使用されている。
- 日本酒原料米の使用量は、平成25~29年産では、製品当たりの米の使用量が多い特定名称酒の出荷が増加していたため、24~25万トン程度で推移していたが、平成30年産以降は、特定名称酒も減少に転じたこと等から、18~23万トン程度で推移。

#### 日本酒原料米の使用状況

(千トン)

	平成	15年産	20年産	25年産	30年産	令和	2年産	3年産	4年産	対前年比
	10年産					元年産				4/3年
日本酒原料米	405	315	261	243	227	206	180	184	198	107%
酒造好適米	99	75	77	76	88	83	70	67	73	109%
加工用米	86	89	74	95	90	85	63	67	71	107%
その他	220	151	110	72	49	38	47	50	53	106%

資料：農林水産省による推計値。



### (3) 酒造好適米の生産量

- 酒造好適米の生産量（農産物検査数量）については、作付面積が増加し、作柄が良かった平成27年産の109千トン进行ピークに減少傾向で推移。
- 令和2及び3年産は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、日本酒の国内出荷量が急減したことから、生産抑制が行われ、生産量が大幅に減少。

#### 酒造好適米の生産量（農産物検査数量）の推移

(トン)

	平成					令和					
	10年産	15年産	20年産	25年産	30年産	元年産	2年産	3年産	4年産	5年産	対前年産比
酒造好適米	99,448	74,854	76,788	75,813	95,856	96,454	85,179	74,756	79,472	92,599	116.5%
山田錦	24,639	22,853	21,399	23,081	33,916	34,644	28,342	27,609	28,168	34,794	123.5%
五百万石	33,282	23,169	24,186	20,602	21,203	19,767	17,561	13,612	14,970	16,940	113.2%
美山錦	11,304	7,487	7,016	6,426	6,408	6,475	5,710	3,816	3,742	4,450	118.9%
雄町	2,502	1,827	1,780	1,700	2,723	2,932	1,987	2,289	2,677	3,142	117.4%
その他	27,721	19,518	22,407	24,004	31,607	32,636	31,578	27,429	29,915	33,273	111.2%

資料：「農産物検査結果」（農林水産省）

注：令和5年産は、令和6年3月31日現在の速報値を直近3カ年の3月31日現在の農産物検査の進捗率により確定値見合いに推計したもの。

### (4) 酒造好適米の需要量

- 酒造好適米の需要量は、令和6年7月に実施した需要量調査の結果により推計したところ、令和6年産が81～83千トン程度、令和7年産が82～84千トン程度と見込まれる。

#### 酒造好適米等の需要量調査結果

(トン)

	令和4年産		5年産		6年産		7年産	
				対4年産比		対4年産比		対4年産比
酒造好適米の需要量調査結果(実数)	60,124	65,406	108.8%	67,446	112.2%	67,903	112.9%	
山田錦	24,058	27,485	114.2%	28,533	118.6%	28,573	118.8%	
五百万石	12,252	13,054	106.5%	13,085	106.8%	12,880	105.1%	
美山錦	2,861	2,975	104.0%	2,993	104.6%	3,005	105.0%	
雄町	1,510	1,623	107.5%	1,571	104.0%	1,597	105.8%	
その他	19,443	20,268	104.2%	21,265	109.4%	21,848	112.4%	
酒造好適米の全体需要量(推計)	73～74千トン		79～81千トン		81～83千トン		82～84千トン	

資料：「令和6年度 酒造好適米等の需要量調査結果」（農林水産省）

注1：「酒造好適米の需要量調査結果（実数）」は、令和6年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量の積み上げの実数。

注2：「酒造好適米の全体需要量（推計）」は、令和6年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量が全体需要量の約81～83%と推計されるため、各年産の需要量を当該割合で除することにより推計。

産地銘柄毎の需要量等の酒造好適米に関する詳細な情報は、以下URLの「日本酒をめぐる状況」及び「酒造好適米等の需要量調査結果等」を参照ください。  
URL : [https://www.maff.go.jp/j/seisaku\\_tokatu/kikaku/sake.html](https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html)

別冊「資料編」では、より詳細な情報をご覧ください。

－ 別冊「資料編」の目次 －

<p><b>1 米の需給</b> 主食用米等の需給見通し(米の基本指針(令和6年10月30日))</p>	<p>需給-1</p>
<p><b>2 米の在庫情報</b> 令和4・5年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)</p>	<p>在庫-1 <span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">Excel</span></p>
<p><b>3 米の価格情報</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 米の相対取引価格の推移(通年平均価格)(平成20年産～令和5年産)</li> <li>2 スポット価格の状況(株式会社クリスタルライス)</li> <li>3 米の現物市場の状況</li> <li>4 堂島取引所による米穀指数市場(先物取引)の状況</li> </ol>	<p>価格-1 <span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">Excel</span></p> <p>価格-4</p> <p>価格-5</p> <p>価格-6</p>
<p><b>4 米の契約・販売情報</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和5年産米の産地別契約・販売状況(累計、うるち米)</li> <li>2 政府備蓄米の買入入札の結果(落札実績)(平成24年産～令和6年産)</li> </ol>	<p>契約-1 <span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">Excel</span></p> <p>契約-7</p>
<p><b>5 支援事業等</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 水田活用の直接支払交付金等</li> <li>(2) 畑地化促進事業</li> <li>(3) 畑作物産地形成促進事業</li> <li>(4) 国産小麦・大豆供給力強化総合対策</li> <li>(5) 畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)</li> <li>(6) 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策)</li> <li>(7) 収入保険</li> <li>(8) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業</li> <li>(9) コメ海外市場拡大戦略プロジェクト</li> </ol>	<p>支援-1</p> <p>支援-2</p> <p>支援-3</p> <p>支援-6</p> <p>支援-7</p> <p>支援-9</p> <p>支援-12</p> <p>支援-14</p> <p>支援-16</p>
<p><b>6 その他</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 水稻うるち玄米の農産物検査結果</li> <li>(2) 国産飼料用米の需要情報</li> <li>(3) 麦・大豆の需要情報             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 令和7年産麦の産地別銘柄別入札結果</li> <li>② 令和5年産大豆の産地品種銘柄別入札結果</li> </ol> </li> <li>(4) 野菜等の需給情報</li> <li>(5) 令和5年産水稻の収穫量</li> <li>(6) 年産・都道府県別の主食用米作付面積及び収穫量等の推移</li> </ol>	<p>その他-1</p> <p>その他-2</p> <p>その他-4</p> <p>その他-6</p> <p>その他-11</p> <p>その他-15</p> <p>その他-21</p>

農業者と農林水産省をつなぐ  
新たなコミュニケーションツール

# MAFFアプリ

農業に役立つ情報が直接届く。  
現場の情報を直接届ける。








Android
iOS

○米に関する各種情報は「米に関するメールマガジン」でも毎月発信中です。登録方法は下記URLを参照ください。  
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>